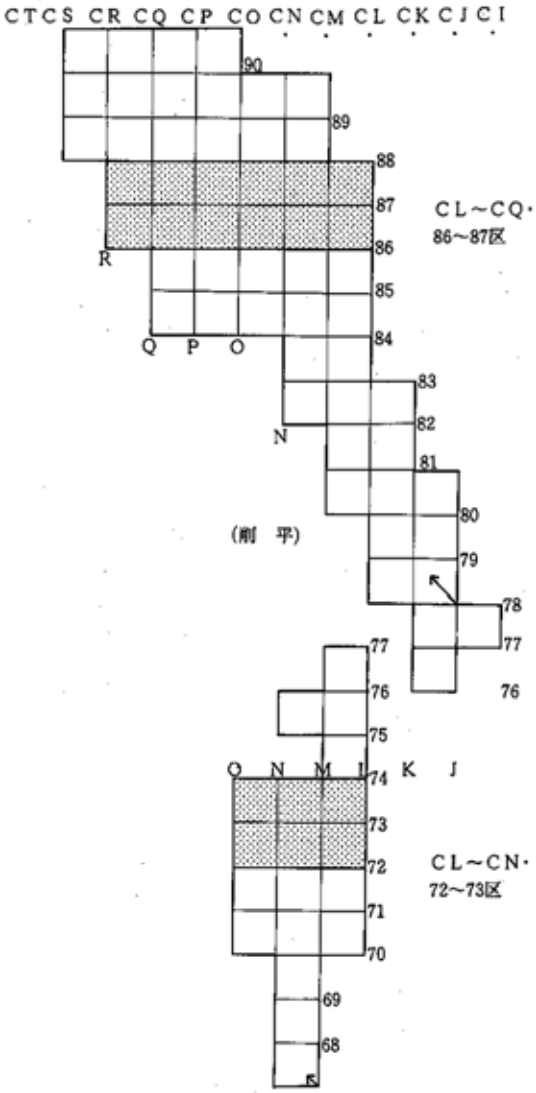
Ⅳ. 東 側 遺 物 包 含 層

Ⅳ．東側遺物包含層

東側遺物包含層出土遺物は、縄文土器、円盤状土製品、土偶、三脚形土製品などの土製品と石鏃、石匙、石錐、石箆、石斧、石皿、磨石、凹石などの石製品、シカ、イノシシなどの自然遺物である。本章では土器について扱い、他の遺物は別章及び小梁川遺跡第４分冊〈遺物包含層石器編〉において報告する。

１．出土土器

東側遺物包含層の中央部分は、すでに削平されており、全体を統一した層位で記述することはできない。ここでは、比較的良好な層位関係の把握されたＣＬ～ＣＮ・72～73 区及びＣＬ～ＣＱ･86～87 区の出土土器を先に呈示し、他の地区については南側から北側に向かって、順次示してゆく。



第11図　東側遺物包含層
グッド配置図

(1) 72列（CL72区・CM72区・CN72区）

CL72区

第V層（第10層）：第12図1～4

第12図1：胴部から口縁部にかけてゆるく外反する器形である。細い粘土紐が鋸歯状に貼付されている。

第12図2：口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁上部に楕円形貼付文が付され、さらに上端には横位沈線文が描かれている。口縁部文様は沈線文によって施される。

第12図3：無文の浅鉢形土器である。

第12図4：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が幾何学的に配され、円形貼付文が付されている。

第V層上面（第10層上面）：第12図5～10、第13図1～2

第12図5：頸部がゆるくくびれ、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部に文様が施されている。

第12図8：口縁部は外傾している。隆線文・沈線文が施されている。

第12図9：口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。

第12図10：口縁部破片と思われる。沈線文が施されている。

第13図1：頸部がゆるくくびれ口縁部が外傾する器形である。口縁上端は、複合口縁状に肥厚し、縄文が施文されている。口頸部に区画となる隆線文と「ハ」字状沈線文が施されている。胴部は縄文結節文が施されている。

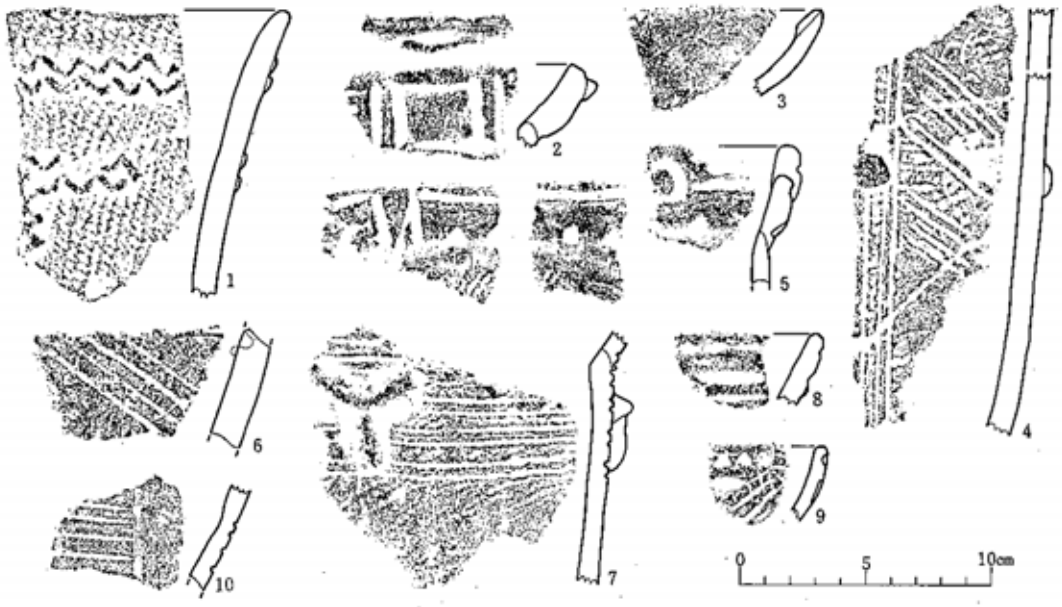
第13図2：台付浅鉢である。無文。

第IIIe層（第9層）：第14図

第14図1～2：頸部がゆるくくびれる器形と思われる。1は口縁部破片で弧状の沈線文が描かれ、2は胴部破片で半截竹管による平行沈線文が幾何学的に配されている。

第14図3～4：口縁部が外傾する器形である。口縁上端に縦位短沈線文が連続して描かれ横位平行沈線文が施されている。3はさらに交互刺突が加えられている。

第14図5：頸部が「く」字状にくびれる器形である。口縁上端には刻目文が付され、頸部には隆帯が設けられている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・10層	深鉢・S－	口縁部：平縁，鋸歯状形土紐貼付文，縄文（LR）	114
2	CL72区・10層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，楕円形貼付文，縦位平行沈線文	114
3	CL72区・10層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	114
4	CL72区・10層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位・斜位），円形貼付文，縄文（LR）	114
5	CL72区・10層上面，CM72区ベルト7・6層，CM72区・6層	深鉢・A(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，長方形の沈線文，三角形の刺突文，胴部：縄文（LR）	114
6	CL72区・10層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文（斜位），縄文（LR）	114
7	CL72区・10層上面	深鉢・A－	頸部：半截竹管による平行沈線文（横位），「Y」字状貼付文，縄文（LR）	114
8	CL72区・10層上面	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，横位隆線文，横位沈線文	114
9	CL72区・10層上面	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：平縁，沈線文（横位，斜位），三角形の彫去	114
10	CL72区・10層上面	深鉢・D－	口縁部：平縁，縦位沈線文，横位平行沈線文	114

第12図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・10層，10層上面(1)）

第 14 図 6：波状縁をなす浅鉢形土器である。

第 14 図 7：胴部破片である。懸垂状・弧状の隆線文が施されている。

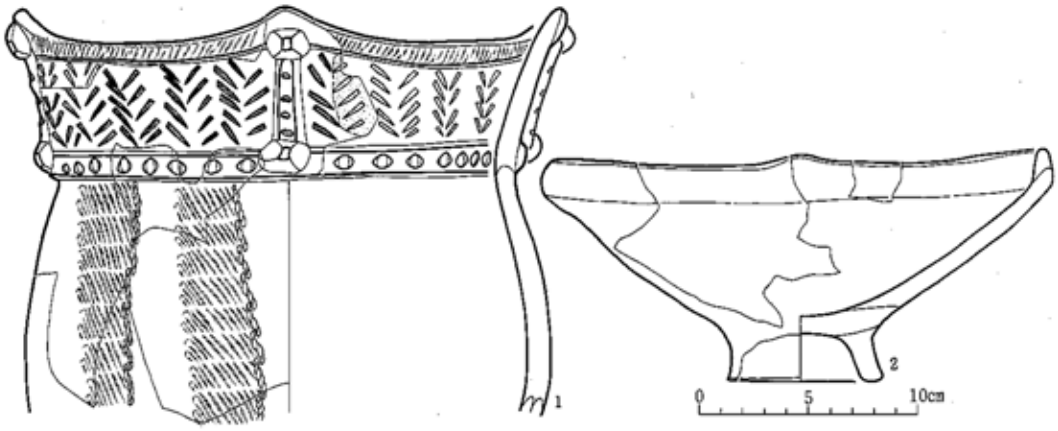
第 14 図 8：内弯気味に外傾する口縁部である。横位平行抑圧縄文が施されている。

第Ⅲe層上面（第 9 層上面）：第 15 図～第 16 図

第 15 図 1：浅鉢形土器と思われる。肥厚する口縁部に連続して粘土紐が貼付されている。半截竹管によって文様が描かれている。

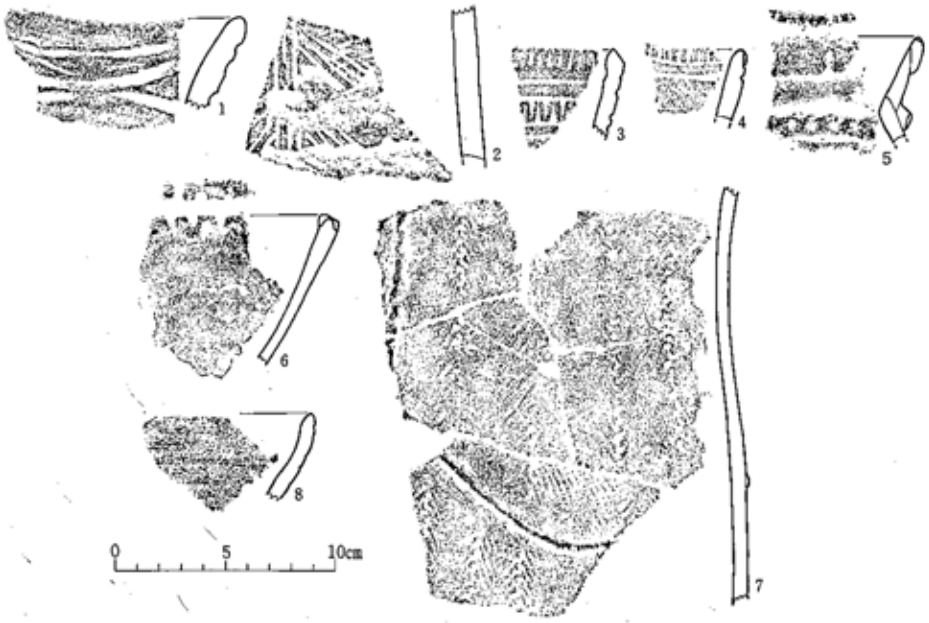
第 15 図 2～3：頸部がゆるくくびれ口縁部が肥厚して外傾する器形である。半截竹管によって文様が描かれている。

第 15 図 4～7：頸部がつよくくびれ、口縁部がゆるく内弯しながら外傾する器形である。平行沈線文、刺突文が施されている。



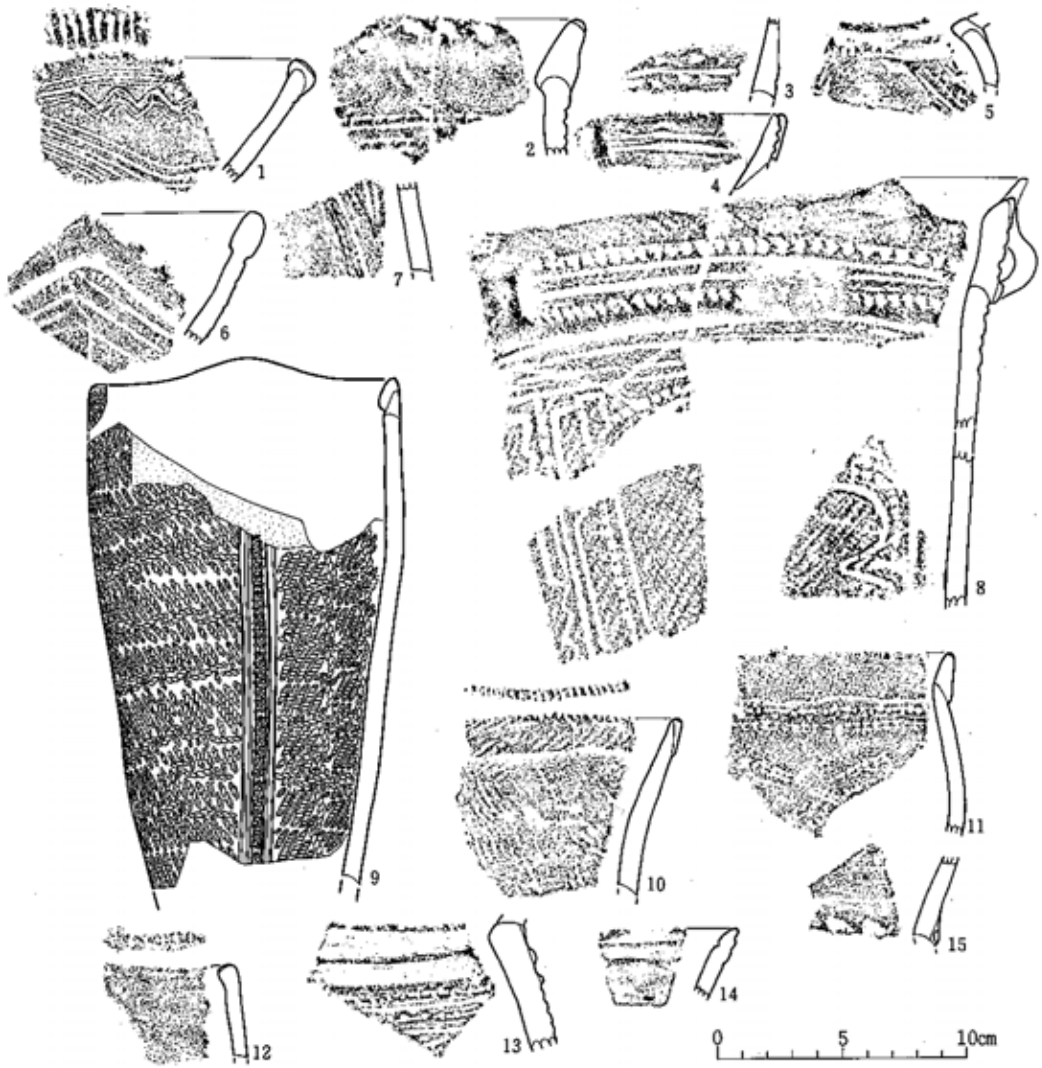
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・10層・10層上面・9層	深鉢・E(IIa)2a	口縁部：波状線、沈線間縄文、縄文（LR）（上部縄線上）、刻目文（下部縄線上）、「∩」字状沈線文、中央のつまみ出される横円状貼付文、胴部：縄文（LR）結束文（胴部）一周）	6−5
2	CL72区・10層上面・9層・9層上面・8層・6層	浅鉢・1	口縁部：小突起のつく平線、無文、胴部：無文、台付	6−4

第13図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・10層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・9層	深鉢・A(II)−3	口縁部：波状線、沈線文（菱形構成？）	115
2	CL72区・9層	深鉢・A−	胴部：手載竹管による平行沈線文（縦位・斜位）、縄文（LR）	135
3	CL72区・9層	深鉢・S3a or S4a	口縁部：平線、縦位短沈線文（上部）、横位平行沈線文、交互刺突文	135
4	CL72区・9層	深鉢・S3a	口縁部：波状線、口縁に沿う平行沈線文、縦位短沈線文（上部）、縄文（RL）	135
5	CL72区・9層	深鉢・H−	口縁部：平線、刻目文（上端）、隆帯（上部）、胴部：横位隆帯、刻目文	135
6	CL72区・9層	浅鉢・B3	口縁部：波状線、刻目文（上端）	135
7	CL72区・9層	深鉢・−	胴部：格子文（壁面状、弧状）、結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	135
8	CL72区・9層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線、横位平行押圧縄文（Rｌ）	135

第14図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・９層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	ＣＬ72区・９層上面	浅鉢・A－	口縁部：平縁，縦位粘土紐貼付文（上端），半截竹管による平行沈線文（横位，「V」字状，鋸歯状）	115
2	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・S1	口縁部：小波状縁，半截竹管による山形状平行沈線文，頸部：半截竹管による押引き文，縄文(LR)(単節)	115
3	ＣＬ72区・９層上面，ＣＭ72区・６層上面	深鉢・A－	胴部：横位平行沈線文，連続刺突文	115
4	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：平縁，縦位隆線文，横位粘土紐貼付文，横位平行沈線文	115
5	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・H2b	頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：斜位平行沈線文，連続刺突文	115
6	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・E(Ⅱa)1	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，連続刺突文	115
7	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・H2b	胴部：頸部から垂下する「Y」字状懸垂文（沈線文・押引文），縄文（LR）	115
8	ＣＬ72区・９層上面・８層・７層，ＣＬ71区・７層	深鉢・S4a	口縁部：小突起のつく平縁，横状把手，横位平行沈線文，連続刺突文，胴部：区画沈線文，押引文，三角形の彫出，縄文（RL）	116
9	ＣＬ72区・９層上面，８層	深鉢・S－	口縁部：波状縁，懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）結節文（片結び一類）	6－3
10	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁，刻目文（上端），縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	116
11	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・N－	口縁部：平縁，刻目文（上端），頸部：半截竹管による平行沈線文，交互刺突文，胴部：半截竹管による波形状押引き文	116
12	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・U－	口縁部：波状縁，刻目文（上端），口縁に沿う平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	116
13	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・N－	頸部：横位隆帯，胴部：横位平行沈線文，連続刺突文	116
14	ＣＬ72区・９層上面	浅鉢・D or E－(？)	口縁部：波状縁（波頂部欠損），横位平行沈線文	116
15	ＣＬ72区・９層上面	深鉢・W5	口縁部：無文，頸部：連続刺突文の施された隆帯	116

第15図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・９層上面(1)）

第 15 図 8：頸部がゆるくくびれ、口縁部は外傾し、胴部が直線的にすぼむ器形である。口縁部には橋状把手が付されている。口縁部・胴部ともに沈線文・刺突文によって文様が構成されている。

第 15 図 9：底部から口縁部にかけてわずかに膨みながら外傾する器形である。胴部に懸垂隆線文と沈線文が施されている。

第 15 図 10：口縁部はゆるく外反している。口縁上端に刻目文が施されている。

第 15 図 11：頸部がゆるい「く」字状を呈する器形である。半截竹管・竹串様刺突具によって文様が施されている。

第 15 図 12：口縁部は内傾するものと思われる。口縁上端に刻目文が施されている。

第 15 図 13：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。沈線文、刺突文が施されている。

第 15 図 14～15：口縁部は外傾している。頸部隆帯に刺突文が施されている。

第 16 図 1～2：頸部がゆるくくびれる器形である。沈線文によって文様が施されている。

第 16 図 3：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。口縁部は無文である。

第 16 図 4：底部資料である。網代痕がある。

第IIId層（第 8 層）：第 17 図～第 19 図

第 17 図 1：頸部が「く」字状にくびれる器形である。胴部上半に文様が施されている。

第 17 図 2～3：頸部がゆるくくびれ、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部に沈線文によって文様が施されている。

第 17 図 4～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ口縁部は外傾している。口縁部は内削ぎ状を呈している。

第 17 図 6：胴部破片である。沈線文によって文様が施されている。

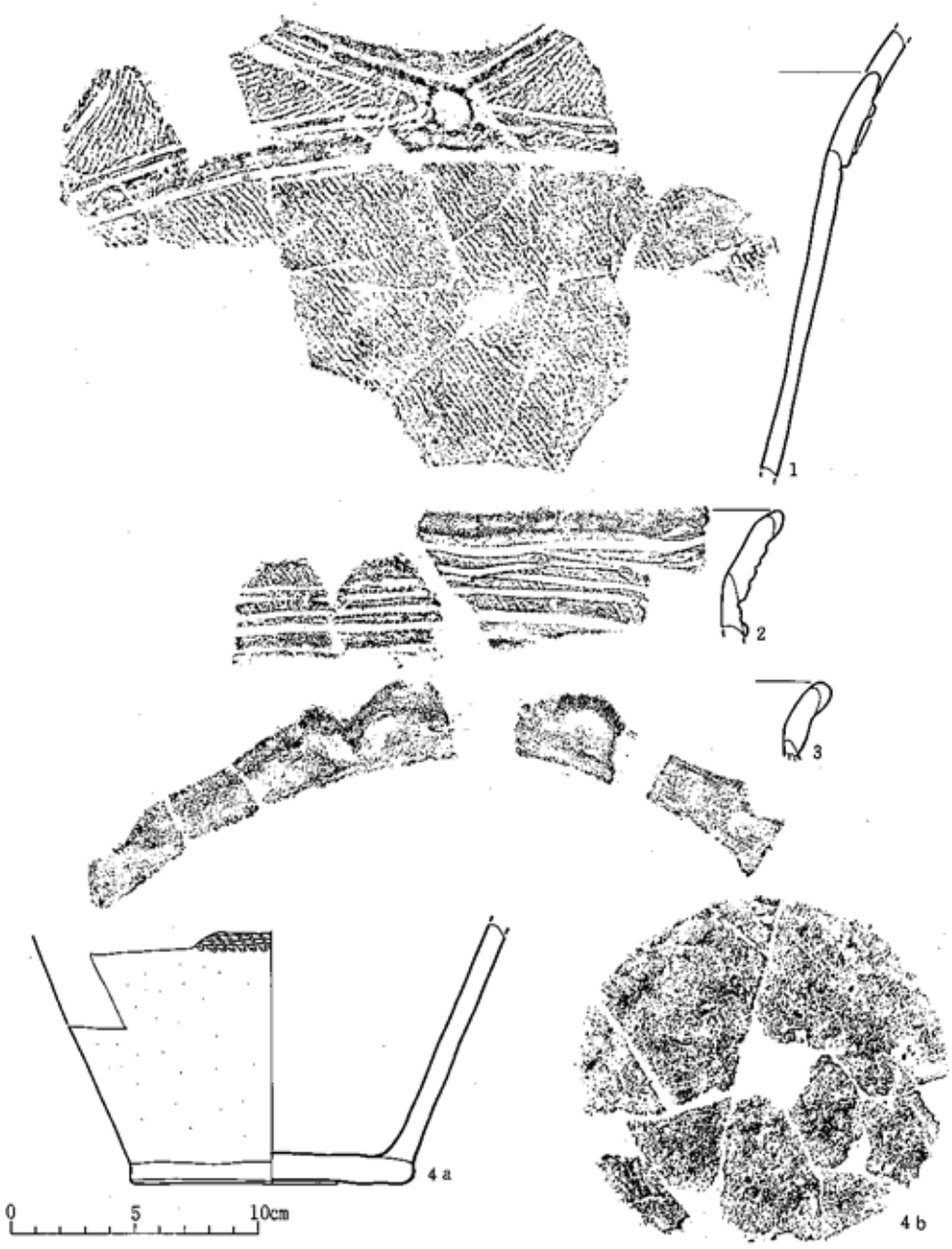
第 17 図 7～9：口縁部が複合口縁状をなして外傾する器形である。

第 17 図 10～13：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。10～11 は押引き、連続刺突が施されている。12～13 は無文である。

第 17 図 14～15：頸部が「く」字状にくびれる器形で、口縁部はわずかに内弯しながら外傾し、胴部が膨む器形である。15 は半截竹管による平行沈線によって文様が口縁部・胴部に施されている。

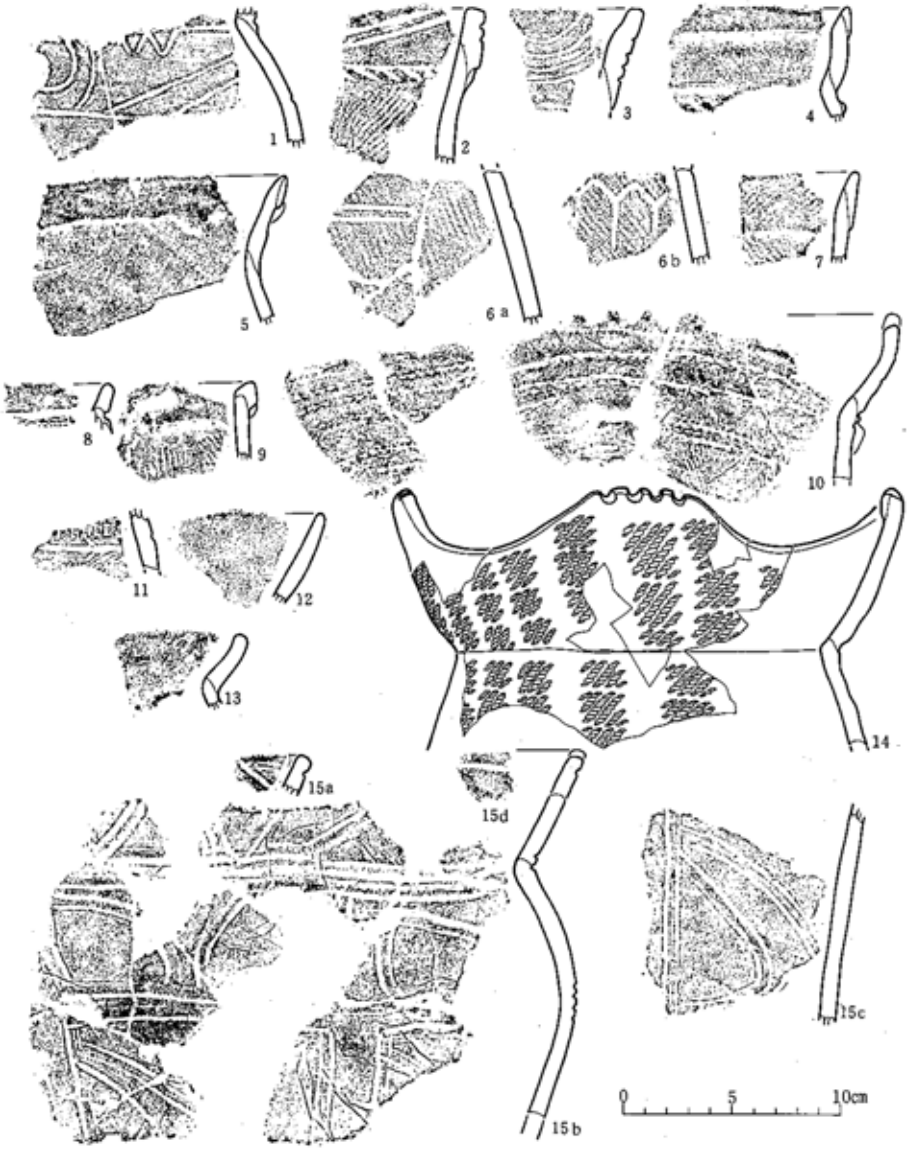
第 18 図 1～3：4 波状をなす深鉢形土器である。1 の頸部は明瞭な屈曲をもたない。2、3 の頸部はゆるくくびれている。区画隆線文と沈線文によって文様が構成されている。3 は三角形の彫去が加えられている。

第 19 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾しさらに口縁部中位から内傾する器形



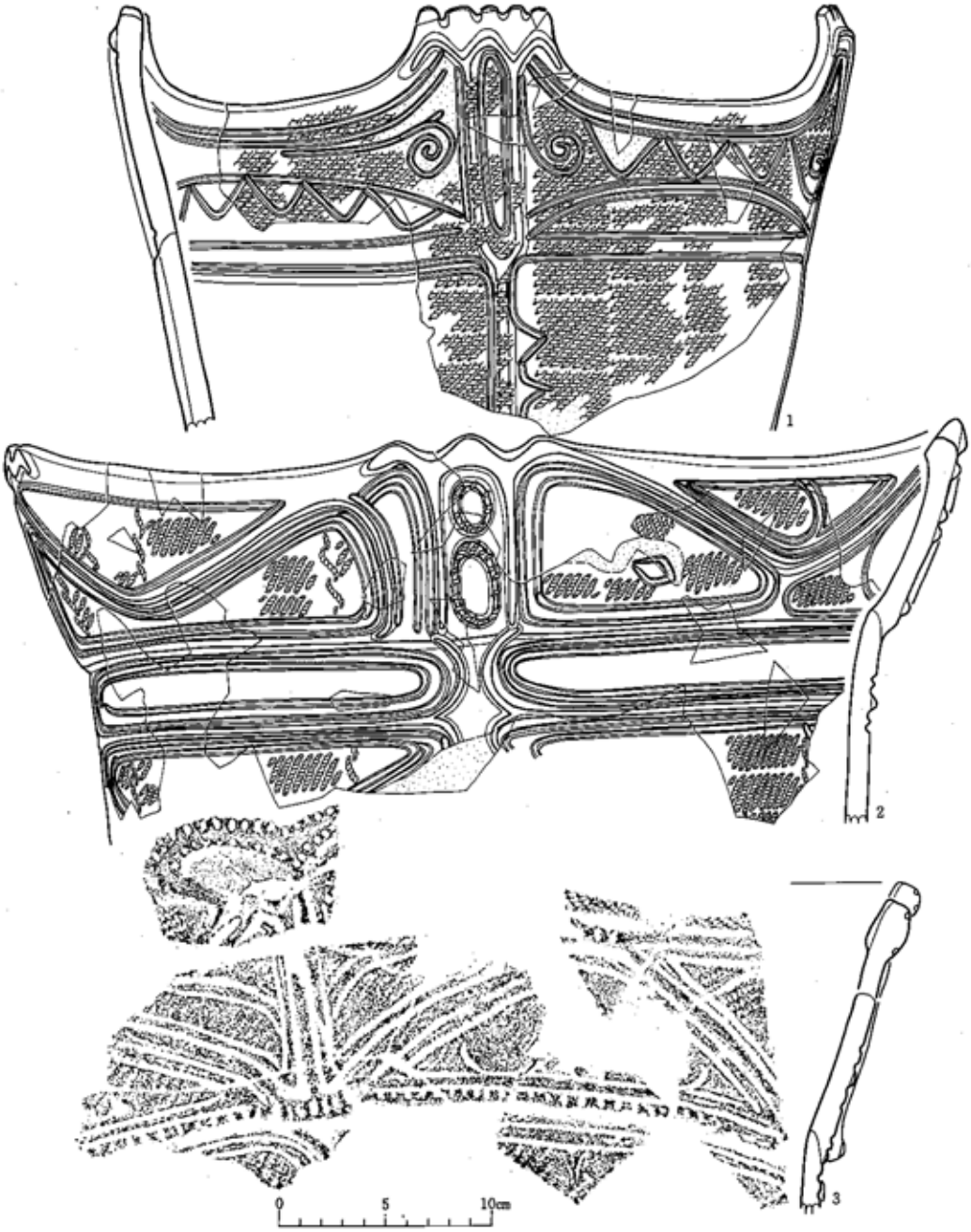
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	ＣＬ72区・9層上面・8層	深鉢・D(IIa)2	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う平行沈線文，縄文(Lr)，胴部：縄文(Lr)結節文(同結び一順)	
2	ＣＬ72区・9層上面・8層	深鉢・D(I)1a	口縁部：波状線，口縁に沿う平行沈線文，縄文（Lr）	116
3	ＣＬ72区・9層上面	深鉢・N－	口縁部：波状線，無文	116
4a,b	ＣＬ72区・9層・9層上面・8層	深鉢・－	胴部：縄文（LR），底部：網代痕	

第16図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・９層上面(2)）



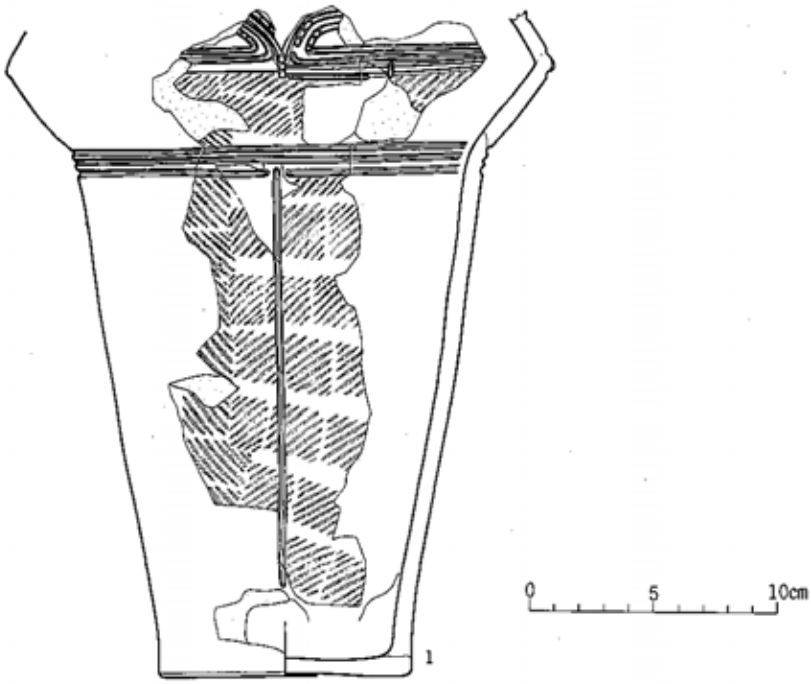
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・8層	深鉢・H2	胴部：横巻状沈線文，山形状沈線文，縦蛇状沈線文	117
2	CL72区・8層	深鉢・A(Ⅱ)3	口縁部：波状線，口縁に沿う平行沈線文，頸部：横位結束，刻目文，胴部：縄文（RL）	117
3	CL72区・8層	深鉢・A(Ⅰ)−	口縁部：平線，弧状沈線文，頸部：横位沈線文	117
4	CL72区・8層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平線，無文（上部），縄文（LR）結束文（片結び一原）	117
5	CL72区・8層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平線，楕円形貼付文	117
6a,b	CL72区・8層	深鉢・N9a	胴部：「Y」字状沈線文，縄文（LR）	117
7	CL72区・8層	深鉢・W3b・	口縁部：平線，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	117
8	CL72区・8層	深鉢・W2b	口縁部：平線，無文，頸部：横位沈線文	117
9	CL72区・8層	深鉢・W2b	口縁部：小突起のつく平線，無文，胴部：縄文（Lr）結節文	117
10	CL72区・8層・7層，CM72区・5層，CM72区・5層	深鉢・D(Ⅰ)1b	口縁部：小波状部のつく平線，横位平行押引き文，頸部：楕円形貼付文，胴部：縄文（Lr），結節文（片結び一原）	117
11	CL72区・8層	深鉢・N−(?)	胴部：横位連続刺突文，横位沈線文，縄文（Lr）	117
12	CL72区・8層	深鉢・V4	口縁部：平線，無文	117
13	CL72区・8層	深鉢・V4	口縁部：平線，無文	117
14	CL72区・9層上面・8層・7層上面	深鉢・E(Ⅱc)1	口縁部：波状線，刻目文（波頂部），縄文（RL），胴部：縄文（RL）	7−1
15a,b,c,d	CL72区・8層・7層上面・5層上面	深鉢・E(Ⅰ)3	口縁部：小突起のつく平線，平線竹管による平行沈線文（山形状），胴部：平線竹管による平行沈線文（方形状・弧状位置文）	117

第17図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・８層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	C L 72区・8層、 C M72区・4層、 C L 73区・2層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁、刻目文（上端）、胴部区画隆線文、相対する弧状沈線文、連続山形沈線文、横巻状沈線文、縄文（RL）、胴部：懸垂隆線文、隆線に沿う沈線文、連弧状沈線文、縄文（RL）	7−2
2	C L 73区・9層上面、8層、7層、7層上面、6層、5層上面、 C L 71区・7層、5層	深鉢・D(IIc1)1	口縁部：波状縁、弧状区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（RL）結節文（片結び一段）、頸部：「ﾊ」字状区画隆線文、長楕円形沈線文、胴部：区画隆線文、縄文（RL）結節文（片結び一段）	7−3
3	C L 72区・8層、 C M70区・5層、 C M69区・3層上面・1層	深鉢・D(IId)2	口縁部：波状縁、口縁に沿う隆線文、区画隆線文、円形竹管文、刻目のつく楕円形粘土文、隆線に沿う沈線文、連弧状沈線文、三角形の彫刻、頸部：刻目文の施される隆帯、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う沈線文、連弧状沈線文	118

第18図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・８層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	C L72区・8層・7層・6層・6層上面	深鉢・K4	口縁部：弧状区画隆線文、隆線に沿う押引き風沈線文、縄文（Lr）（下半）、頸部：横位平行沈線文、胴部：懸垂沈線文、縄文（Lr）	6−6

第19図　東側遺物包含層出土土器（C L 72区・8層(3)）

である。区画隆線文と一部押引き状を呈する沈線文によって文様が構成されている。

第Ⅲc層（第7層）：第20図1〜4

第20図1：口縁部から胴部までゆるやかに外反する器形である。口縁部には刻目の施される隆線文がめぐり、胴部に懸垂沈線文・連弧状沈線文が施されている。沈線文間には交互刺突文が施されている。

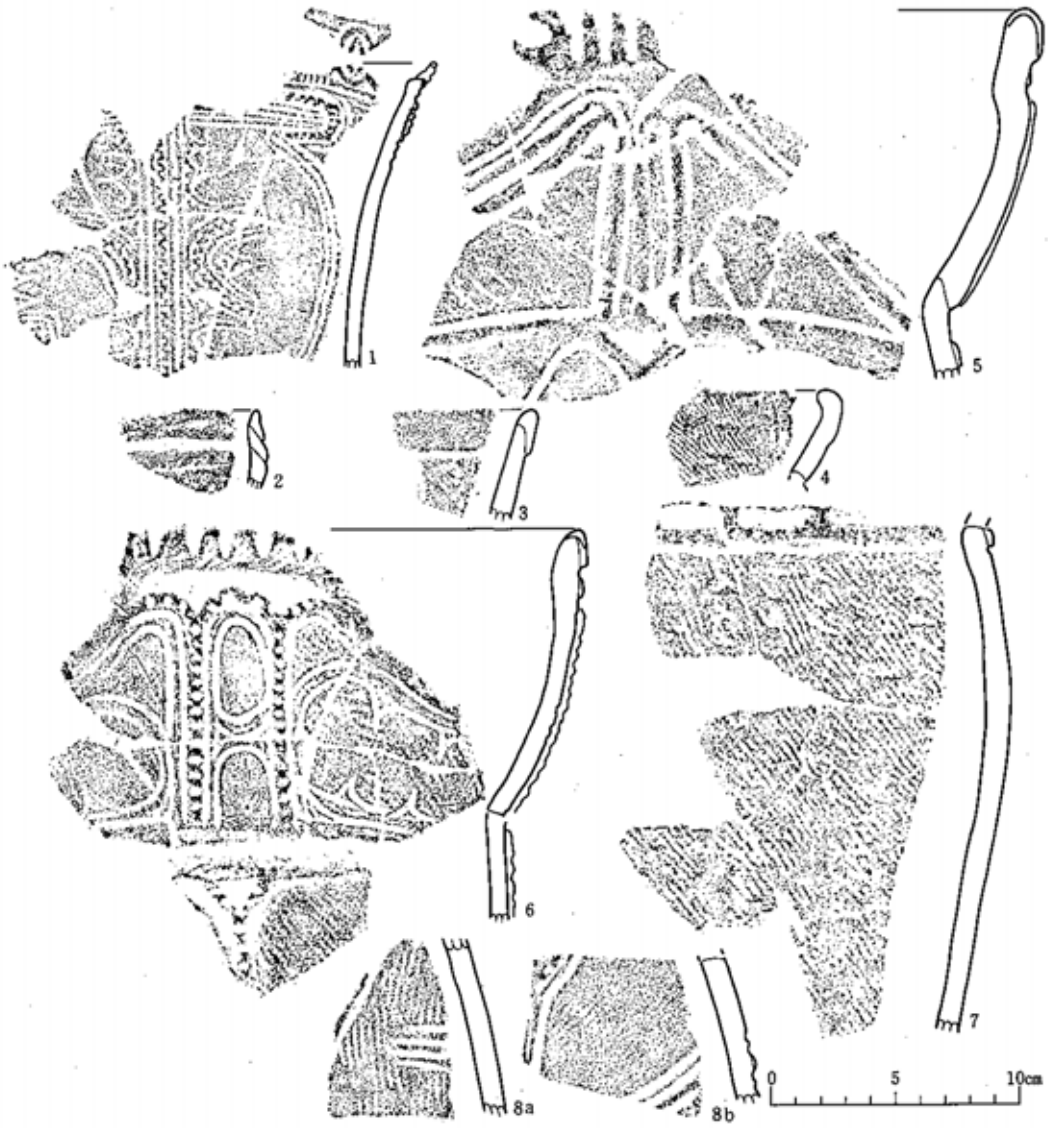
第20図2〜4：地文のみの土器である。第20図2、3は複合口縁部を持っている。

第Ⅲc層上面（第7層上面）：第20図5〜8、第21図

第20図5〜7：頸部が「く」字状を呈し、口縁部は内弯しながら外傾し、胴部がゆるやかに膨む器形である。区画隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

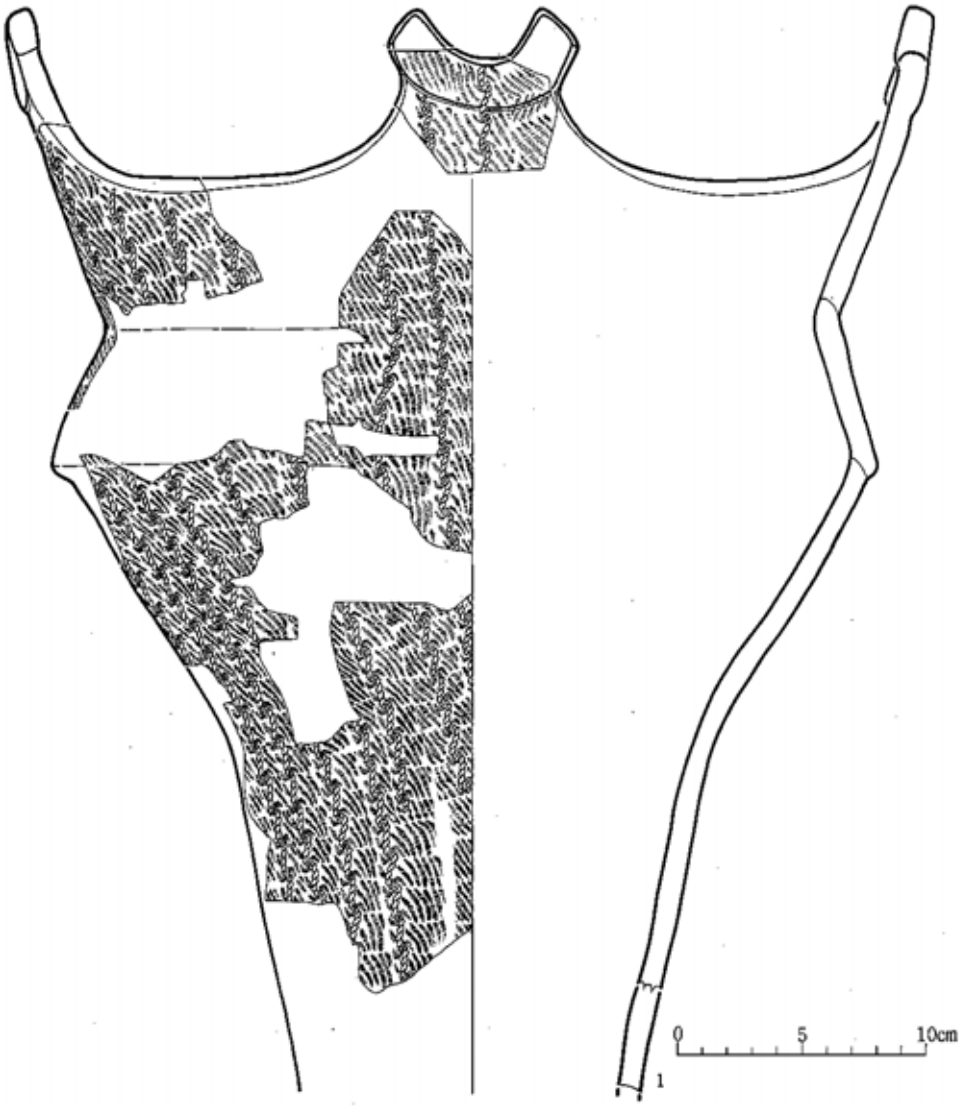
第20図8：胴部破片である。区画隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第21図1：胴上部が屈曲部をもって膨み、頸部が「く」字状にくびれる器形である。波頂部は「U」字状を呈している。口縁部・胴部ともに縄文結節文が施されている。



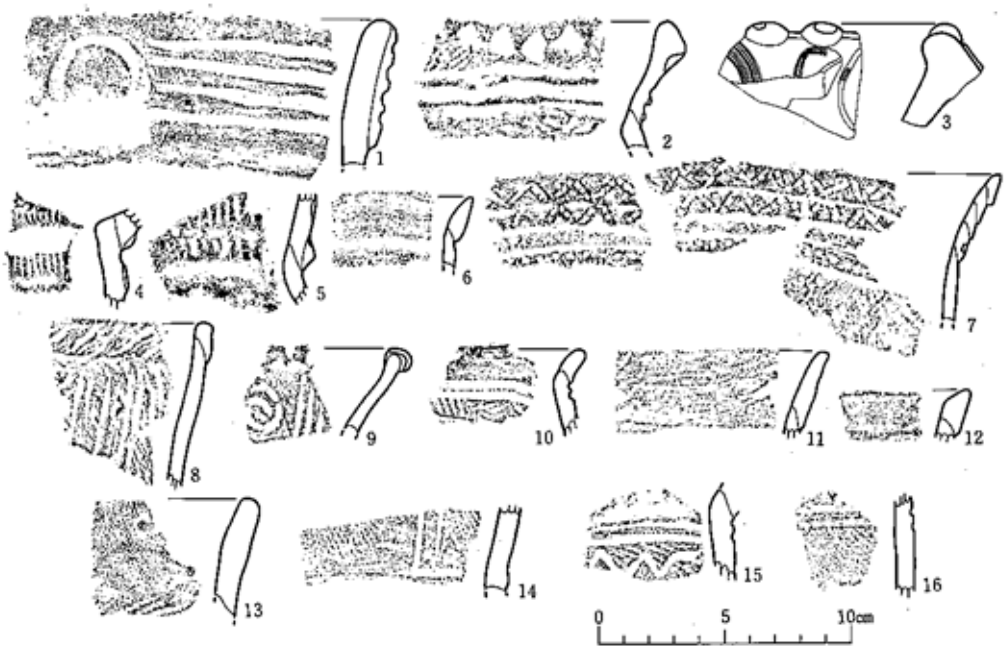
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	ＣＬ72区・７層	深鉢・S4b	口縁部：小突起のつく平縁、横位隆線文、刺目文（上部）、円形竹管による交互刺突文、横位平行沈線文、胴部：斜位沈線文、連弧状沈線文、交互刺突文、地土：金雲母を多く含む	118
2	ＣＬ72区・７層	深鉢・E(１)11	口縁部：平縁、無文	
3	ＣＬ72区・７層	深鉢・V or W－	口縁部：平縁、無文、胴部：結束（第１種）羽状縄文（RL×LR）	
4	ＣＬ72区・７層	深鉢・E(１)11	口縁部：波状縁、縄文（Lr）結節文（同結び一環）	
5	ＣＬ72区・７層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁、刺目文（波頂部）、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、連弧状沈線文、縄文（LR）	118
6	ＣＬ72区・７層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁、刺目文（波頂部）、刺目文の施される区画隆線文、連弧状沈線文、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、縄文（LR）	118
7	ＣＬ72区・７層上面～６層・５層	深鉢・N5a	口縁部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、胴部：縄文（LR）結節文（他縄）	118
8a,b	ＣＬ72区・７層上面、ＣＬ71区・５層	深鉢・F(II(？))1	口縁部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（RL）	

第20図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・７層・７層上面(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	ＣＬ72区・７層上面・６層・５層	深鉢・J2	口縁部：波状縁、「U」字状貼付文（波頂部）、縄文（Lr）結節文（斜結び一段）、胴部：縄文（Lr）、結節文（斜結び一段）	8－2

第21図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ72区・７層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・6層	深鉢・A(Ⅰ)1b	口縁部：平縁，円形沈線文，横位平行沈線文	119
2	CL72区・6層	深鉢・A(Ⅰ)1b	口縁部：波状縁，三角形の彫去（下刷），縄文（LR），頸部：隆帯，胴部：縄文（LR）	119
3	CL72区・6層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：小突起のつく平縁，橋状把手〔欠損〕，粘土紐貼付文	119
4	CL72区・6層	深鉢・H2b	頸部：横位隆帯，縦位短沈線文	119
5	CL72区・6層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：縦位短沈線文，胴部：無文(？)	119
6	CL72区・6層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	119
7	CL72区・6層	深鉢・D(Ⅰ)1c	口縁部：平縁，山形状押引き文，円形竹管文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	119
8	CL72区・6層	深鉢・S6	口縁部：平縁，縄文（L{Rr, Lr}），胴部：半截竹管による平行沈線文（方形状，弧状），縄文（L{Rr, Lr}）	119
9	CL72区・6層	浅鉢・S6	口縁部：平縁，横位隆帯・刻目文〔上端〕，胴部：縦位沈線文，渦巻状押引き文	119
10	CL72区・6層	深鉢・N5a	口縁部：波状縁，無文，胴部：区画沈線文，縄文（Lr）	119
11	CL72区・6層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（Lr）	119
12	CL72区・6層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	119
13	CL72区・6層	深鉢・S9b(？)	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	119
14	CL72区・6層	深鉢・D−(？)	口縁部：縦位沈線文，縄文（Lr）	119
15	CL72区・6層	深鉢・N5a	頸部：横位平行沈線文，蛇行状沈線文，縄文（LR）	119
16	CL72区・6層	深鉢・N9a	胴部：横位押引き文，横位平行沈線文，縄文（LR）	119

第22図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・6層）

第Ⅲb層（第6層）：第22図

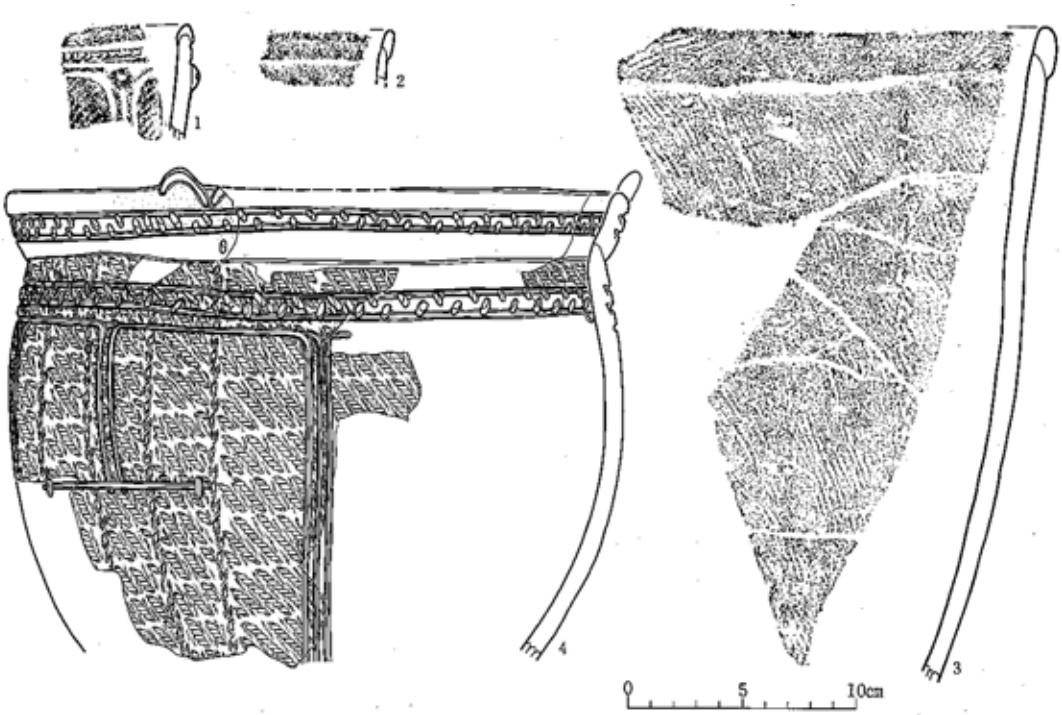
第22図1〜2：口縁部が肥厚して外傾する器形である。1は沈線文によって、2は三角形の彫去と細い隆線文によって文様が施されている。

第22図3〜5：頸部がつよくくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。3は橋状把手の一部が欠損している。

第22図6、11〜13：口縁部は外傾している。文様意匠の施されない土器である。

第22図7〜10：口縁部破片である。7、9は押引き文、8、10は沈線文によって文様が施されている。

第22図14〜16：頸胴部破片である。押引き文、沈線文によって文様が施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・6層上面	探鉢・S4b	口縁部：平縁、横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文、胴部：円形貼付文、区画沈線文、縄文(RL)	119
2	CL72区・6層上面	探鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	119
3	CL72区・6層上面	探鉢・S10b	口縁部：平縁、縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）結節文（両結び一類）	119
4	CL72区・6層上面、CL71区・4層、CL73区・2層	探鉢・N9a	口縁部：小突起のつく平縁、交互刺突帯、胴部：交互刺突帯、方形区画沈線文、縄文(L{(Lr)/(R ℓ)})結節文(両結び一類)	9−1

第23図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・6層上面）

第IIIb層上面（第6層上面）：第23図

第23図1、4：1は胴部から口縁部にかけてゆるく内弯しながら外傾する器形である。2は頸部が「く」字状にくびれ口縁部は短く、外傾している。ともに沈線文と刺突文によって文様が描かれている。

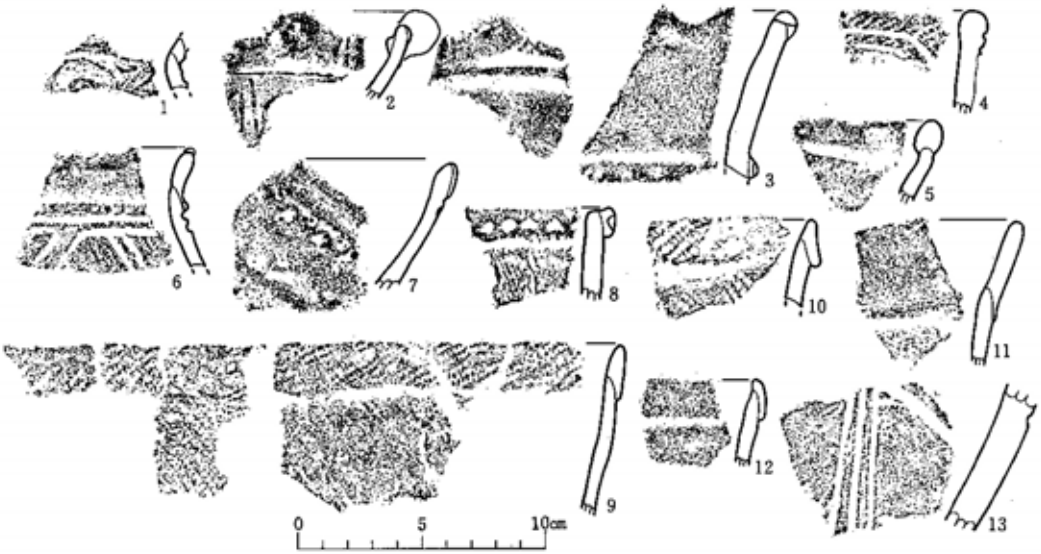
第23図2〜3：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。

第IIIa層（第5層）：第24図

第24図1〜2：頸部がつよくくびれる器形である。細い粘土紐によって文様が施される。1はさらに半截竹管による連続刺突文が加えられる。

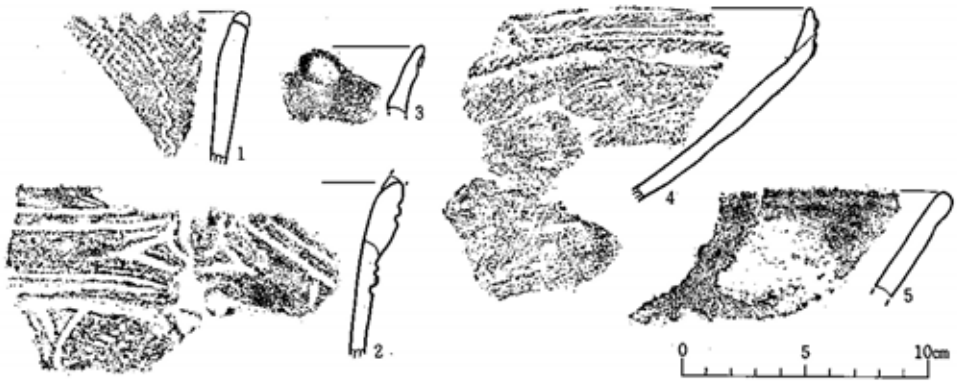
第24図3:頸部がゆるくくびれる器形と思われる。頸部隆帯上に指頭状圧痕が施されている。

第24図4〜8、13：口縁部破片である。ともに、隆線文や沈線文、刺突文によって文様が描



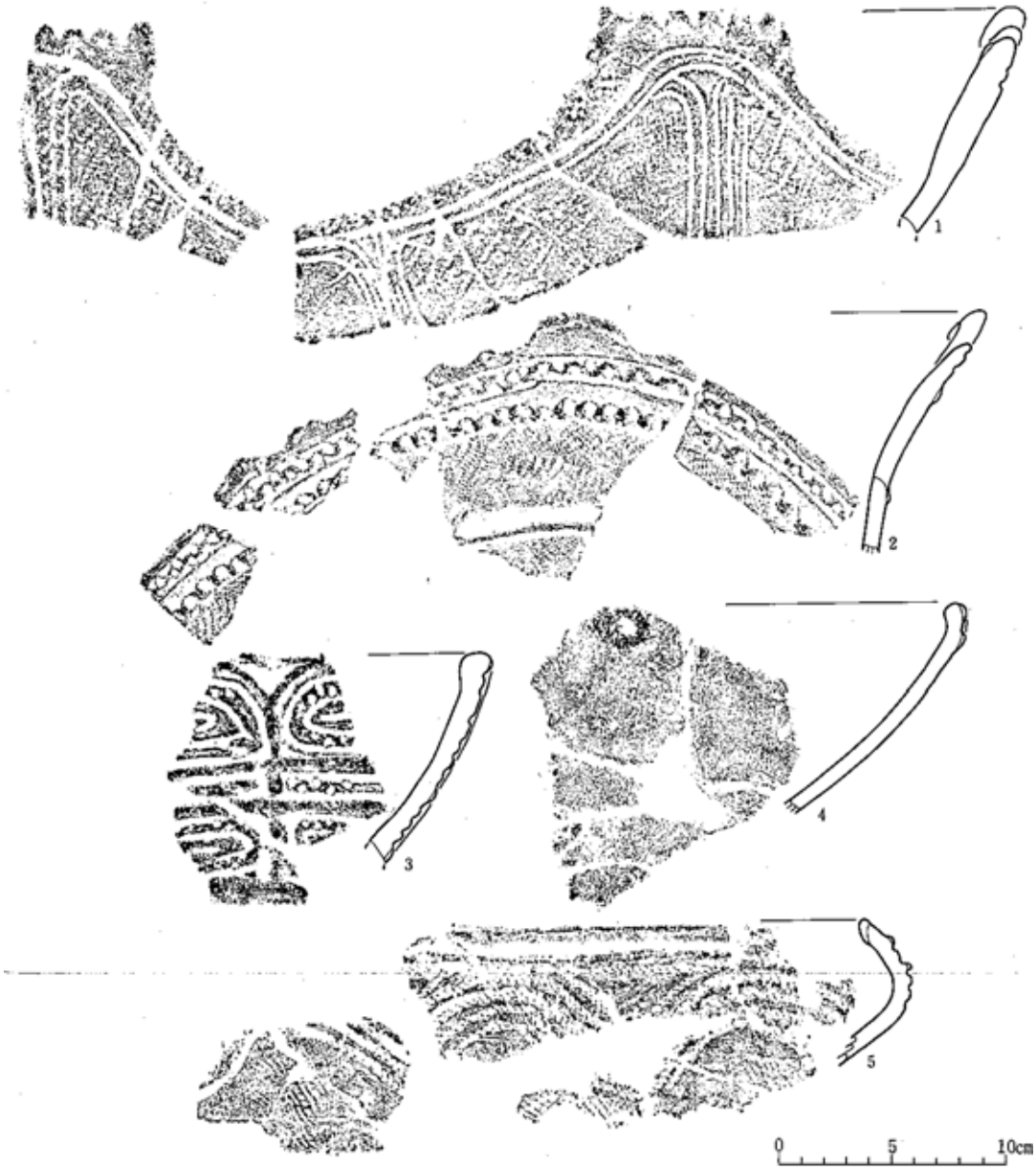
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・5層	深鉢・H2a	口縁部・胴部：粘土紐貼付文（円形，三角形状），半截竹管による連続刺突文	120
2	CL72区・5層	深鉢・H2b	口縁部：小突起のつく平縁，方形状粘土紐貼付文	120
3	CL72区・5層	深鉢・E11	口縁部：小突起のつく平縁，無文，頸部：横位隆帯，指頭状圧痕	120
4	CL72区・5層	深鉢・S4b(？)	口縁部：平縁，弧状沈線文，縄文（LR）	120
5	CL72区・5層	深鉢・V or W－	口縁部：波状縁，無文，頸部：横位沈線文，胴部：無文	120
6	CL72区・5層	深鉢・N4a	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：区画沈線文，縄文（LR）	120
7	CL72区・5層	深鉢・D(IIC2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，交互刺突文，区画に沿う沈線文	120
8	CL72区・5層	深鉢・W1a	口縁部：平縁，連続刺突文，縄文（Lr）結節文（両結び一類）	120
9	CL72区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	120
10	CL72区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	120
11	CL72区・5層	深鉢・W2b	口縁部：波状縁，無文，胴部：無文	120
12	CL72区・5層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	120
13	CL72区・5層	深鉢・D(II－)1a	口縁部：波状縁，区画沈線文	120

第24図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・5層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，刻目突（上端），縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	120
2	CL72区・5層上面，CL72区・ベルト3層	深鉢・D(II－)6a(？)	口縁部：波状縁（波状部欠損），弧状区画沈線文，渦巻状沈線文，頸部：「＊」字状区画文，横位平行沈線文，胴部：「Y」字状懸垂文，縄文（RL）	120
3	CL72区・5層上面	深鉢・N－	口縁部：小突起のつく平縁，「の」字状貼付文	120
4	CL72区・5層上面	浅鉢・A3a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文(LR)結節文(両結び一造)，胎土：金雲母を多く含む	120
5	CL72区・5層上面	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文，胴部：無文，粘土：金雲母を多く含む	120

第25図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・5層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・4層・3層、CL73区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、刻目文（上端）、区画沈線文、縄文（RL）	121
2	CL72区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：小突起のつく平縁、「八」字状縦付文（小突起内面）、交互刺突帯、横位隆帯・複線状沈線、縄文（LR）、頸部：隆帯、沈線：縄文（LR）	121
3	CL72区・4層、CM69区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、交互刺突文	121
4	CL72区・4層	浅鉢・A8e	口縁部：波状縁、円環状貼付文、胴部：無文	121
5	CL72区・4層・3層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）、縄文（Lr）、頸部：横位沈線文	121

第26図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・4層）

かれている。

第 24 図 9～12：口縁部破片である。口縁部は複合口縁状を呈し、外傾している。文様意匠は施されていない。

第Ⅲa 層上面（第 5 層上面）：第 25 図

第 25 図 1～3：口縁部が外傾する深鉢形土器である。2 は隆線文、沈線文によって文様が施されている。

第 25 図 4～5：浅鉢形土器である。4 は口縁部に隆線文、沈線文によって文様が施されている。

第Ⅲ´a 層（第 4 層）：第 26 図

第 26 図 1～3：頸部がゆるやかな「く」字状を呈し、口縁部が外傾する器形である。1 は弁状の口縁部に弧状の区画沈線文が施されている。2、3 は隆線文、沈線文、交互刺突文によって文様が構成されている。

第 26 図 4：波状縁の浅鉢形土器である。

第 26 図 5：頸部がゆるやかな「く」字状を呈し、口縁部がキャリパー状に内弯する器形である。区画隆線文と押圧縄文によって口縁部は構成されている。頸部には横位沈線文がめぐっている。

第Ⅲ´c 層（第 3 層）：第 27 図～第 29 図

第 27 図 1～2：頸部が「く」字状につよくくびれる器形と思われる。文様は「∩」字状の貼付文と沈線文、刻目文から構成されている。

第 27 図 3～5：胴部から口縁部まで直線的に外傾すると思われる器形である。刺突文や沈線文によって文様が構成されている。

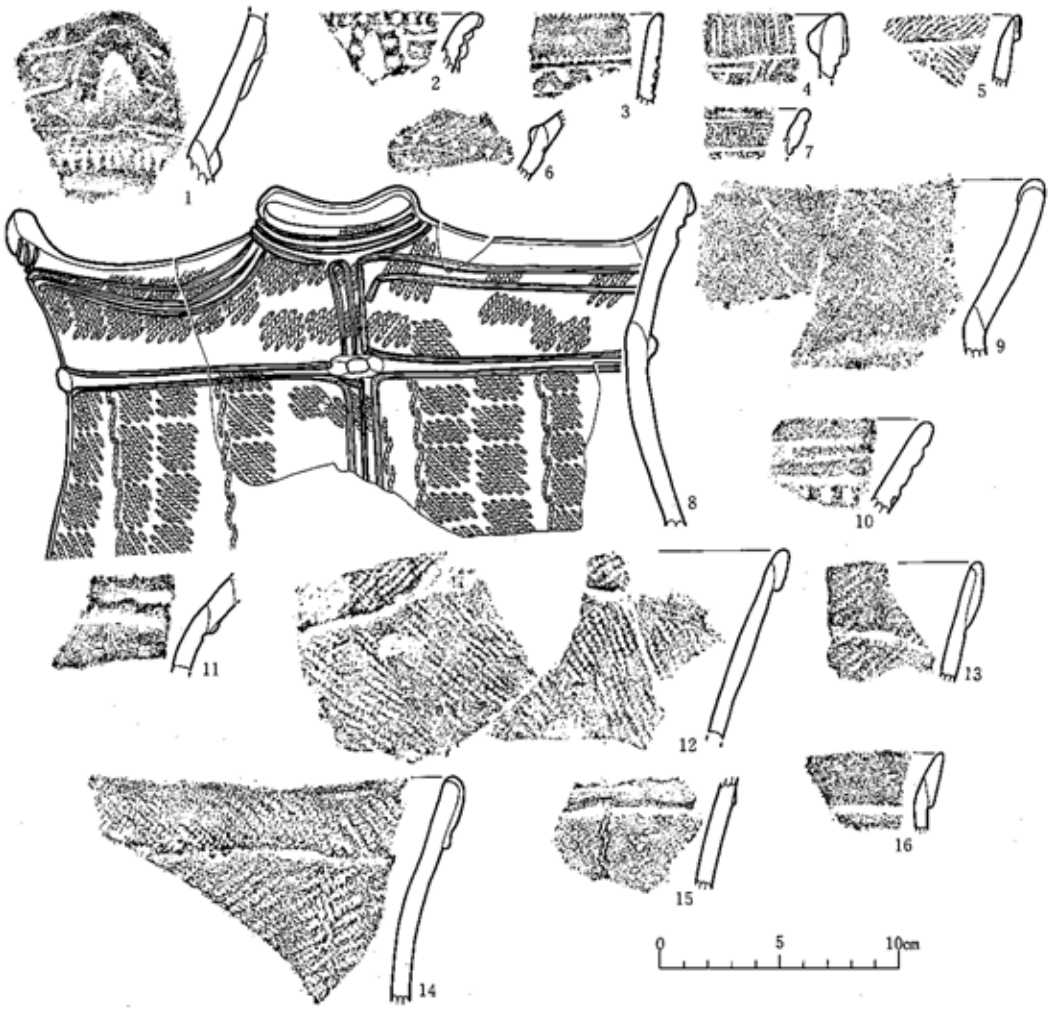
第 27 図 6～7：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。沈線文と刺突文によって文様が構成されている。

第 27 図 8～11、第 29 図 1、4～5：頸部がゆるくくびれ、口縁部は内弯気味に外傾し、胴部が若干膨む器形である。第 27 図 8、10、第 28 図 1 が文様意匠が施されている。8 は口縁部・胴部に区画沈線文が、10 は沈線文と刺突文が、第 27 図 1 が口縁部に弧状沈線文が各々施されている。

第 27 図 12～16：胴部から口縁部まで外傾する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。

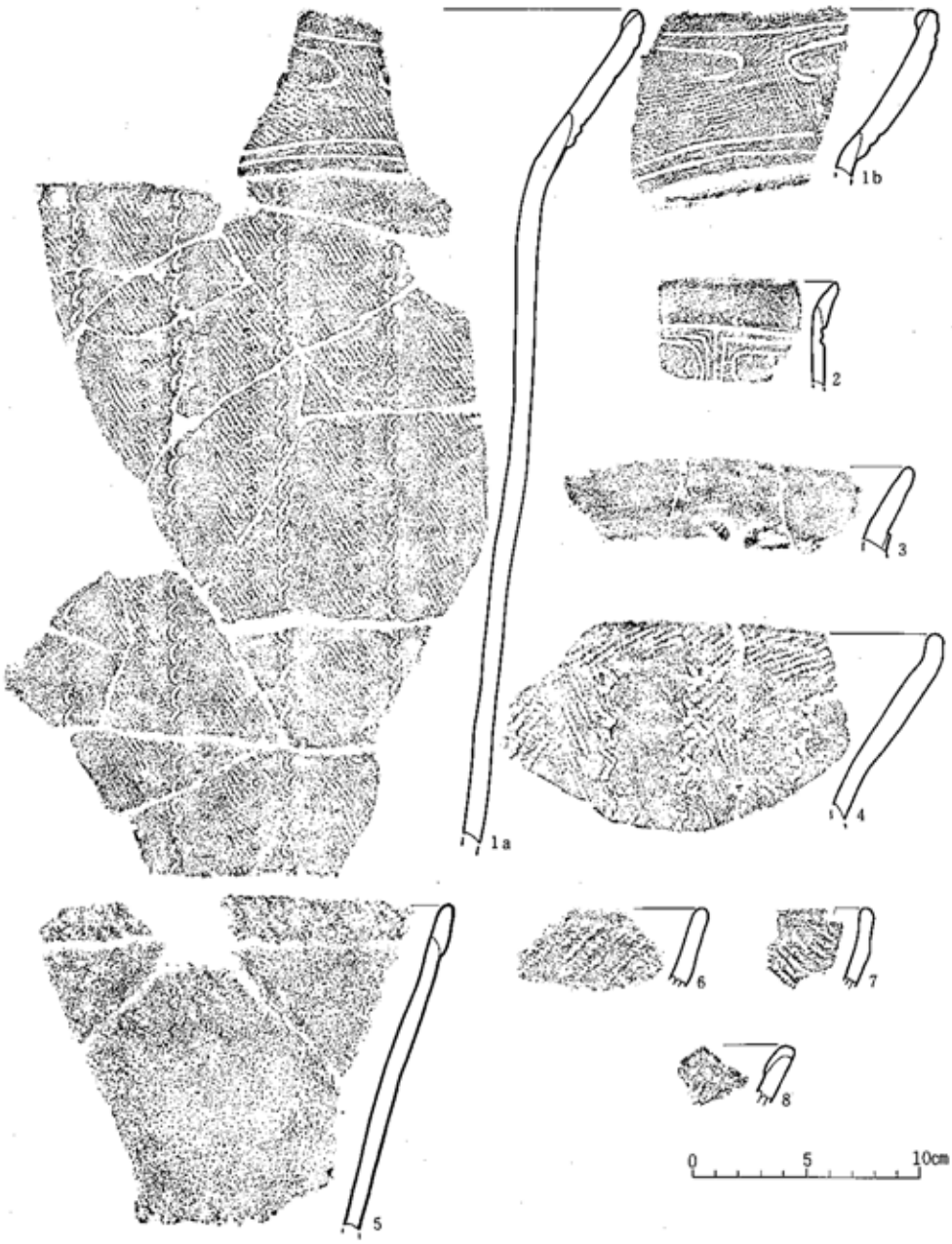
第 28 図 2～3：頸部が「く」字状にくびれ、文様が頸胴部に施されている。

第 29 図 1～3：浅鉢形土器である。1、2 は沈線文と交互刺突文によって、3 は隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。



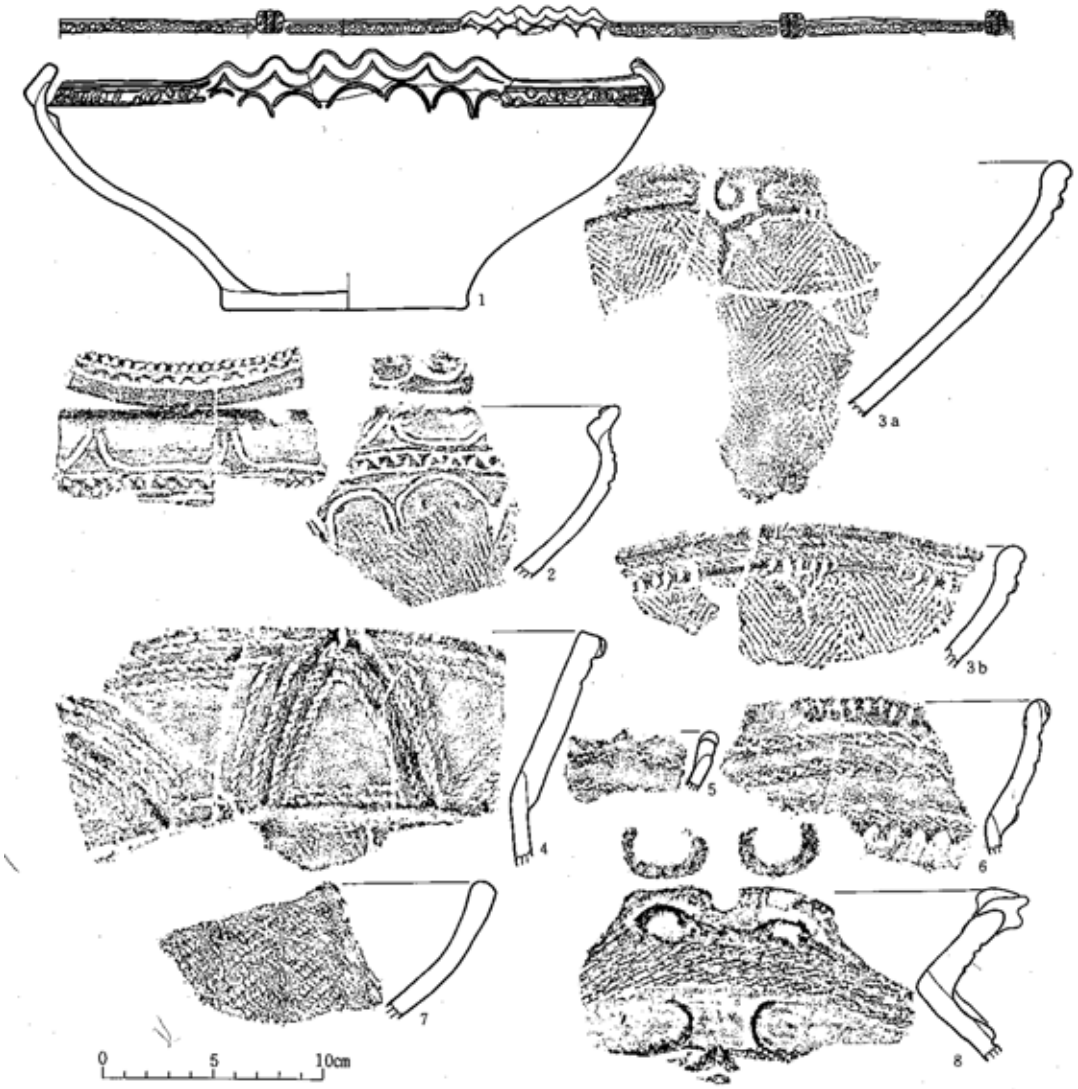
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・3層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：刻目の施される「∩」字状貼付文，横位平行沈線文，縦位・「く」字状短沈線文，頸部：横位隆帯，縦位刻目文	122
2	CL72区・3層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：平縁，横位隆帯，刻目文，刻目の施される「∩」字状貼付文，横位平行沈線文，連続刺突文	122
3	CL72区・3層	深鉢・S4a(？)	口縁部：平縁？，刻目文（上端），平截竹管による横位平行沈線文，円形竹管による連続刺突文，交叉の三角形の配置	122
4	CL72区・3層	深鉢・S4a(？)	口縁部：平縁，縦位短沈線文，胴部：沈線文	122
5	CL72区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，爪形刺突文，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	122
6	CL72区・3層	深鉢・－	口縁部：円形竹管による連続刺突文（下端），縄文（RL），頸部：横位沈線文，胴部：縄文（RL）	122
7	CL72区・3層	深鉢・D(Ⅰ)1－	口縁部：平縁，横位平行沈線文，連続刺突文	122
8	CL72区・3層	深鉢・E(Ⅱd)1	口縁部：波状縁，「∪」字状貼付文，区画沈線文，縄文（LR），頸部：横位平行沈線文，中央のつまみ出される楕円形貼付文，胴部：頸部文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	
9	CL72区・3層	深鉢・D(Ⅱc2)5	口縁部：波状縁，縄文（RL）結節文（片結び一類），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	122
10	CL72区・3層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，連続刺突文	122
11	CL72区・3層	深鉢・－	頸部：横位隆帯，縦状圧痕，胴部：横位沈線文	122
12	CL72区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	122
13	CL72区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	122
14	CL72区・3層	深鉢・S10b	口縁部：波状縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文	122
15	CL72区・3層	深鉢・W2b	口縁部：無文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	122
16	CL72区・3層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（Lr）	122

第27図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・3層(1)）



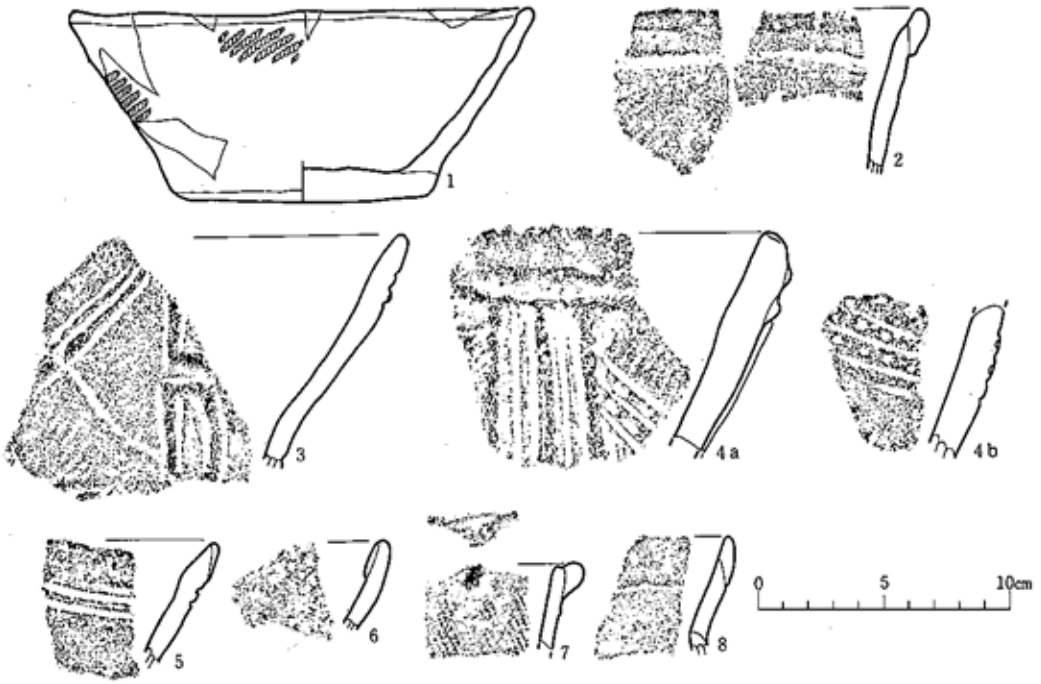
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1ab	CL72区・3層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部：波状縁，区画沈線文，弧状沈線文，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	122
2	CL72区・3層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，縄文（Lr）結節文（片結び一類），胴部：方形区画沈線文，弧状文，縄文（Lr）結節文（片結び一類）	122
3	CL72区・3層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，胴部：「ｘｊ字状区画貼付文	122
4	CL72区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：結束（第1種）羽状縄文（Lr×RL）	122
5	CL72区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	122
6	CL72区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL）	122
7	CL72区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	122
8	CL72区・3層	深鉢・D(IIc2)5(?)	口縁部：波状縁，縄文（RR）結節文（片結び一類）	122

第28図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・3層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CL72区・3層	浅鉢・A2	口縁部：小波状部のある平縁，方形の小突起（縄文（RL）），交互刺突文，連弧状沈線文，底部：網代底	8−1
2	CL72区・3層，CL73区・ベルト2層，CL74区・2層	浅鉢・A2	口縁部：平縁，半月形貼付文・連弧状沈線文（内面上部），連弧状沈線文，頸部：交互刺突帯，胴部：連弧状沈線文，縄文（LR）	123
3a,b	CL72区・3層，CM80区・北ベルト2層，CM81区・3層，CL82区・2層	浅鉢・A3c	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），頸部：横位押圧縄文（LR）の施される隆帯，胴部：連弧状押圧縄文（LR），縄文（無節）羽状縄文（LR×RL）	123
4	CL72区・3層	深鉢・D(Ⅰ)6c	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	123
5	CL72区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁，横位押圧縄文（RL）	123
6	CL72区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，縦位刻目文の施された隆帯，横位平行押圧縄文（LR），頸部：横位隆帯，指頭状圧痕	123
7	CL72区・3層	深鉢・D(Ⅱcd)1a	口縁部：波状縁，「介」字状貼付文（内・外面上部），横位押圧縄文（RL），頸部：「イメ」字状区画貼付文，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	123
8	CL72区・3層	深鉢・N5a	口縁部：波状縁，縄文（RL）結節文（片結び一種）	123

第29図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・3層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL72区・3層上面	浅鉢・A8d	口縁部：平縁，縄文（LR），ミガキ調整（縄文の一部は磨り消されている）	10−2
2	CL72区・3層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	
3	CL72区・2層，CL73区・ベルト3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	124
4a,b	CL72区・2層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位刻目文（上端），区画隆線文，区画に沿う沈線文，連続刺突文，縄文（RL）	124
5	CL72区・2層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，縄文（RL）	124
6	CL72区・2層	深鉢・D(IIc2)5	口縁部：波状縁，縄文（RL）	124
7	CL72区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，小突起（上部），縄文（LR）	124
8	CL72区・1層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	124

第30図　東側遺物包含層出土土器（CL72区・3層上面・2層・1層）

第29図4〜8：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。8は強くくびれている。4〜6、8の口縁部には押圧縄文が施されている。8の胴部は区画隆線文と沈線文によって構成されている。

第III´a層上面（第3層上面）：第30図1〜2

第30図1：浅鉢形土器である。縄文施文の後で、ミガキ調整が施されている。

第30図2：胴部から口縁部にむかって直線的に外傾している。口縁部は複合口縁状をなしている。

第III´b層（第2層）：第30図3～7

第30図3～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。3、4は隆線文と沈線文によって、5は沈線文によって文様が構成されている。

第30図6～7：地文のみの土器である。7は小突起が付されている。

第III´a層（第1層）：第30図8

第30図8：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。口縁部は複合口縁状を呈している。

CM72区

第V層（第7層）：第31図

第31図1：口縁部はゆるやかに外反している。鋸歯状に粘土紐が貼付されている。

第31図2～3：口縁部が肥厚して外傾する器形である。沈線文によって文様が構成されている。

第31図4～5：頸部が「く」字状にくびれ、胴部が膨む器形である。4は口縁部・胴上部に沈線文によって文様が施されている。5は口縁部に沈線文によって文様が施されている。頸部には指頭状圧痕が連続して付されている。

第31図6：胴部破片である。半截竹管による平行沈線によって文様が描かれている。

第31図7：口縁上部がわずかに内弯している。半截竹管による連続刺突が施されている。

第31図8：頸部がゆるくくびれる器形と思われる。縦位貼付文と平行沈線文によって文様が構成されている。

第31図9：胴部破片である。細い粘土紐が貼付されている。

第VI層（第6層）：第32図～第33図

第32図1：胴部破片である。地文に組紐回転文が施されている。胎土に繊維を含んでいる。

第32図2：胴部破片である。鋸歯状に粘土紐が貼付されている。

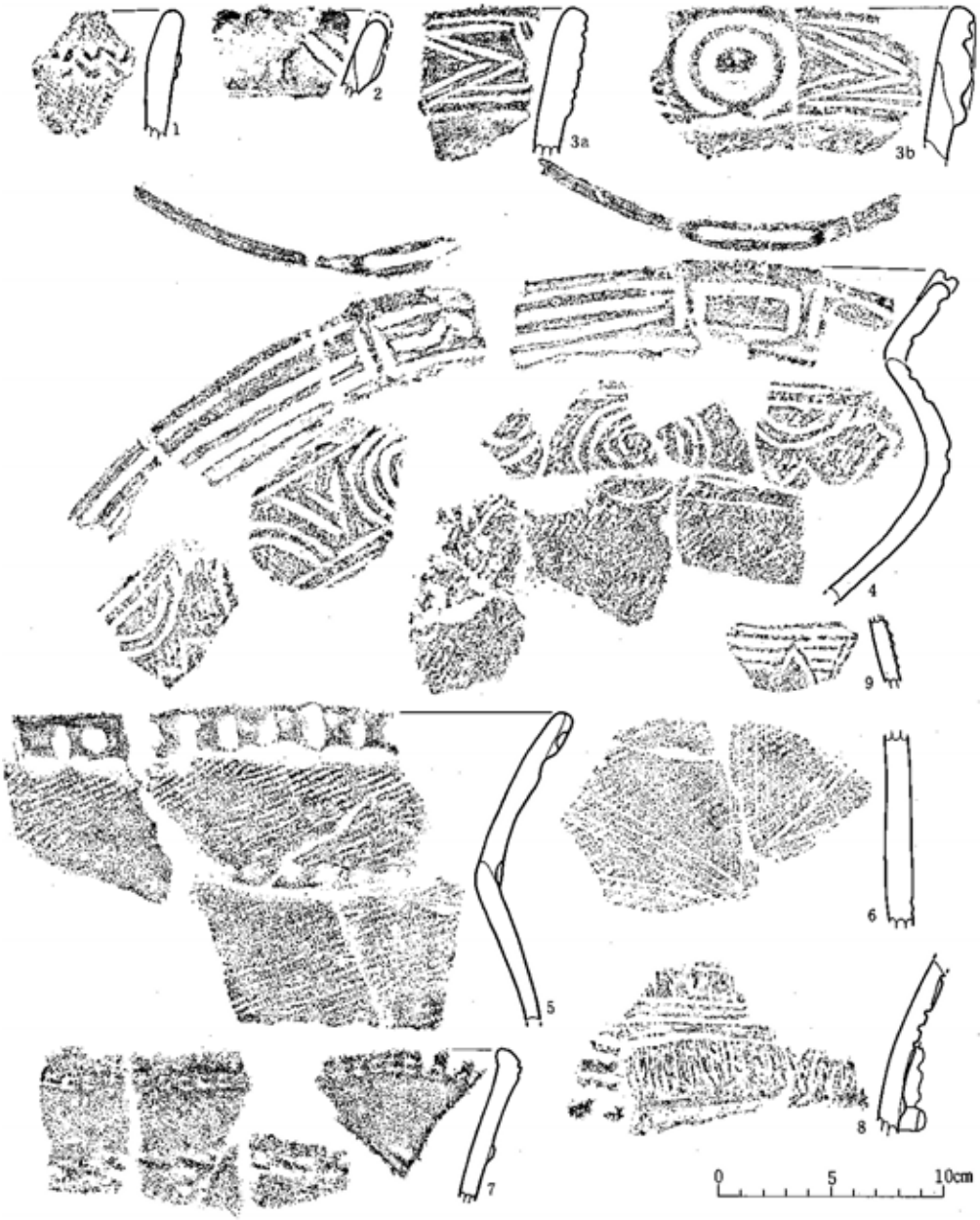
第32図3～4：頸部が「く」字状にくびれる器形である。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第32図5：胴部破片である。粘土紐が菱形状に貼付されている半截竹管による押引き文が加えられている。

第32図6～11：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が施されている。

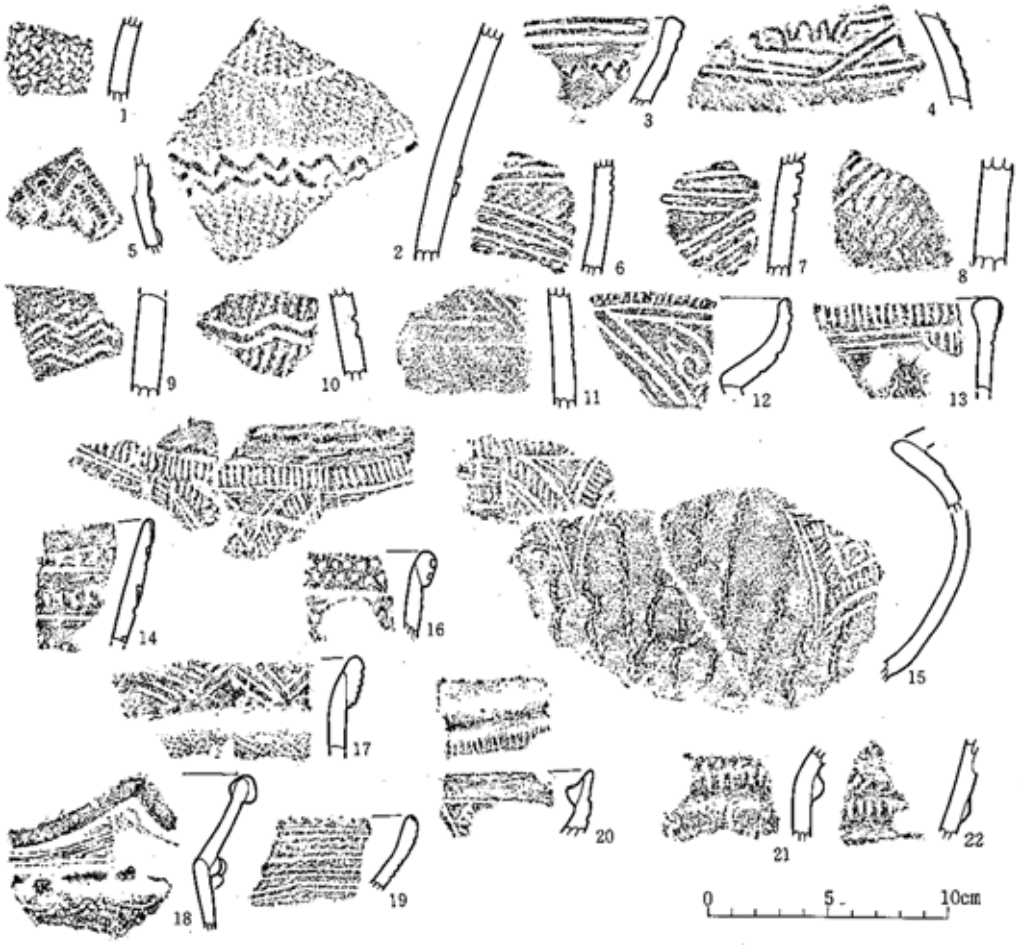
第32図12、14～15、18～22：頸部が「く」字状にくびれる器形である。沈線文や半截竹管による平行沈線文によって文様が施され、梯子状に短沈線文や刻目文が加えられている。

第32図13、16～17：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形である。口縁部は複合口



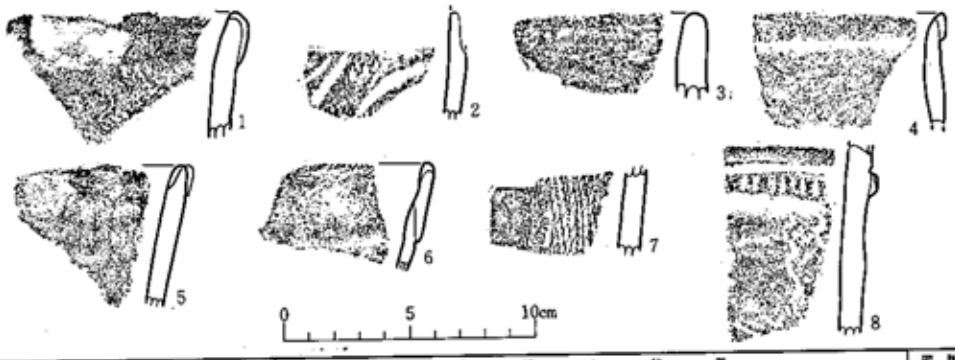
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・7層	深鉢・S−	口縁部：平線、鋸歯状粘土紐貼付文、縄文（LR）	124
2	CM72区・7層	深鉢・A(I)1a	口縁部：波状線、半截竹管による平行沈線文（斜位）	124
3a,b	CM72区・CM73区・ベルト7層	深鉢・A(II)2	口縁部：平線、円形状沈線文、横位平行沈線文、「く」字状平行沈線文、胴部：縄文（RL）	124
4	CM72区・7層・6層	深鉢・H2a	口縁部：小突起のつく平線、中央のくぼむ突起、長方形区画文、胴部：高巻状沈線文、山形沈線文、縄文（LR）	124
5	CM72区・7層、CM73区・7層、CM71区・6層	深鉢・E(I)9	口縁部：平線、太い縦位沈線・円形の盲孔（上部）、縄文（LR）（下部）、指頭状圧痕（下端）、胴部：縄文（LR）	124
6	CM72区・7層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）	124
7	CM72区・7層・6層、CM73区・ベルト6層、CM71区・7層・6層	深鉢・S8a	口縁部：波状線、刻目文（波頂部）、半截竹管による連続刺突文、頸部：横位隆帯、斜位刻目文	124
8	CM73区・7層・5層、CM71区・4層	深鉢・E(I)4b	口縁部：縦位貼付文、斜位刻目文、横位平行沈線文、半截竹管による縦位短沈線文、頸部：隆帯	124
9	CM72区・7層	深鉢・H6b	胴部：粘土紐貼付文、縄文（RL）	124

第31図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・7層）



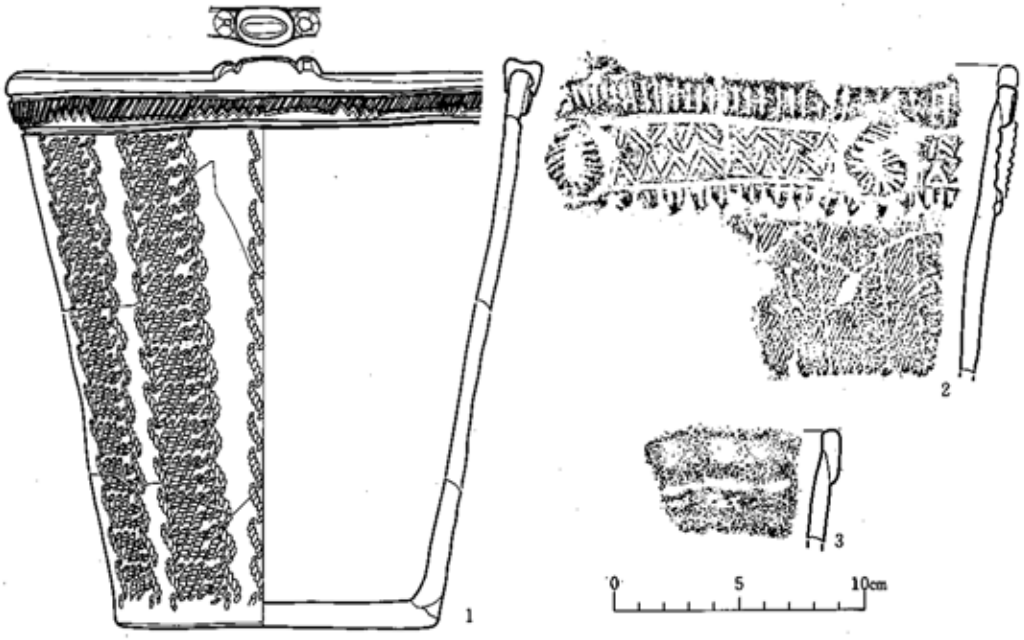
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・6層	深鉢・S−	胴部：組紐圧痕文，胎土：繊維混入	125
2	CM72区・6層	深鉢・S−	胴部：鋸歯状粘土紐貼付文，縄文（LR）	125
3	CM72区・ベルト6層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：平縁，粘土紐貼付文（横位，鋸歯状），横位平行沈線文	125
4	CM72区・6層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文（横位，斜位，鋸歯状）（上半部），縄文（RL）（下半部）	125
5	CM72区・6層	深鉢・Q−(?)	胴部：菱形状粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文	125
6	CM72区・ベルト6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文	125
7	CM72区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文	125
8	CM72区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	125
9	CM72区・ベルト6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	125
10	CM72区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	125
11	CM72区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文	125
12	CM72区・6層，CL73区・ベルト2層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，斜位短沈線文（上部），区画沈線文，撚糸文	125
13	CM72区・ベルト6層	深鉢・S3a	口縁部：縦位短沈線文，胴部：横位平行沈線文，半円形沈線文，斜位短沈線文，胴部：縄文（Lr）結節文（円結び一類）	125
14	CM72区・6層	深鉢・H2b(?)	口縁部：波状縁，横位平行沈線文，連続刺突文	125
15	CM72区・6層，CM72区・ベルト6層，CM73区・7層	深鉢・H2b	胴部：斜位短沈線文，懸垂沈線文，結束（第2種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一類）	125
16	CM72区・6層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，連続刺突文，胴部：縄文	125
17	CM72区・6層，CL74区・5層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，半截竹管による平行沈線文（連続山形状），半截竹管による連続刺突文（下縁），胴部：縄文（RL）	125
18	CM72区・ベルト6層	深鉢・E(Ⅱa)1	口縁部：波状縁，口縁に沿う半截竹管による平行沈線文，頸部：隆帯，円形突起，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	125
19	CM72区・6層	深鉢・E(Ⅰ)4b(?)	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文（上縁），半截竹管による横位平行沈線文，縄文	125
20	CM72区・6層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，斜位短沈線文（内面上部），横位沈線文，円形及び斜位沈線の組み合わせ状沈線文	125
21	CM72区・6層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：円形竹管による連続刺突文，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	125
22	CM72区・6層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：斜位短位沈線文，頸部：横位隆帯，刻目文	125

第32図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・6層(1)）



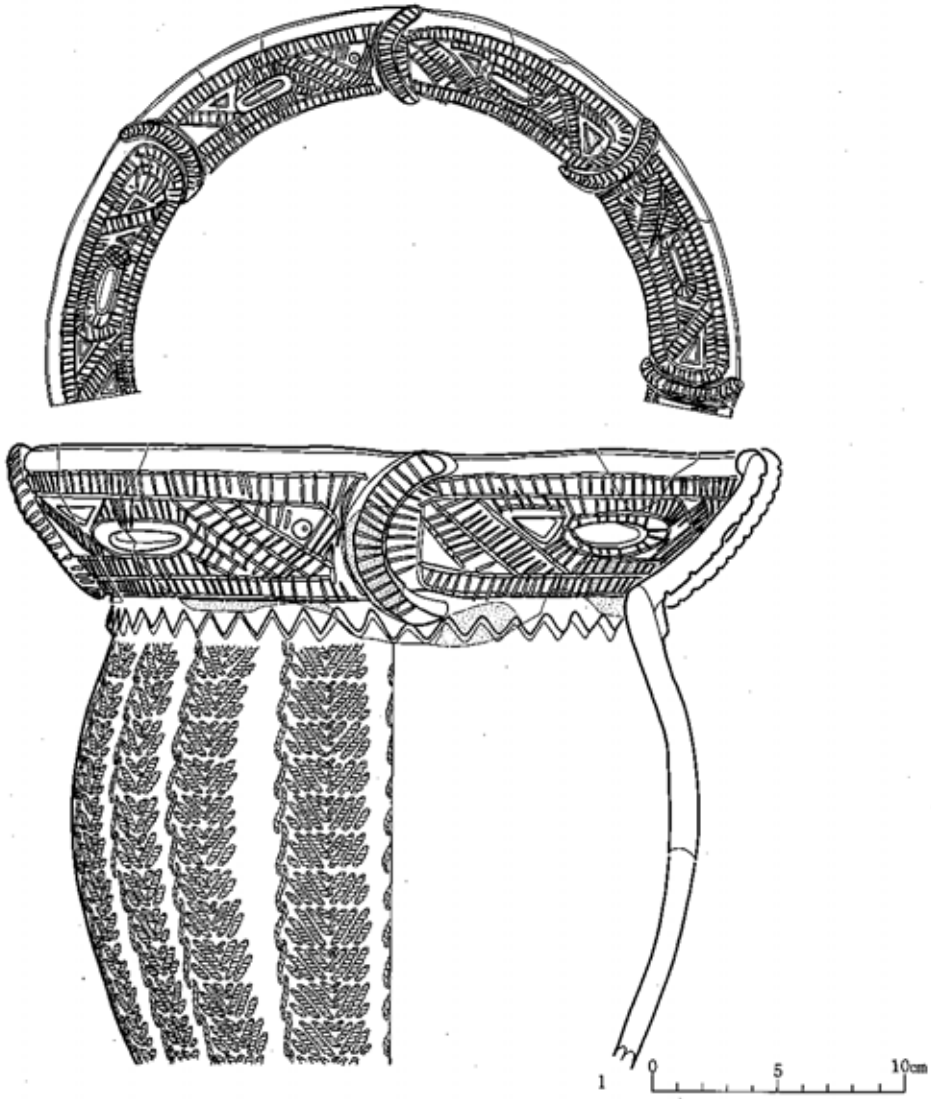
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・ベルト6層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	126
2	CM72区・6層	深鉢・一	胴部：相対する弧状沈線文，縄文（LR）	126
3	CM72区・6層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，縦位隆線文（斜落）	126
4	CM72区・6層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	126
5	CM72区・6層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，指頭状圧痕（内外面上端）	126
6	CM72区・6層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	126
7	CM72区・6層	深鉢・S－（？）	胴部：撚紋（L）	126
8	CM72区・ベルト6層	深鉢・D－	口縁部：横位沈線文，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	126

第33図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・6層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・6層上面，CM72区・ベルト6層，CR90区・2層	深鉢・S3a	口縁部：突起のつく平縁，中央のくぼみ突起（上端），横位平行沈線文，斜位沈線文，三角形の彫去，胴部：結束（第1種）縄文（RL×RL）結節文（片結び一環）	10－5
2	CM72区・6層上面，CN71区・1層	深鉢・S2	口縁部：小突起のつく平縁，横位沈線文（上端），渦巻状結行文，連続山形文，頸部：横位沈線文及び三角形の彫去の残される隆帯，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	126
3	CM72区・6層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	126

第34図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・6層上面(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・6層上面、CM72区・ベルト6層、CM72区・7層	深鉢・E(I)4c	口縁部：平縁、「ノ」字状貼付文（4単位）、楕円形及び山形状の組みあわせ疑縄文、楕円形及び三角形の形状、疑縄文。頸部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一結）	9−2

第35図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・6層上面）

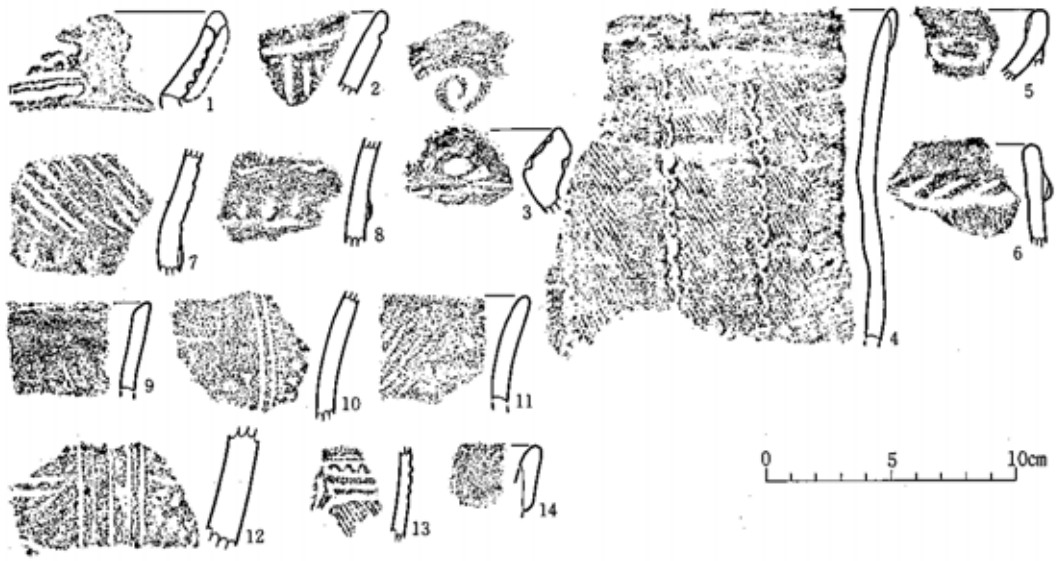
縁状に肥厚し、文様が描かれている。

第33図1、3〜6：文様意匠が施されない土器である。1,4は複合口縁状を呈している。

第33図2、7〜8：胴部破片である。

第IV層上面（第6層上面）：第34図〜第35図

第34図1〜2：底部から胴部にかけて直線的に外傾する器形である。口縁部に文様が描かれ



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・ベルト5層	深鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：小突起のつく平縁，縦位貼付文（剥落），横位平行沈線文，横位鋸歯状沈線文	126
2	CM72区・ベルト5層	深鉢・E(Ⅱ)−	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，縦位短沈線文	126
3	CM72区・5層	深鉢・H2b	口縁部：突起のつく平縁，渦巻文（内面上部），円環状貼付文，橋状把手（剥落）	126
4	CM72区・ベルト5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（Lr）結節文（両結び一順）	126
5	CM72区・5層	深鉢・H2b(？)	口縁部：波状縁，橋状把手（剥落）	126
6	CM72区・5層	深鉢・S9a	口縁部：波状縁，斜位短沈線文（下端），胴部：縄文結節文	126
7	CM72区・5層	深鉢・D−(？)	口縁部：斜位沈線文，半截竹管による連続刺突文（下端）	126
8	CM72区・5層	深鉢・D−(？)	口縁部：結節文，頸部：横位隆帯，刻目文	126
9	CM72区・5層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	126
10	CM72区・ベルト5層	深鉢・S3a(？)	胴部：半截竹管による平行沈線文（「Y」字状），短沈線文，三角形の彫去，縄文，結節文（片結び一順）	126
11	CM72区・5層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（RL）	126
12	CM72区・5層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（RL）	126
13	CM72区・5層	深鉢・S−	口縁部：渦巻状沈線文，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（Lr）	126
14	CM72区・5層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	126

第36図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・5層）

ている。

第34図3：口縁部が複合口縁状を呈する無文土器である。

第35図1：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部は、貼付文、沈線文、彫去によって文様が構成されている。

第IIId層（第5層）：第36図

第36図1～2：頸部が「く」字状にくびれ口縁部が外傾する器形である。口縁部は沈線文によって文様が描かれている。

第36図3：突起部破片である。内面に渦巻状貼付文が施されている。

第36図4、9、11、14：口縁部がゆるやかに外傾する器形である。文様意匠は施されていない。

第36図5：口縁部は内弯しながら外傾している。橋状把手が欠損している。

第36図6:胴部から口縁部にかけて若干内傾している。頸部隆帯には刻目文が施されている。

第36図7〜8：頸部がゆるく外反する器形である。頸部隆帯には刻目文が施されている。

第36図10、12〜13：胴部破片である。10は半截竹管による平行沈線文と横位短沈線文、三角形の彫去によって、12は半截竹管よる平行沈線文によって、13は沈線文と刺突文によって文様が構成されている。

第IIIc層（第4層）：第37図1〜10

第37図1〜2：口縁部が肥厚し、ゆるやかに外傾する器形である。沈線文と刺突文によって文様が構成されている。

第37図3〜4：頸部がゆるい「く」字状を呈する器形と思われる。沈線文が施されている。

第37図5：口縁部が短く外傾する器形である。胴部に隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第37図6、9〜10：口縁部はわずかに外傾している。文様意匠は施されていない。

第37図7：口頸部破片である。楕円形貼付文が付されている。

第37図8：口縁部は外傾している。横位平行沈線文が施されている。

第IIIc層上面（第4層上面）：第37図11〜12

第37図11：胴部被片である。鋸歯状粘土紐貼付文が付されている。

第37図12：頸部がゆるい「く」字状を呈する器形である。無文である。

第III´c層（第3層）：第38図

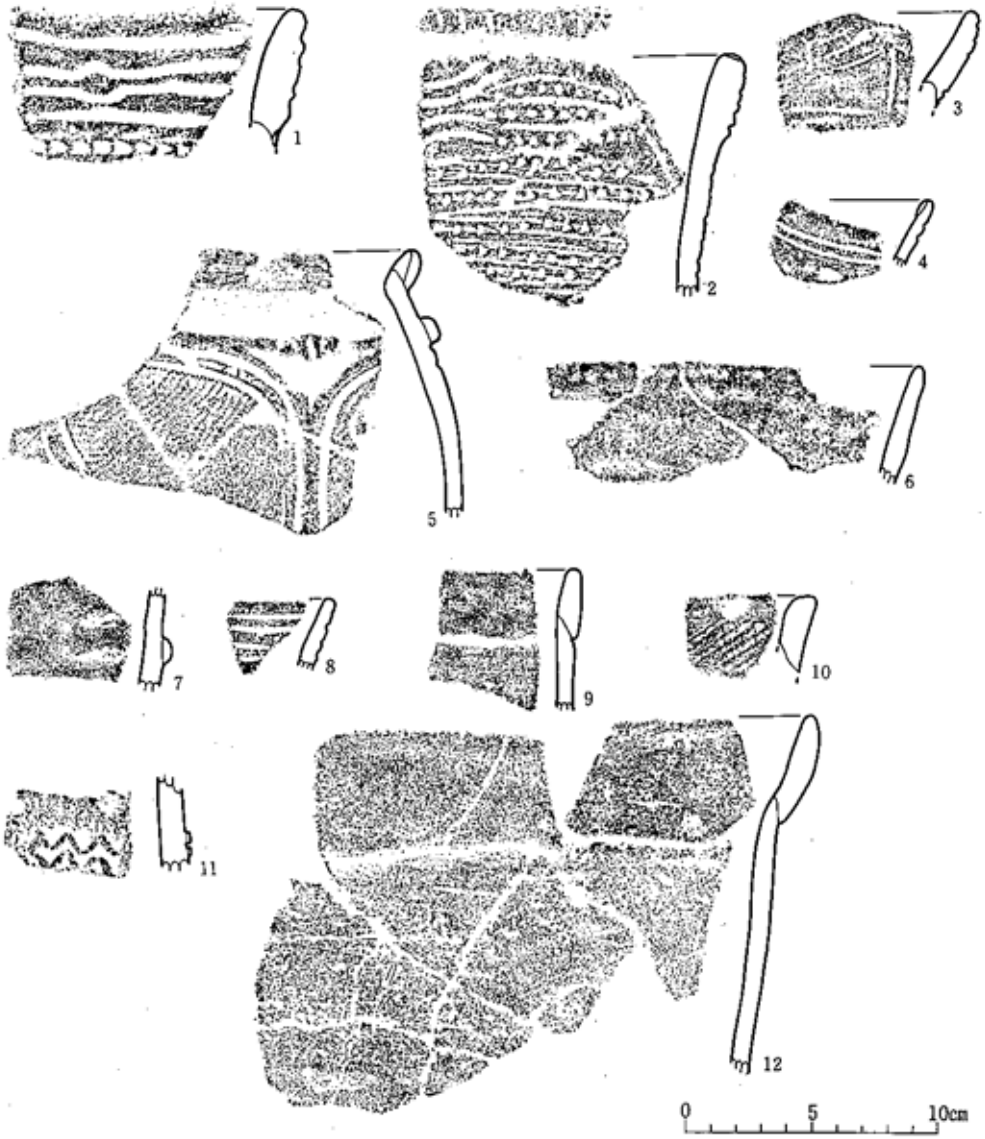
第38図1〜2：口縁部がわずかに外傾する器形である。口縁部には連続して刺突文が施されている。

第38図3〜6：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部が外傾する器形と思われる。隆線文、沈線文によって文様が描かれている。

第38図7〜9：文様意匠が施されない土器である。7〜8の口縁部は外傾し、9はほぼ直立している。

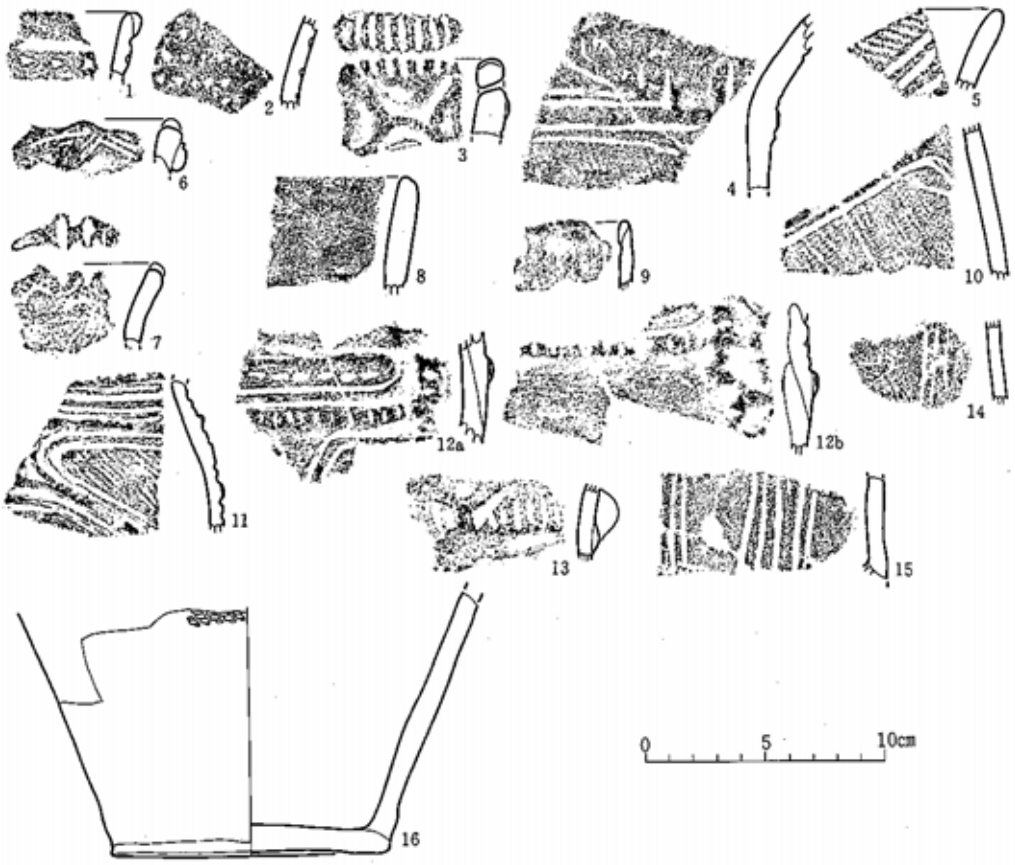
第38図10〜15：胴部破片である。10〜12は隆線文、沈線文によって文様が施されている。13は隆線文、押圧縄文によって、14〜15は沈線文によって文様が構成されている。

第38図16：底部資料である。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・ベルト4層	深鉢・A(Ⅰ)1b	口縁部：波状縁，横位平行沈線文，弧状沈線文，頸部：横位押引き文	127
2	CM72区・4層	深鉢・A(Ⅰ)1b	口縁部：平縁，刻目文〔上潰〕，弧状沈線文，円形竹管文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文	127
3	CM72区・4層	深鉢・D(IIa)4a	口縁部：波状縁，区画沈線文	127
4	CM72区・4層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文	127
5	CM72区・4層，CM72区・ベルト4層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，頸部：「Y」字状垂直隆線文，刻目のつく楕円形貼付文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	127
6	CM72区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	127
7	CM72区・ベルト4層	深鉢・－	口頸部：楕円形貼付文，縄文	127
8	CM72区・ベルト4層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（RL）	127
9	CM72区・4層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	127
10	CM72区・ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	127
11	CM72区・4層上面	深鉢・S－	胴部：鋸歯状形土偶貼付文，縄文（LR）	127
12	CM72区・4層上面	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	127

第37図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・4層・4層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・ベルト3層	探鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：平縁，横位平行沈線文，連続刺突文	128
2	CM72区・3層	探鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：連続刺突文	128
3	CM72区・3層	探鉢・D(Ⅱe2)1a	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，貫通孔（焼成前）	128
4	CM72区・3層	探鉢・D(Ⅱe2(？))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄巻文，胴部：指跡状圧痕の残される隆帯，胴部：横位平行沈線文，縄文（LR）	128
5	CM72区・3層	探鉢・D(Ⅱe2(？))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	128
6	CM72区・3層	探鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：小突起のつく平縁，山形状沈線文	128
7	CM72区・3層	探鉢・W3b	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），縄文（RL）	128
8	CM72区・3層	探鉢・W5	口縁部：波状縁，無文，頸部：横位沈線文	128
9	CM72区・3層	探鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	128
10	CM72区・ベルト3層	探鉢・N9a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	128
11	CM72区・ベルト3層	探鉢・N9a	頸部：横位平行沈線文，胴部：区画隆線文，縄文（LR）	128
12a,b	CM72区・3層，CL79区・2層	探鉢・F(Ⅰ)2	胴部：刻目のつく区画隆線文，隆線に沿う沈線文，連続刺突文	128
13	CM72区・3層	探鉢・−	口縁部：「ｘ」字状区画隆線文，縦位の押圧縄文（LR）	128
14	CM72区・ベルト3層	探鉢・−	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位，弧状）	128
15	CM72区・ベルト3層	探鉢・S4a(？)	胴部：縦位平行沈線文	128
16	CM72区・3層	探鉢・−	胴部：縄文（LR），底部：無文（調整）	

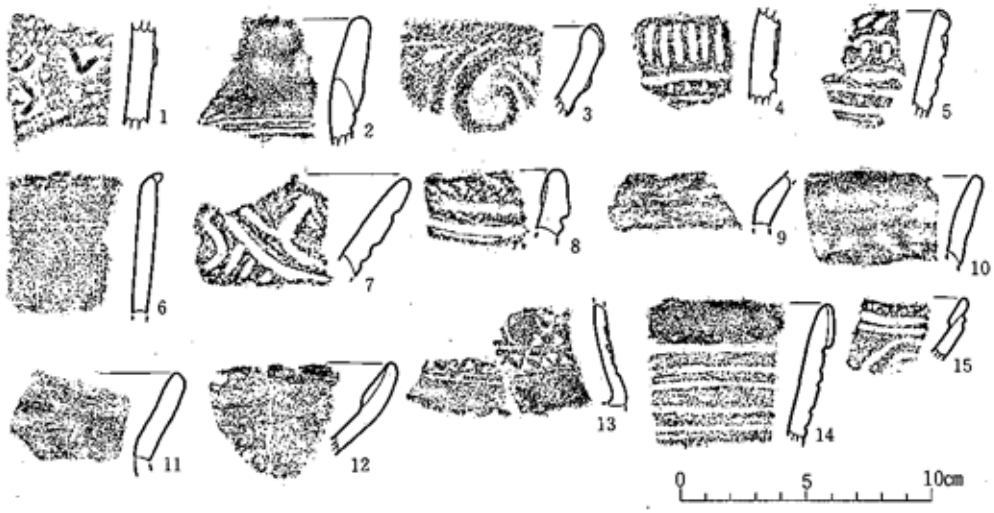
第38図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・3層）

第Ⅲ´b層（第2層）：第39図1～12

第39図1：胴部破片である。鋸歯状粘土紐が付されている。

第39図2：口縁部が肥厚して外傾する器形である。頸部に半截竹管による平行沈線文が施されている。

第39図3：口縁部は内弯しながら外傾している。隆線文、沈線文、彫去によって文様が構成



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM72区・2層	深鉢・S−	鋸歯状粘土紐貼付文，縄文（LR）	129
2	CM72区・ベルト2層	深鉢・A(Ⅰ)−	口縁部；無文，頸部；半截竹管による横位平行沈線文	129
3	CM72区・2層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部；渦巻状貼付文，渦巻状沈線文，三角形の彫去，縄文（LR）	129
4	CM72区・2層	深鉢・S4a	口縁部；横位平行沈線文，縦位短沈線文，連続刺突文	129
5	CM72区・2層	深鉢・S4a	口縁部；平縁，斜位刻目文（上端），横位平行沈線文，縦位連続刺突文	129
6	CM72区・2層	深鉢・S4b	口縁部；平縁，半截竹管による連続刺突文，頸部；横位平行沈線文，半截竹管による交互刺突文，胴部；縦位平行沈線文，縦位結束文	129
7	CM72区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1	口縁部；波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文，縦位刻目文（隆線上），縄文（RL）	129
8	CM72区・ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部；波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	129
9	CM72区・ベルト2層	深鉢・W5	口縁部；無文	129
10	CM72区・2層	深鉢・W5	口縁部；平縁，無文	129
11	CM72区・ベルト2層	深鉢・W5	口縁部；波状縁，無文	129
12	CM72区・2層	浅鉢・A8e	口縁部；平縁，無文，胴部；無文	129
13	CM72区・ベルト1層	深鉢・K or L−	胴部；横位平行沈線文，三角形の交互刺突文，弧状文，渦巻文	129
14	CM72区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部；平縁，無文（上部），横位平行沈線文	129
15	CM72区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅱ−)1(？)	口縁部；波状縁，口縁に沿う平行沈線文，弧状文，縄文（LR）	129

第39図　東側遺物包含層出土土器（CM72区・2層・1層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN72区・4層	深鉢・A−	胴部；半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	129
2	CN72区・4層	深鉢・H2a	胴部；粘土紐貼付文（上半），縄文（RL）（下半）	129
3	CN72区・1層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部；平縁，横位平行沈線文	129

第40図　東側遺物包含層出土土器（CN72区）

されている。

第 39 図 4～5：頸部がゆるく外反する器形と思われる。沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第 39 図 6：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する半截竹管、竹串状施文具によって文様が施されている。

第 39 図 7～8：頸部がゆるい「く」字状を呈する器形と思われる。隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 39 図 9～11：口縁部が外傾する器形である。文様意匠は施されていない。

第 39 図 12：無文の浅鉢形土器である。

第Ⅲ´a層（第１層）：第 39 図 13～15

第 39 図 13：胴部破片である。沈線文、三角形の彫去によって文様が構成されている。

第 39 図 14～15：頸部がゆるい「く」字状を呈する器形と思われる。沈線文によって文様が構成されている。

C N72 区

第Ⅴ層（第４層）：第 40 図 1～2

第 40 図 1～2：胴部破片である。1 は沈線文によって、2 は細い粘土紐によって文様が構成されている。

第Ⅲ´c層（第３層）・第Ⅲ´b層（第２層）：小片のため図化できなかった。

第Ⅲ´a層（第１層）：第 40 図 3

第 40 図 3：口縁部は外傾している。沈線文によって文様が施されている。

(2) 73 列（C L73 区・CM73 区・C N73 区）

C L73 区

第V層（第 6 層）：第 41 図

第 41 図 1:頸部がつよくくびれ、胴部が膨む器形である。胴上部には山形状文が施されている。

第 41 図 2：頸部がゆるい「く」字状を呈する器形と思われる。半截竹管によって文様が構成されている。

第 41 図 3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が短く外傾する器形である。頸部に半截竹管によって格子目状の文様が施されている。

第 41 図 4～5：頸部がつよくくびれる器形である。4 は半截竹管による連続刺突文が、5 は口縁部・胴上部に文様が施されている。

第 41 図 6：底部資料である。胴部には撚糸文が施されている。

第 41 図 7：口頸部破片である。口縁部には沈線文によって文様が施されている。

第 41 図 8～10：頸部がつよく「く」字状にくびれる器形と思われる。口縁部上端内面に隆帯が付され、肥厚している。粘土紐によって描かれている。

第IV層（第 5 層）：第 42 図～第 44 図

第 42 図 1～8：頸部が「く」字状にくびれる器形である。5、7 は胴部が膨んでいる。沈線文、粘土紐貼付文が山形状、弧状に配されている。

第 42 図 9～10：頸部がつよく「く」字状にくびれる器形と思われる。細い粘土紐によって文様が施されている。

第 42 図 11～12：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。半截竹管による平行沈線文や彫去によって文様が施されている。

第 42 図 13：胴部破片である。地文として結束縄文、結節文が施されている。

第 42 図 14～15：口縁部が外傾している。沈線文によって文様が構成されている。

第 42 図 16：口縁部が外傾している。粘土紐貼付文が横位に付されている。

第 43 図 1：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部は若干内弯しながら外傾する器形である。胴下部は膨んでいる。文様は沈線文、彫去によって口縁部に構成され、頸部には 4 つの橋状把手が貼付されている。胴部地文は結束羽状縄文結節文である。

第 44 図 1：胴中位が膨み、口縁部の内弯する器形である。口縁に沿って押圧縄文が施されている。

第44図2〜4：胴部破片である。2、4は半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。

第44図5：頸部がつよくくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。胴下部は筒状をなし、胴上部が膨んでいる。文様は口縁部・胴上部に沈線文、彫去によって施されている。胴部地文は結束羽状縄文結節文である。

第IIIc層（第4層）：第45図

第45図1：浅鉢形土器と思われる。半截竹管による押引き文によって文様が施されている。

第45図2〜5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。口縁部に沈線文で文様が描かれている。

第45図6：口縁部が肥厚して外傾する器形である。地文は縄文である。

第45図7：胴部破片である。刺突文が施されている。

第45図8：口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。粘土紐によって文様が施されている。

第45図9：口縁部は外傾している。縄文結節文が施されている。

第45図10〜11、13：頸部がゆるやかな「く」字状を呈する器形と思われる。10は口縁部下端に連続して円形刺突文が施されている。11、13は隆線文によって文様が構成されている。

第45図12：胴部から口縁部にかけて外傾している。口縁部は複合口縁状を呈している。

第45図14：胴部破片である。縦位沈線文・波状沈線文が施されている。

第45図15：胴部破片である。縄文結節文が施されている。

第IIIc層上面（第4層上面）：第46図〜第47図

第46図1：底部から口縁部にかけてわずかに膨みながら直立する。口縁部上端には小突起が4か所に付され、口縁部胴部全面に縄文結節文が施文されている。

第47図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。口縁部・胴部は、隆線文、沈線文によって文様が構成されている。地文は撚り戻し縄文が施されている。

第47図2〜3：頸部がわずかにくびれ、口縁部は外傾する器形である。2は地文に縄文結節文が施されている。

第IIIa層（第3層）：第48図

第48図1：底部資料である。底部から胴部にかけて内傾している。

第48図2〜3：頸部が「く」字状を呈し、口縁部が外傾する器形と思われる。2は細い粘土

紐によって、3 は縦位貼付文によって文様が構成されている。

第 48 図 4：内傾する口縁部をもつ土器である。内傾部に竹串様施文具によって沈線文、交互刺突文が施されている。

第 48 図 5～6：胴部破片である。隆線文と沈線文によって文様が施されている。

第 48 図 7～11：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。文様意匠は施されていない。

第 48 図 12：口縁部が内傾する器形と思われる。頸部には円形竹管文が連続施文されている。

第 48 図 13：口縁部は内傾している。押圧縄文が施されている。

第 48 図 14：胴部破片である。沈線文が施されている。

第 48 図 15：無文の浅鉢形土器と思われる。

第 48 図 16：底部資料である。簾状圧痕が施されている。

第Ⅲ´c 層（第 2 層）：第 49 図～第 52 図 4

第 49 図 1～2：口縁部が肥厚して外傾している。口縁部に沈線文が施されている。

第 49 図 3：頸部が「く」字状に強くくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第 49 図 4～5：頸部が「く」字状に強くくびれ、口縁部は内弯しながら外傾している。4 は細い粘土紐貼付と沈線によって、5 は沈線によって文様が構成されている。

第 49 図 6～7：口縁部は外傾している。ともに口縁部上端が薄く尖る。7 の口縁部下端には刺突文が施されている。

第 49 図 8：胴部から口縁部にかけて外傾している。結束羽状縄文、結節文が施されている。

第 49 図 9～13、第 50 図 1～3：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。9 は地文のみが施されている。他は区画文様が構成されている。

第 50 図 4～5：胴部から口縁部にかけて外傾する器形である。4 は隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 50 図 6～9：胴部破片である。隆線文や沈線文が施されている。

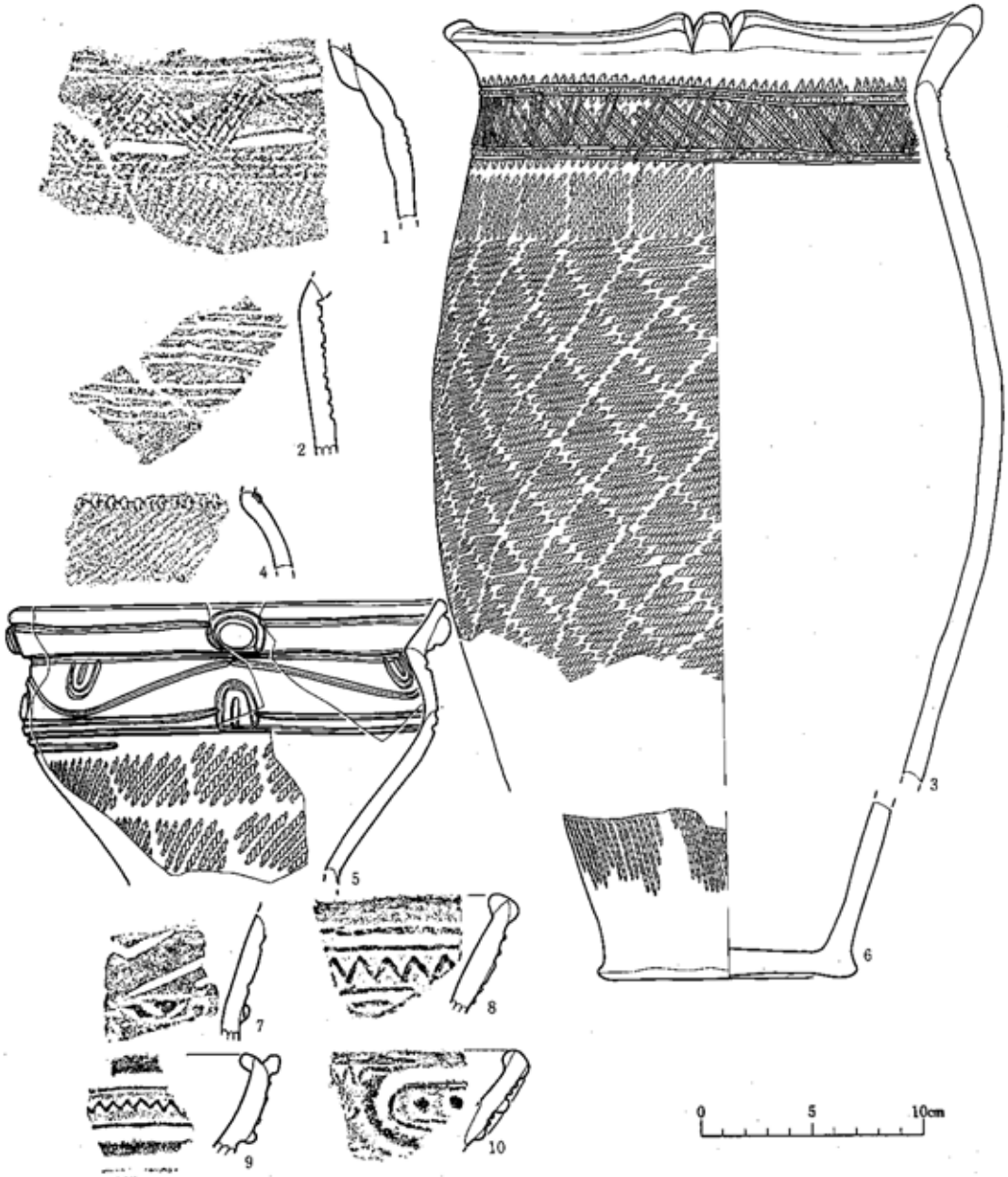
第 50 図 10～13、第 51 図 1～3：文様意匠が施されない深鉢形土器である。

第 52 図 1～4：浅鉢形土器である。

第Ⅲ´b 層（第 1 層）：第 52 図 5～14

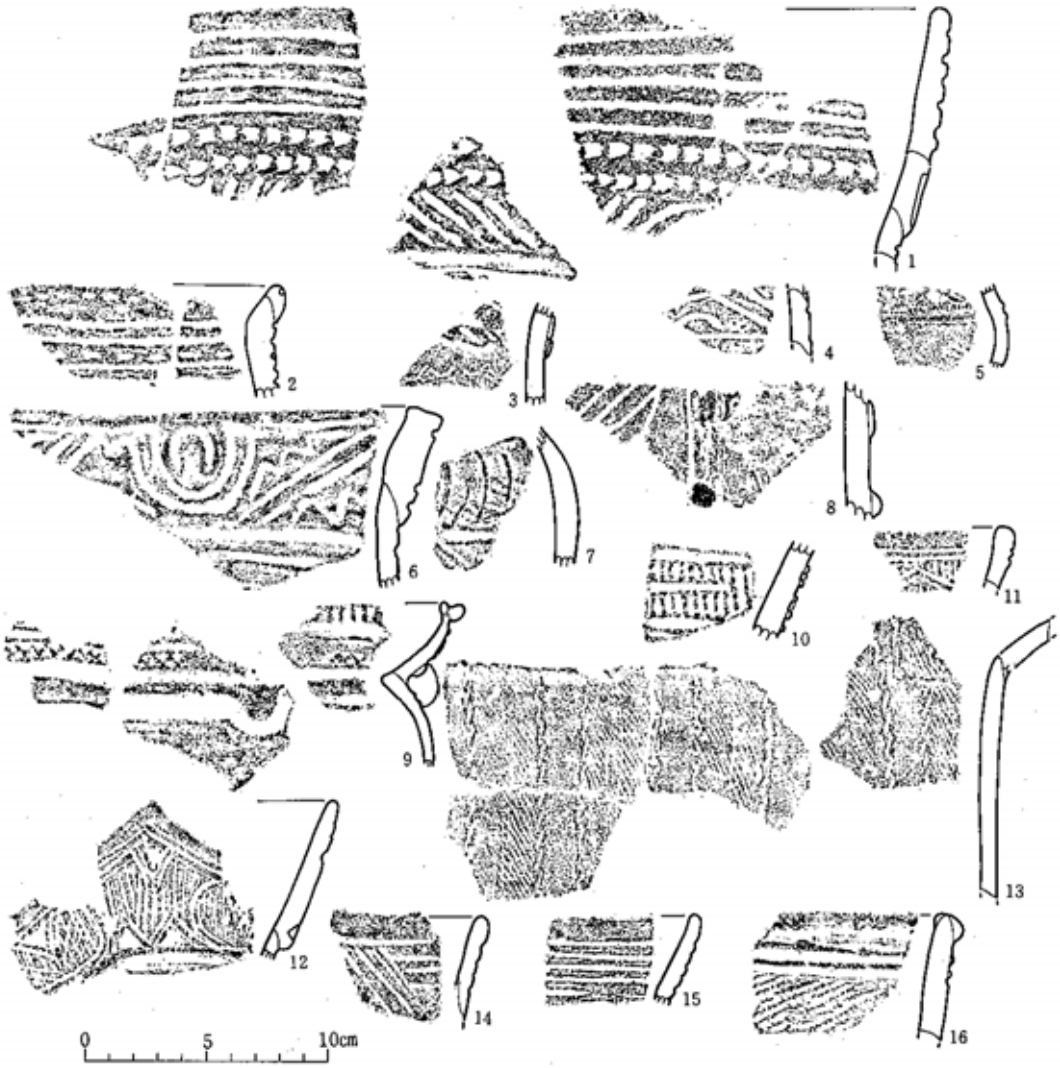
第 52 図 5：口縁部は内弯している。口縁上部に縦位短沈線文が連続して施されている。

第 52 図 5～10：胴部破片である。隆線文や沈線文によって文様が施されている。



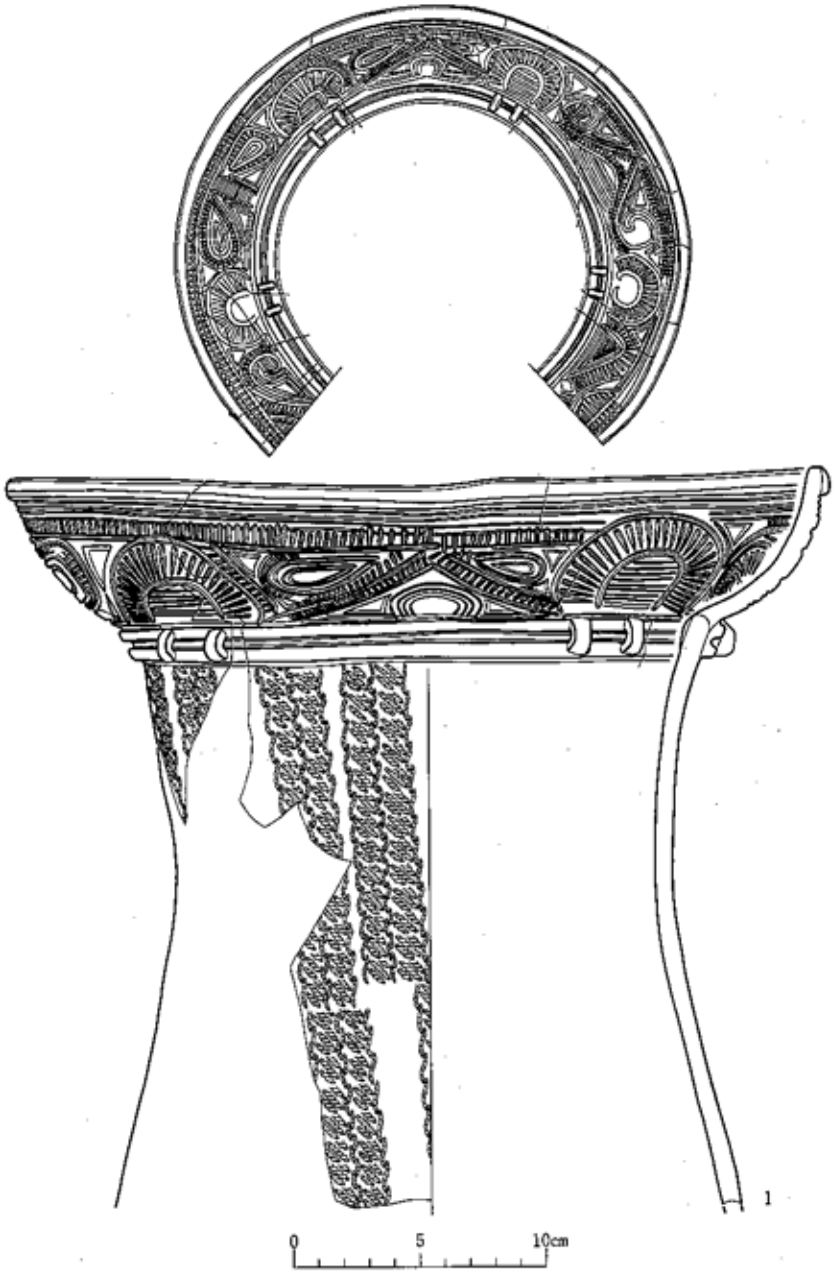
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・6層	深鉢・N3	頸部：半截竹管による横位押引き文，胴部：半截竹管による山形状押引き文，横位沈線文，縄文（LR）	130
2	CL73区・6層	深鉢・A—	頸部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	130
3	CL73区・6層	深鉢・A(II)5a	口縁部：波状縁，無文，頸部：半截竹管による平行沈線文（格子目状），胴部：縄文（LR）	10—6
4	CL73区・ベルト6層	深鉢・H5	頸部：半截竹管による連続刺突の施される隆帯，胴部：縄文（LR）	130
5	CL73区・6層，CL74区・4層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，円形貼付文（4単位），円形・横位沈線文，胴部：山形状区画沈線文，半円形文，縄文(LR)	10—3
6	CL73区・6層	深鉢・—	胴部：撚糸文（L），底部：網代痕→ナデ調整	
7	CL73区・ベルト6層	深鉢・D—	口縁部：山形状沈線文，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：縄文，粘土：金雲母を多く含む	130
8	CL73区・ベルト6層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，粘土紐貼付文（横位，鋸歯状）	130
9	CL73区・ベルト6層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，粘土紐貼付文（横位，鋸歯状）	130
10	CL73区・ベルト6層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，楕円形区画隆線文，円形貼付文，粘土紐貼付文	130

第41図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・6層）



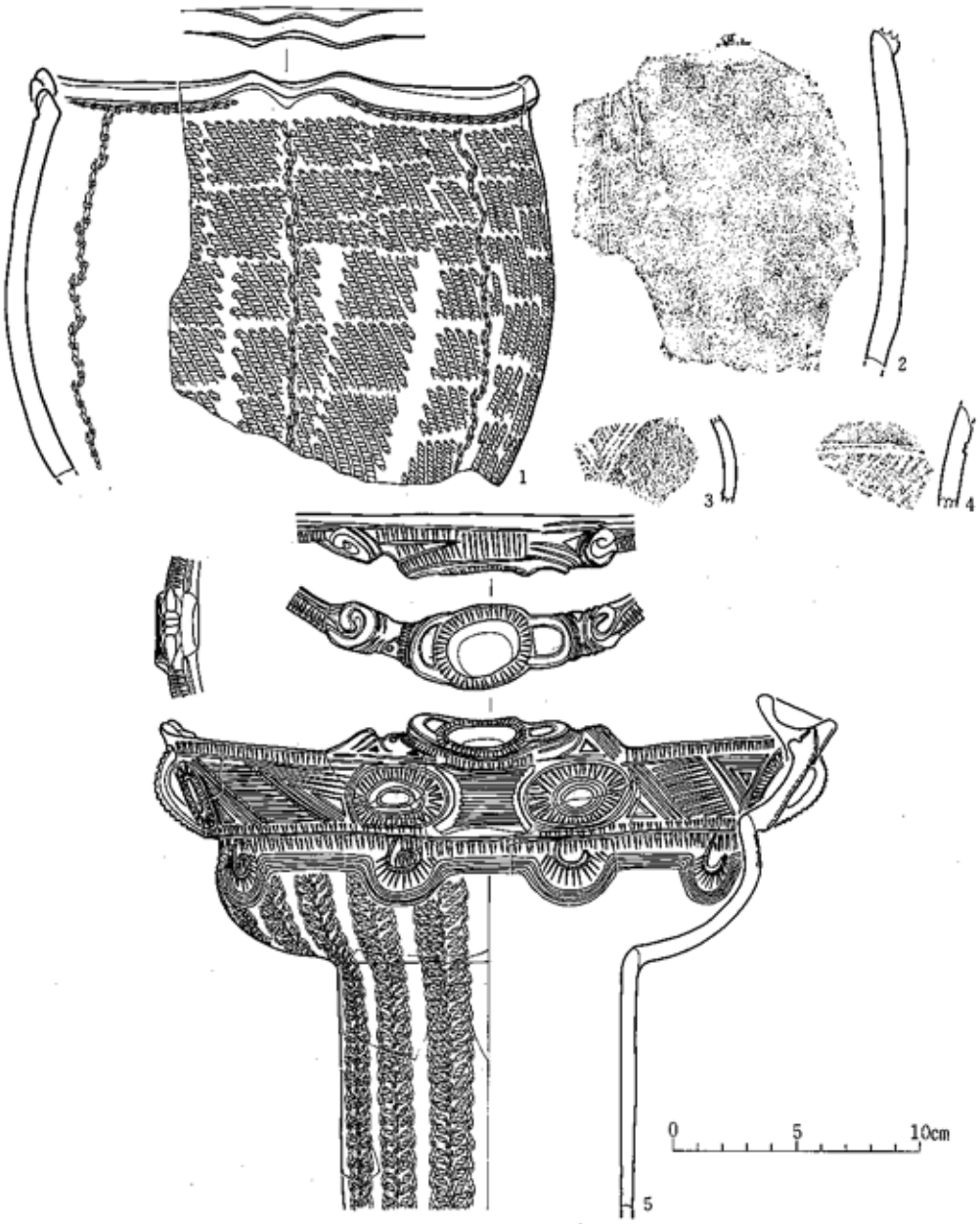
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・5層	深鉢・D(Ⅰ)2d	口縁部：平縁，横位平行沈線文，横位連続刺突文，山形・弧状沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文	130
2	CL73区・5層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，横位平行沈線文，横位連続刺突文	130
3	CL73区・5層	深鉢・D−	口縁部：貼付文，頸部：横位隆帯，斜位刻目文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	130
4	CL73区・5層	深鉢・H2a	胴部：山形状区画沈線文，弧状沈線文，縄文（Lr）	130
5	CL73区・5層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文，半截竹管による連続刺突文，縄文（RL）〔下半〕	130
6	CL73区・ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：波状縁，沈線文（斜位，弧状，錯綜状），頸部：横位平行沈線文	131
7	CL73区・ベルト5層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文，縄文（RL）	131
8	CL73区・ベルト5層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縦位楕円形貼付文，円形貼付文	131
9	CL73区・5層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，縦位粘土紐貼付文（上端），横位・錯綜状粘土紐貼付文，頸部：円形貼付文	131
10	CL73区・5層	深鉢・H2b	口縁部：粘土紐貼付文（梯子状）	131
11	CL73区・5層	深鉢・C1	口縁部：平縁，半截竹管による平行沈線文（横位，山形），縦位短沈線文	131
12	CL73区・5層	深鉢・D(Ⅱa)1	口縁部：波状縁，連続縦位沈線文，半截竹管による平行沈線文（逆弧状区画），三角形の彫去	131
13	CL73区・ベルト5層	深鉢・W3a	口縁部・胴部：結束（第1種）縄文（LR×LR）結節文（片結び一環）	131
14	CL73区・ベルト5層	深鉢・S−	口縁部：平縁，山形状沈線文，横位沈線文	131
15	CL73区・ベルト5層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文	131
16	CL73区・ベルト5層	深鉢・S3c	口縁部：平縁，粘土紐貼付文（横位），胴部：縄文（LR）	131

第42図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・5層(1)）



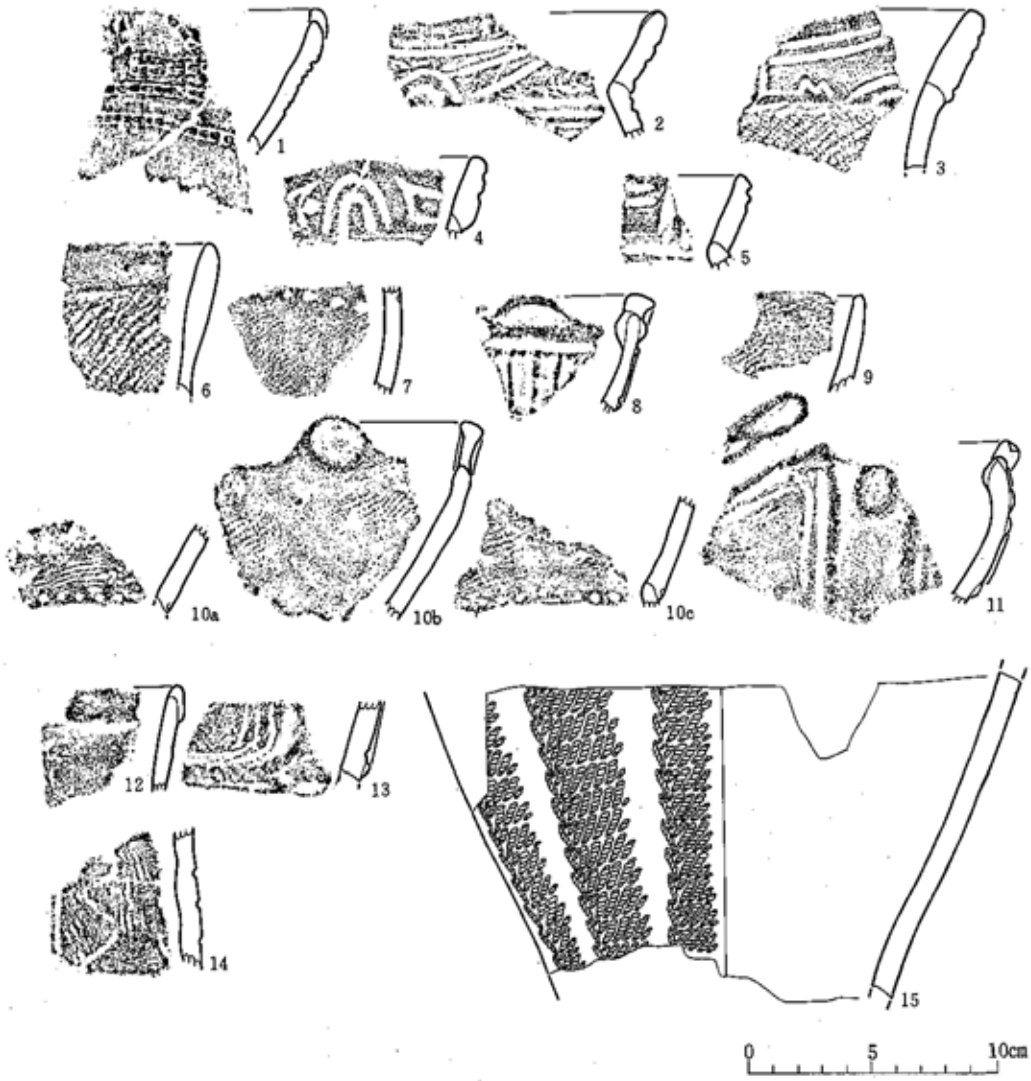
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CL73区・5層・4層、 CL73区・ベルト5層、 CL74区・4層	深鉢・C1	口縁部：平縁。円形及び山形状の組み合わせ状沈線文、斜沈線文（～角棒状施文具及び平頭竹管施文具併用） 頸部：隆帯、横状把手、胴部：結束（第2種）縄文（LR×LR）結節文（片結び一種）	11－2

第43図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・5層(2)）



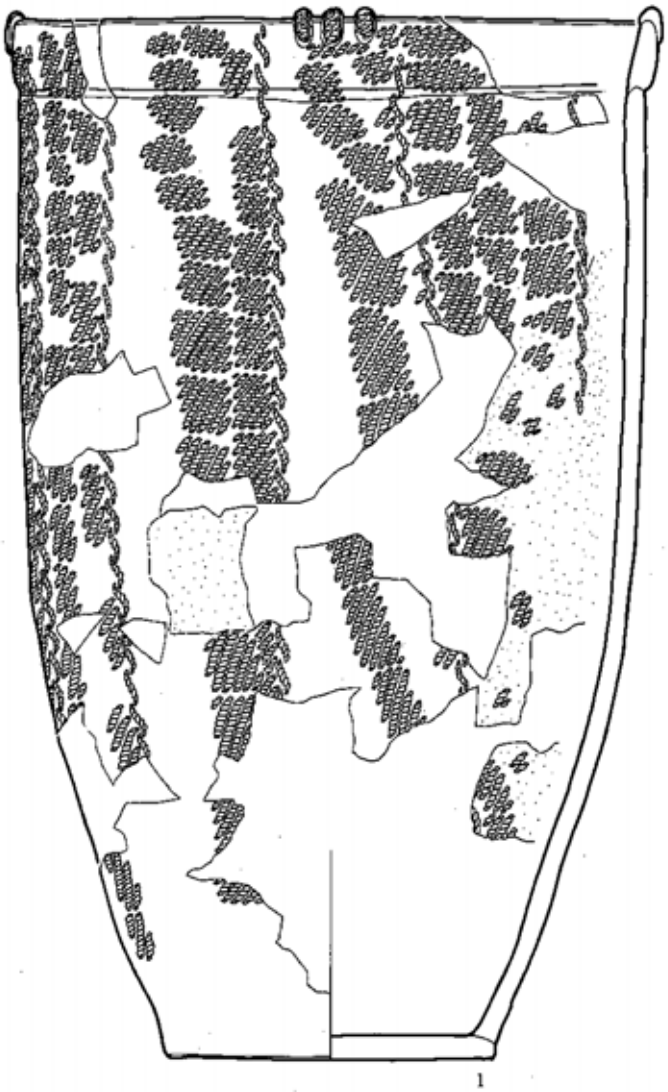
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・ベルト5層	深鉢・U1	口縁部：波状縁，横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（同結び一類）	
2	CL73区・ベルト5層	深鉢・U−	胴部：半截竹管による横位平行沈線文	132
3	CL73区・ベルト5層	深鉢・H2b	胴部：頸部から垂下する「Y」字状沈線文，短沈線文（棒状），結束（第2種）羽状縄文（LR×RL）結節文（片結び一類）	132
4	CL73区・ベルト5層	深鉢・S−	胴部：半截竹管による平行沈線文（巻子II状），縄文（RL）	132
5	CL73区・5層，CL75区・ベルト5層，CL74区・4層・5層	深鉢・H2b	口縁部：突起のつく平縁，中央のくぼむ突起，横位把手（4単位），渦巻状及び山形状の組みあわせ状沈線文，短沈線文，頸部：横位平行沈線文，縦位短沈線文，胴部：渦巻文，縦位短沈線文（上部），結束（第2種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一類 / 片結び二類）	10−1

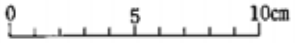
第44図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・5層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・4層 CL74区・2層	深鉢・A−	口縁部；波状線，手軟竹管による押引き文	132
2	CL73区・ベルト4層	深鉢・A(II)2	口縁部；波状線，山形状沈線文，弧状沈線文，円形竹管文（下端），頸部；横位平行沈線文	132
3	CL73区・ベルト4層	深鉢・A(II)3	口縁部；波状線，口縁に沿う平行沈線文，弧状沈線文，胴部；縄文（LR），胎土；金雲母を多く含む	132
4	CL73区・ベルト4層	深鉢・A(II)3	口縁部；波状線，弧状沈線文	132
5	CL73区・ベルト4層	深鉢・A−	口縁部；平縁，横位及び縦位沈線文	132
6	CL73区・ベルト4層	深鉢・S9b(?)	口縁部；平縁，無文，胴部；縄文（LR）	132
7	CL73区・ベルト4層	深鉢・−	胴部；横位連続刺突文，縄文（Lr）	132
8	CL73区・4層	深鉢・H2b	口縁部；小突起のつく平縁，粘土紐貼付文，横位沈線文	132
9	CL73区・ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部；平縁，縄文（LR）結節文（片結び一原）	132
10a,b,c	CL73区・4層・4層上部・5層	深鉢・E(I)11	口縁部；小突起のつく平縁，縄文（LR），円形刺突文（下端），砂土；金雲母を多く含む	132
11	CL73区・ベルト4層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部；波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縦位楕円形貼付文	132
12	CL73区・ベルト4層	深鉢・S10b	口縁部；平縁，無文，胴部；結節文	132
13	CL73区・ベルト4層	深鉢・D(IIc2)1a(?)	口縁部；区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	132
14	CL73区・ベルト4層	深鉢・−	胴部；沈線文（縦位，波状），縄文（Lr）	132
15	CL73区・4層・2層，CL73区・ベルト4層	深鉢・−	胴部；縄文（RL）結節文（片結び一原）	

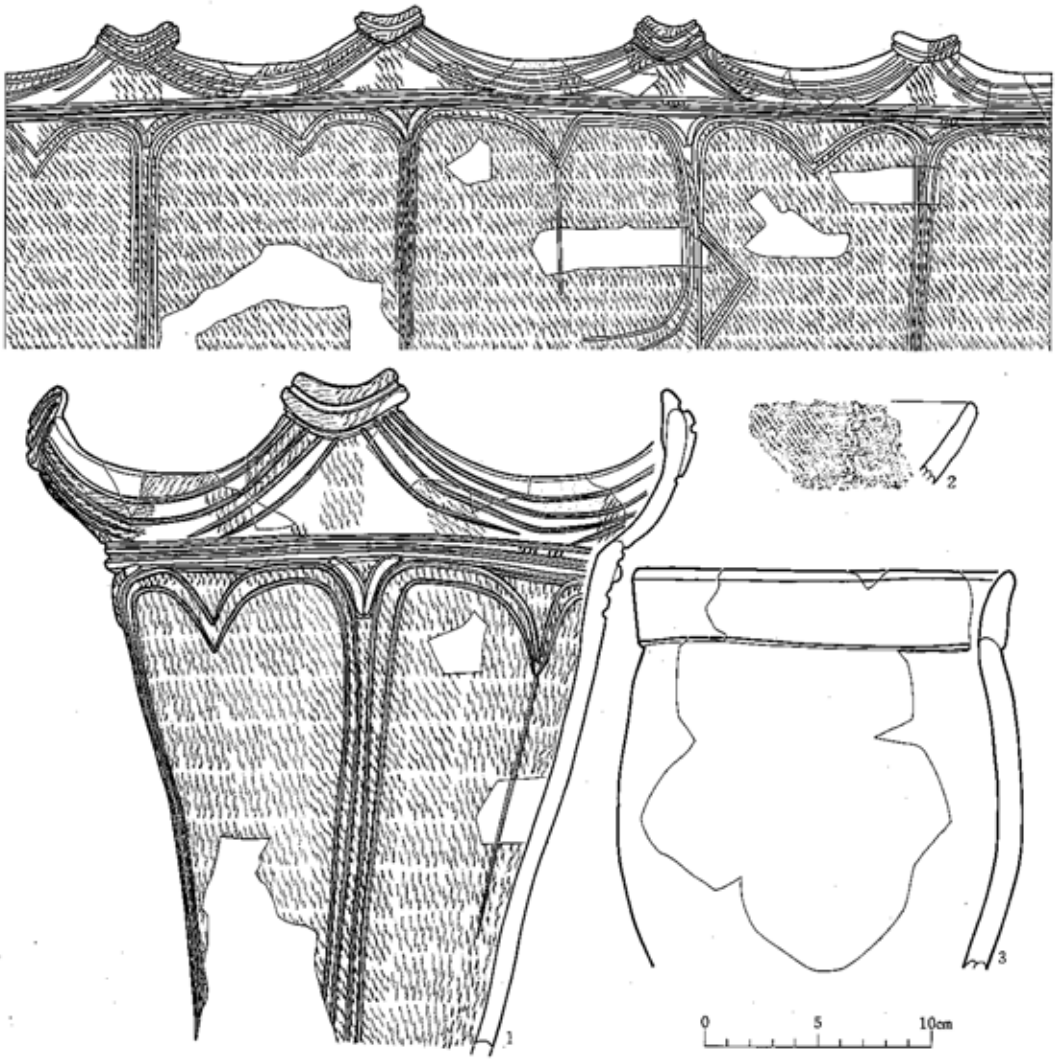
第45図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ73区・４層）





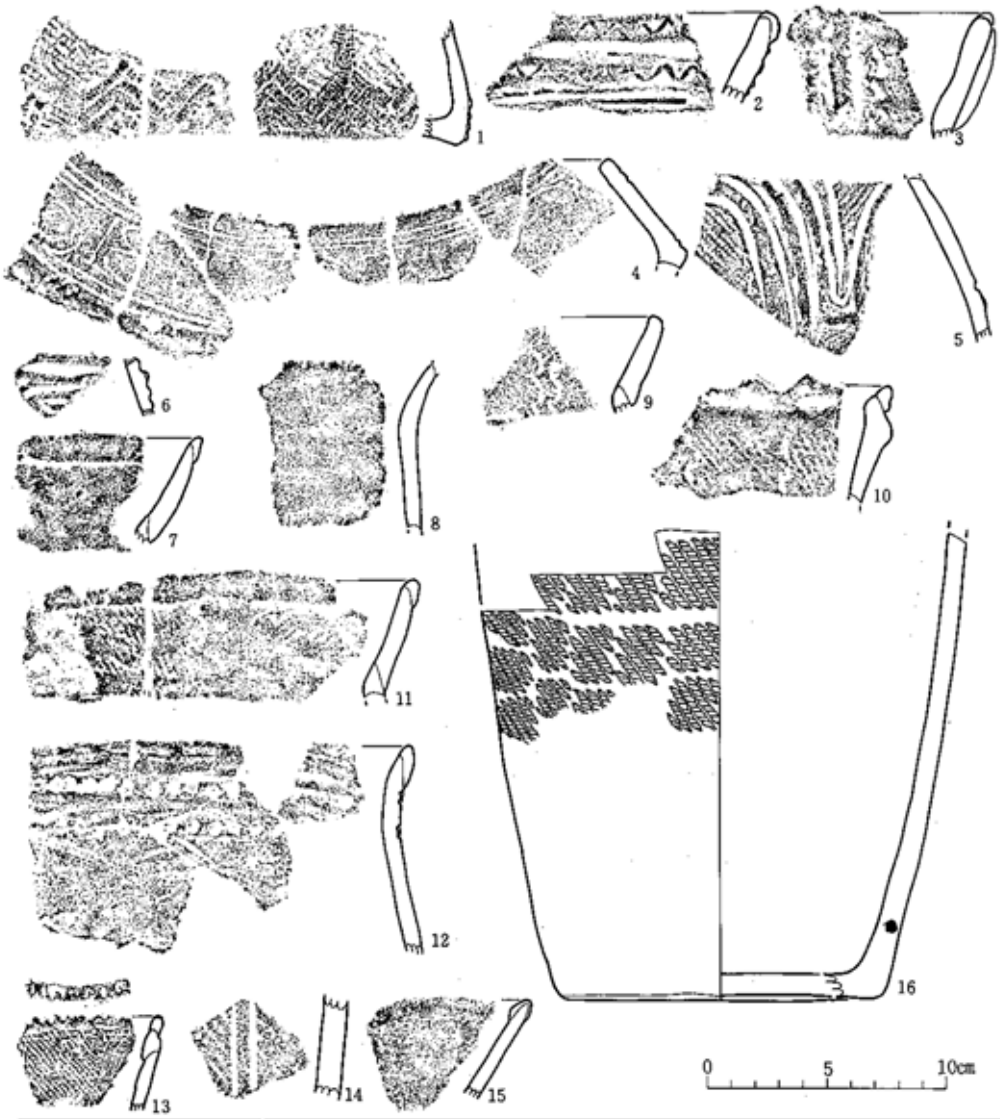
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	ＣＬ73区・４層・４層上面・３層・２層・１層	深鉢・Ｗ3b	口縁部：小突起のつく平縁。縄文（RL）結節文（片結び一単）。胴部：縄文（RL）結節文（片結び一単）。底部：網代底	12－3

第46図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ73区・４層上面(1)）



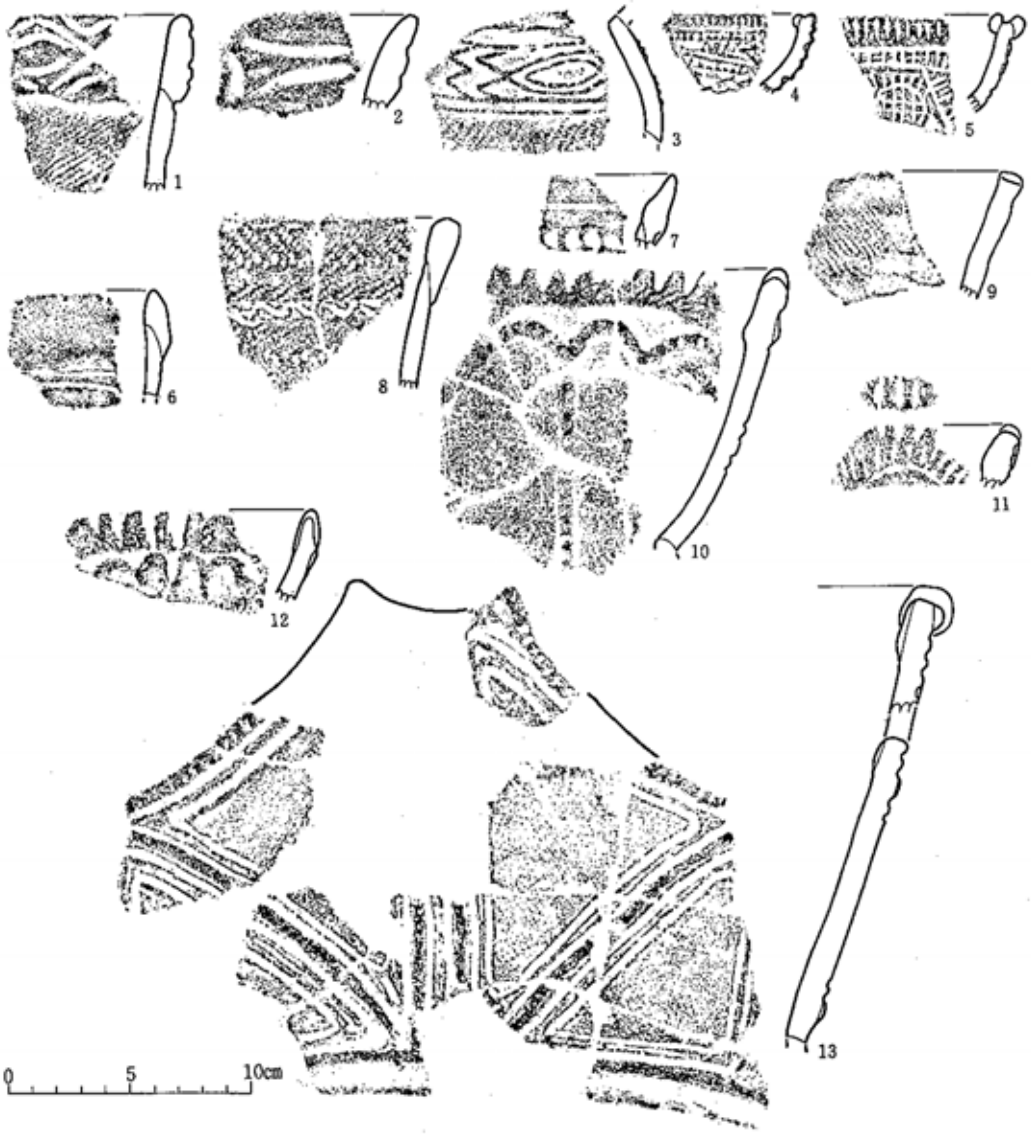
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・4層上面、CL73区・ベルト3層・B層	深鉢・D(IId)1	口縁部：波状線、「U」字状刻み文（波頂部）、口縁に沿う平行沈線文、縄文（LL）、頸部：縦帯、横位平行沈線文、胴部：「Y」字状懸垂沈線文、区画沈線文、「Y」字状沈線文、縄文（LL）	11－1
2	CL73区・4層上面	深鉢・V3	口縁部：平線、縄文（LR）結節文（両結び一組）	132
3	CL73区・4層上面	深鉢・W5	口縁部：平線、無文、胴部：無文	133

第47図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・4層上面(2)）



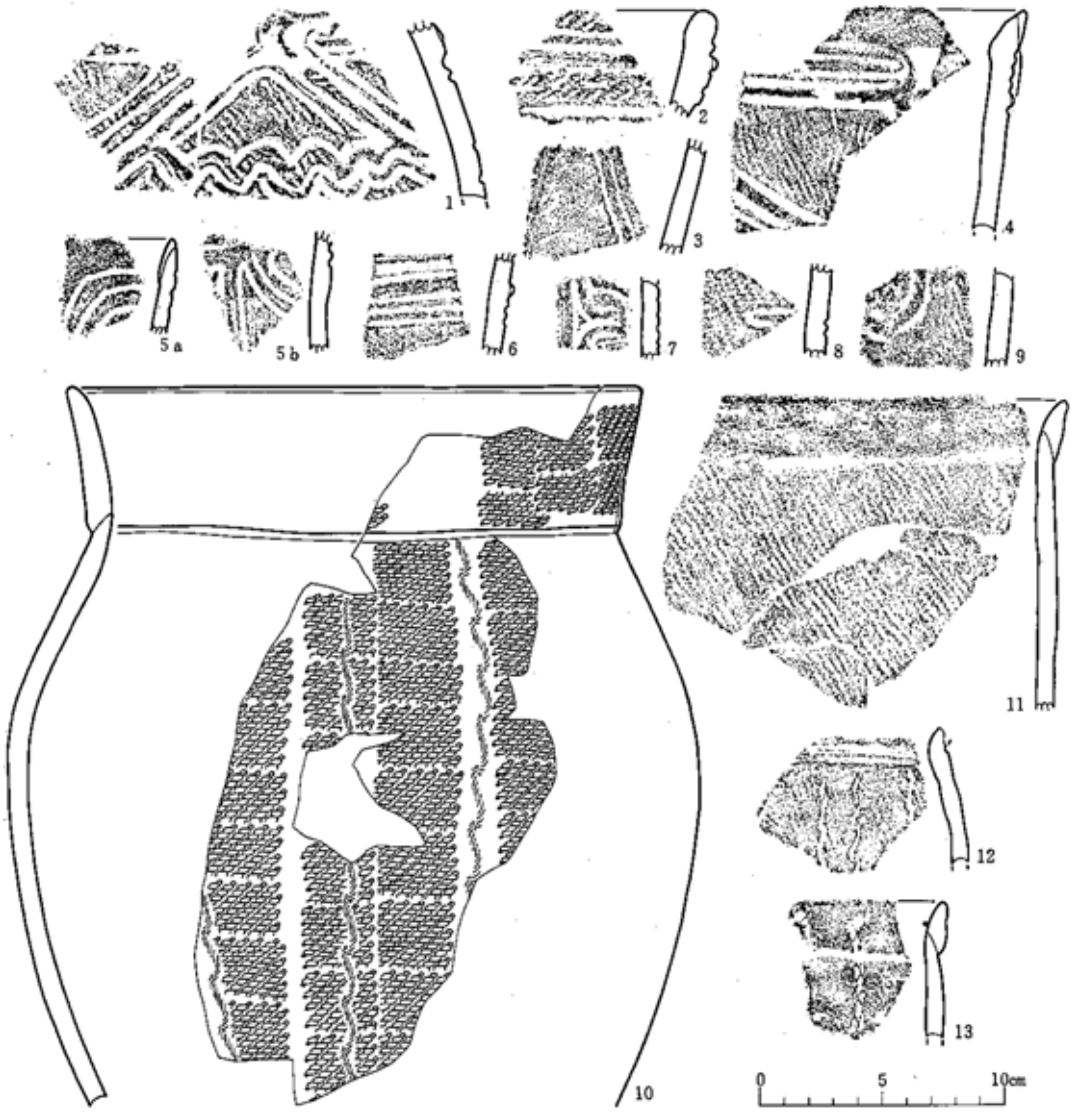
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・3層・2層	深鉢・H4	胴部：縄文（RL），粘土紐貼付文（縦位，山形状），半截竹管による押引き文，底部：ミガキ調整	133
2	CL73区・3層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，粘土紐貼付文（横位，鍵曲状）	133
3	CL73区・3層	深鉢・E(I)4b	口縁部：波状縁，縦位押圧縄文（波頂部），縦位貼付文，結節文	133
4	CL73区・3層，CL72区・ベルトB層	深鉢・K2	口縁部：平縁，横位平行沈線文，区画沈線文，連弧状文，円形竹管による交互刺突文	133
5	CL73区・3層	深鉢・N7a	胴部：区画隆線文（馬蹄形状），隆線に沿う沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	133
6	CL73区・3層	深鉢・N－	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	133
7	CL73区・3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	133
8	CL73区・3層	深鉢・W5	胴部：無文	133
9	CL73区・3層	深鉢・W3b	口縁部：縄文（LR）結節文（両結び一類）	133
10	CL73区・3層	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：縄文（LRr）結節文（片結び一迷）	133
11	CL73区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縦位の押圧縄文（LR）〔上部〕，縄文（LR）	133
12	CL73区・ベルト3層，CM71区・4層	深鉢・U2	口縁部：平縁，無文，胴部：円形竹管による連続刺突文	133
13	CL73区・ベルト3層	深鉢・W－	口縁部：平縁，縦位の押圧縄文（Lr）〔上端〕，横位押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	133
14	CL73区・ベルト3層	深鉢・N－	胴部：縦位平行沈線文，縄文（LR）	133
15	CL73区・ベルト3層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	133
16	CL73区・ベルト3層	深鉢・－	胴部：縄文（LR），底部：裏状圧痕	

第48図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・3層）



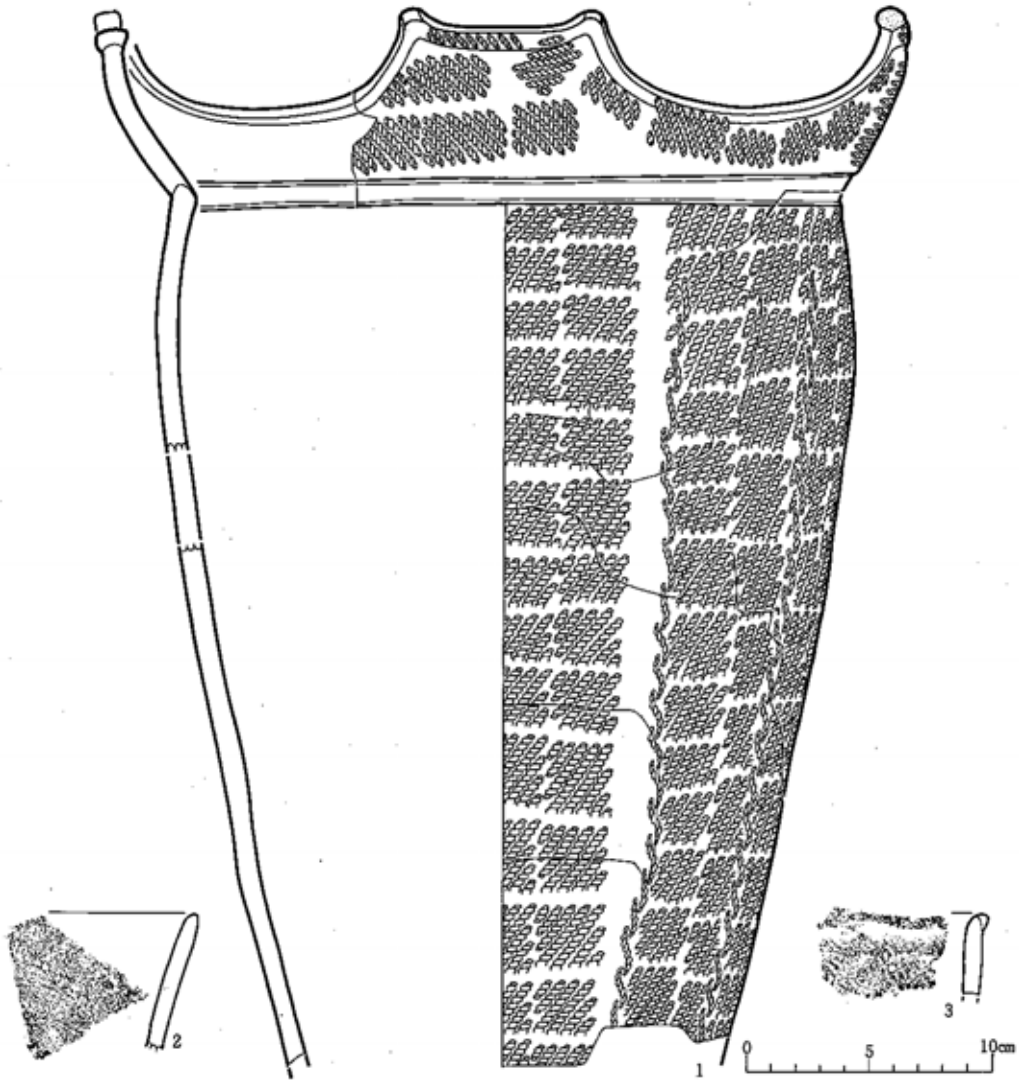
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・2層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平縁，格子目状区画沈線文，弧状沈線文，胴部：縄文（Lr）	134
2	CL73区・2層	深鉢・A(Ⅱ)3	口縁部：波状縁，渦巻状沈線文，弧状沈線文	134
3	CL73区・2層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文（上部），縄文（LR）（下部）	134
4	CL73区・2層	深鉢・C1	口縁部：波状縁，縦位短沈線文（上端），粘土紐貼付文，円形竹管文，三角形の彫去	134
5	CL73区・2層	深鉢・C1	口縁部：平縁，縦位短沈線文（上端），円形及び山形状の組みあわせ状沈線文	134
6	CL73区・2層	深鉢・S4a(?)	口縁部：平縁，無文，胴部：横位平行沈線文	134
7	CL73区・2層	深鉢・S4a(?)	口縁部：平縁，連続刺突文（下端）	134
8	CL73区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，胴部：結束(第1種）羽状縄文(RL×LR）結節文(片結び一環)，胎土：金雲母を多く含む	134
9	CL73区・2層・1層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縦位刺目文（上端），縄文（Lr）結節文（両結び一環）	134
10	CL73区・2層	深鉢・D(ⅡC2)1a	口縁部：波状縁，縦位刺目文（上端），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	134
11	CL73区・2層	深鉢・D(ⅡC2)−	口縁部：波状縁，縦位刺目文（上端），縦位短沈線文，口縁に沿う沈線文	134
12	CL73区・2層	深鉢・D(ⅡC2)1a	口縁部：波状縁，縦位刺目文（上端），縦位の押圧縄文（LRR），連弧状貼付文	134
13	CL73区・ベルト2層・1層	深鉢・D(Ⅱd)2	口縁部：波状縁，縦位の押圧縄文（LR）（上端），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	134

第49図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・ベルト2層	探鉢・F(II(?))1	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，波状文，交互刺突文，縄文（LR）	135
2	CL73区・ベルト2層	探鉢・D(I)1d	口縁部：波状線，横位隆線文，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	135
3	CL73区・ベルト2層	探鉢・A－(?)	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位，斜位）	135
4	CL73区・ベルト2層	探鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，頸部：「ｘ」字状区画隆線文，横位平行沈線文，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	135
5a,b	CL73区・2層	探鉢・S6a	口縁部：平縁，胴部：懸垂文，弧状文	135
6	CL73区・2層	探鉢・N－	胴部：横位隆線文，横位平行沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	135
7	CL73区・2層	探鉢・S－	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位，弧状）	135
8	CL73区・2層	探鉢・N9a	胴部：弧状沈線文，縄文（LR）	135
9	CL73区・ベルト2層	探鉢・N9a	胴部：楕円形状沈線文，縄文（Lr）	135
10	CL73区・ベルト2層，CL73区・ベルト8層	探鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一連）(R ℓ)	
11	CL73区・2層	探鉢・W2b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）結節文（両結び一環）	135
12	CL73区・2層	探鉢・W3b	頸部：横位沈線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環），胎土：金雲母を多く含む	135
13	CL73区・2層	探鉢・W3b	口縁部：平縁，胴部：縄文（Lr）結節文（両結び一環）	135

第50図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・2層(2)）



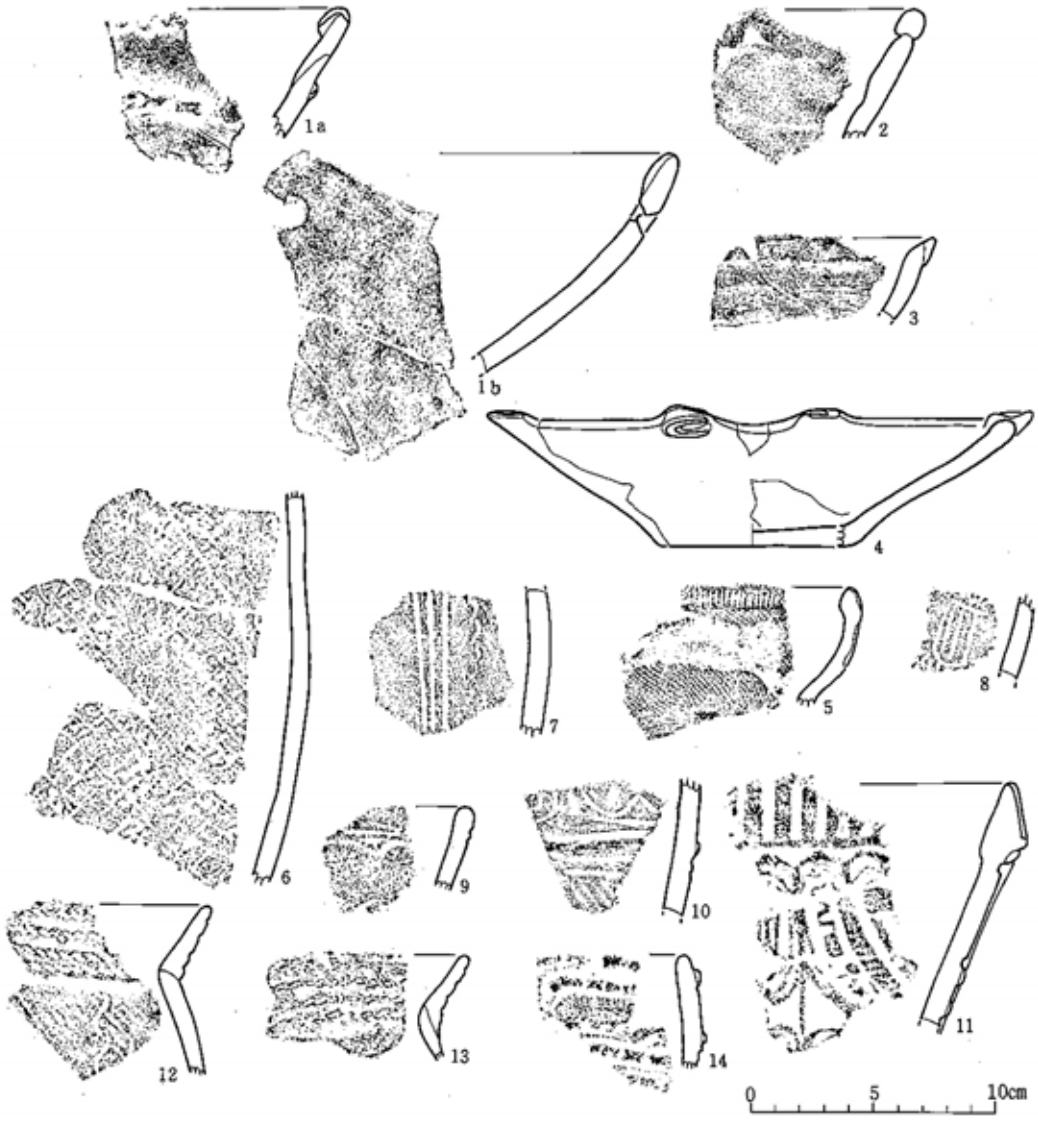
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL73区・2層、CL73区・ベルト2層、CL74区・2層	深鉢・D(IIC2)5	口縁部：波状線、刻位押圧縄文（波頂部）、口縁に沿う隆線文、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一段）	13－1
2	CL73区・ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：波状線、無文	
3	CL73区・ベルト2層	深鉢・S10b	口縁部：波状線、無文、胴部：縄文（LR）	

第51図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・2層(3)）

第52図11：口縁部破片である。隆線文･沈線文･交互刺突文によって文様が構成されている。

第52図12～13：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口縁部は押圧縄文が施されている。

第52図14：口縁部は若干内弯するものと思われる。刻目の施される隆線文と沈線文によって文様が構成されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CL73区・2層	浅鉢・B3	口縁部：波状縁，縦位刺目文（波頂部），横位貼付文，指頭状圧痕	136
2	CL73区・2層	浅鉢・A8b	口縁部：小突起のつく平縁，無文	136
3	CL73区・2層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	136
4	CL73区・2層，CL73区・ベルト2層	浅鉢・A8e	口縁部：小突起のつく平縁，「C」字状貼付文	14－4
5	CL73区・ベルト1層	深鉢・D－	口縁部：平縁，縦位隆沈線文（上部），縄文（RL）	136
6	CL73区・ベルト1層	深鉢・－	胴部：縄文（RL＋r(S巻)＋r(Z巻)）結節文（片結び一順）	136
7	CL73区・ベルト1層	深鉢・J1a	胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一順），懸垂沈線文	136
8	CL73区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)8b	胴部：弧状文，縄文（LR）	136
9	CL73区・1層	深鉢・N5a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，弧状文，縄文（LR）	136
10	CL73区・ベルト1層	深鉢・D(ⅡC2)1a	胴部：横位隆線，隆線に沿う沈線文，弧状文，縄文（LR）	136
11	CL73区・ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：波状縁，縦位沈線文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	136
12	CL73区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一順）	136
13	CL73区・ベルト1層	深鉢・V－(？)	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（RL）	136
14	CL73区・1層	深鉢・－	口縁部：平縁，刺目のつく隆線文（長楕円形状），隆線に沿う沈線文	135

第52図　東側遺物包含層出土土器（CL73区・2層(4)・1層）

ＣＭ73 区

第Ⅴ層（第５層）：第 53 図 1～4

第 53 図 1～2：胴部から口縁部にかけてほぼ直立して立ちあがる器形である。口縁部は肥厚している。

第 53 図 3～4：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第Ⅴ´層（第４層）：第 53 図 5～6

第 53 図 5～6：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。沈線文によって文様が構成されている。

第Ⅳ層（第３層）：第 53 図 7～12

第 53 図 7：若干内傾気味に立ち上がる器形である。沈線文と彫去によって文様が構成されている。

第 53 図 8～9：頸部が「く」字状にくびれる器形である。8 は沈線文によって、9 は隆線文・沈線文・刺突文によって文様が構成されている。

第 53 図 10：胴部破片である。沈線文・彫去によって文様が構成されている。

第 53 図 11～12：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。貼付文が施されている。

第Ⅲｃ層（第２層）：第 53 図 13～18、第 54 図

第 53 図 13～14：胴部から口縁部にかけてほぼ直立する器形である。口縁部は肥厚し、13 は縦位貼付文が付され、14 は連続刺突文が施されている。

第 53 図 15：胴部破片である。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第 53 図 16～17：口縁部が外傾する器形である。口縁上部は複合口縁状に肥厚している。16 は縦位沈線文、円形貼付文によって、17 は沈線文と刺突文によって文様が構成されている。

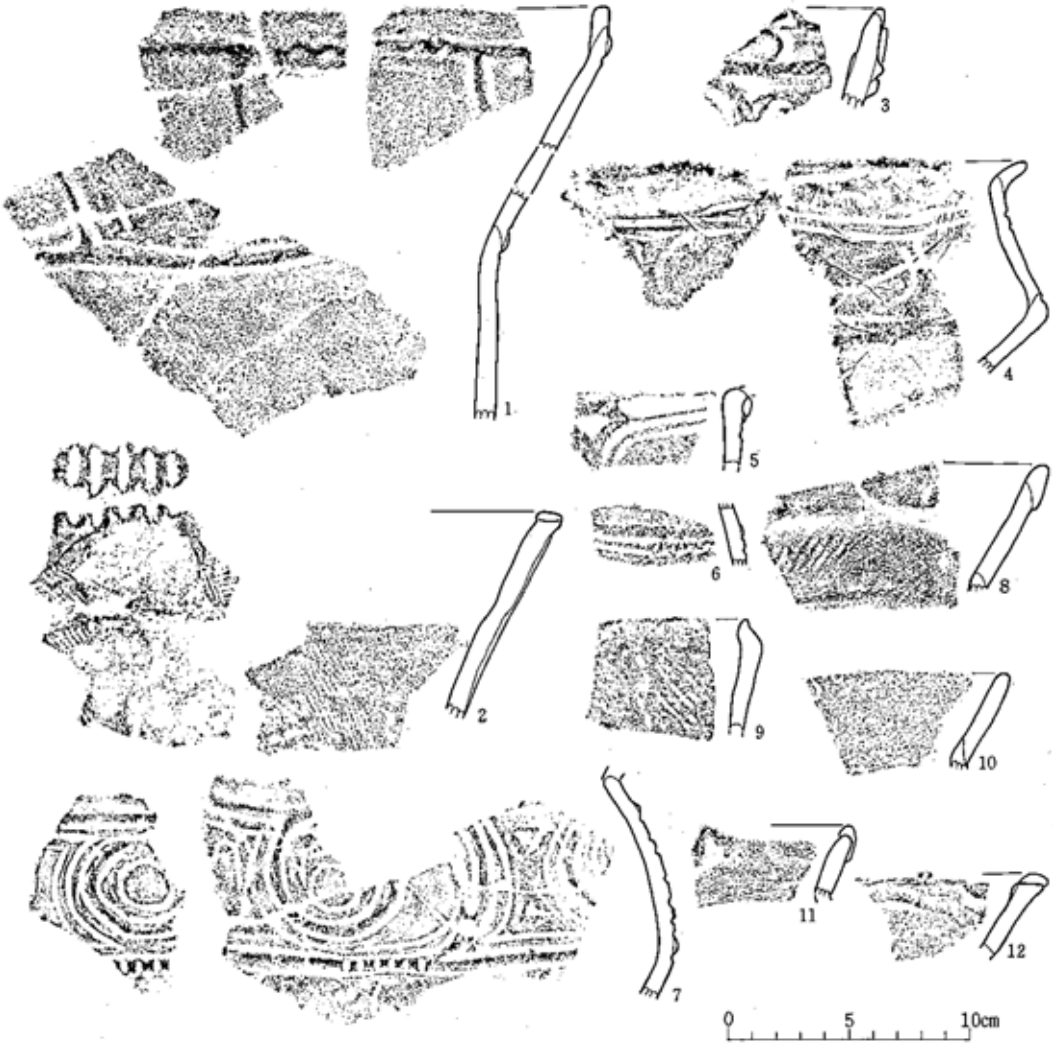
第 53 図 18：頸胴部破片である。楕円形貼付文、沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第 54 図 1～3：頸部はゆるい「く」字状を呈し、口縁部が外傾する器形である。1、3 は隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 54 図 4：内傾部に弧状沈線文が描かれている。口縁上部はつよく外傾している。

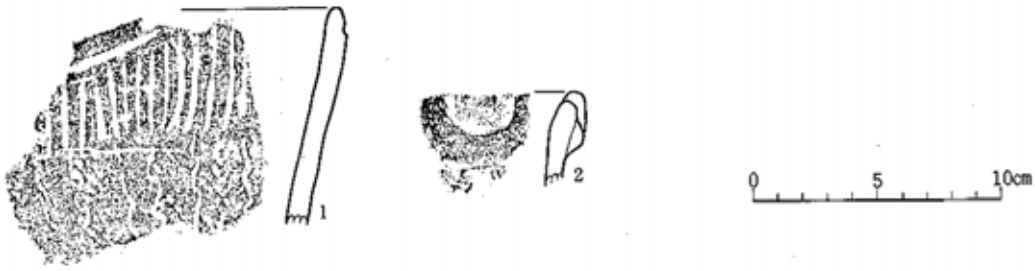
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM73区・5層	深鉢・S9b	口縁部：平縁，縦位貼付文，縦位沈線文，胴部：縄文（LR）	136
2	CM73区・5層・4層	深鉢・S9b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	136
3	CM73区・5層	深鉢・A−	胴部：平行沈線文（縦位，斜位）	136
4	CM73区・5層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位，斜位），縄文（LR）	136
5	CM73区・4層	深鉢・A−	頸部：半截竹管による横位平行沈線文，縦位楕円形貼付文，縦位沈線文，縄文（LR）	137
6	CM73区・4層	深鉢・A−	口縁部：波状線，円形沈線文，半截竹管による平行沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	137
7	CM73区・3層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縦位短沈線文，三角形状沈線文，三角形の彫去	137
8	CM73区・3層	深鉢・W−	口縁部：波状線，口縁に沿う沈線文，縦位短沈線文〔上部〕，斜位沈線文，胴部：縄文（RL）	137
9	CM73区・ベルト3層	深鉢・D−	口縁部：沈線文，押引き文，円形刺突文，頸部：縦位楕状刺，交互刺突文，胴部：懸垂隆線文，区画沈線文，胎土：金雲母を多く含む	137
10	CM73区・3層	深鉢・H2b	胴部：同心円状沈線文，三角形状沈線文，短沈線文，三角形の彫去	137
11	CM73区・ベルト3層	深鉢・W2b	口縁部：突起（円環状）のつく平縁，頸部：隆帯，胴部：縄文（RL）結節文	137
12	CM73区・ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：平縁，指頭状圧痕の施される縦位隆線文，胴部：無文	137
13	CM73区・2層	深鉢・A(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，縦位貼付文，頸部：横位沈線文，胴部：縄文（Lr）	137
14	CM73区・2層	深鉢・A−	口縁部：弧状沈線文，連続刺突文	137
15	CM73区・2層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文（横位，弧状），縄文（LR）	137
16	CM73区・ベルト2層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，縦位短沈線文帯，胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一種），円形貼付文	137
17	CM73区・2層	深鉢・S4a	口縁部：平縁，円形竹管による交互刺突帯，横位沈線文，円形竹管による連続刺突文	137
18	CM73区・2層	深鉢・D−	頸部：横位楕円形貼付文，横位平行沈線文，交互刺突文，懸垂沈線文	137

第53図　東側遺物包含層出土土器（CM73区・5・4・3・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の外観	図版
1	CM73区・2層，CJ75区・1層	深鉢・D(Ⅰ)4a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，胴部：縄文(L)結節文(片結び一順)～＝CJ75区・1層接合	138
2	CM73区・2層	深鉢・D(ⅡC2)5	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），縄文（Lr）結節文（両結び一逆）	138
3	CM73区・2層	深鉢・D(ⅡC2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	138
4	CM73区・CL74区・CL75区・2層	深鉢・K3a	口縁部：平縁，無文（上部），横位平行沈線文，弧状沈線文	138
5	CM73区・2層	深鉢・N9a	頸部：横位円形貼付文，胴部：「Y」字状貼付文，隆線に沿う沈線文	138
6	CM73区・2層	深鉢・N4a	胴部：横位隆線，横位平行沈線文，円形竹管による交互刺突文	138
7	CM73区・CL74区・2層	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文（小判形），同心円状沈線文，三角形の彫糸，縄文（LR）結節文（片結び一順）	138
8	CM73区・ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，無文（上部），縄文（LR）（下部）	138
9	CM73区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LRr）結節文（両結び一順）	138
10	CM73区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（両結び一順）	138
11	CM73区・2層	深鉢・N－	口縁部：小突起のつく平縁，無文	138
12	CM73区・2層	浅鉢・A4a	口縁部：小波状縁，無文	138

第54図　東側遺物包含層出土土器（CM73区・2層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN73区・2層	深鉢・S3a	口縁部：口縁に沿う沈線、縦位沈線文。胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一順、逆）	139
2	CN73区・2層	深鉢・A－（？）	口縁部：「U」字状貼付文、押圧縄文（Rℓ）	139

第55図　東側遺物包含層出土土器（CN73区・2層）

第54図5：頸胴部破片である。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第54図6～7：胴部破片である。胴上部に隆線文と沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第54図9～11：文様意匠が施されない土器である。8、10～11は頸部がゆるい「く」字状にくびれるものと思われる。

第54図12：無文の浅鉢形土器である。

CN73区

第III層（第2層）：第55図

第55図1：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾している。口縁部は沈線文によって文様が施されている。

第55図2：口縁部破片である。押圧縄文の加えられている「U」字状貼付文が付されている。

（3）86 列（ＣＬ86 区・ＣＭ86 区・ＣＮ86 区・ＣＯ86 区・ＣＰ86 区・ＣＱ86 区）

ＣＬ86 区

第Ⅰｄ層（第４層）：第 56 図

第 56 図 1：口縁部破片と思われる。半截竹管による横位平行沈線文と三角形の彫去が施されている。

第 56 図 2：口縁部破片である。横位平行沈線文が施されている。

第 56 図 3～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形である。4 はキャリパー状を呈するものと思われる。相対する弧状文が口縁部に構成されるものと思われる。

第 56 図 6：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。口縁部には「𝑥」字状の橋状把手が設けられている。

第 56 図 7：複合口縁状を呈する器形である。口縁部は無文である。

第 56 図 8～11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。文様構成は明らかではない。8～10 は縦位の押圧縄文が連続して刻目状に施されている。11 は隆線上に半截竹管による刻目文が施されている。

第 56 図 12：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口縁部には相対する弧状文が隆線文・沈線文によって構成されている。口縁上部には連弧状貼付文が配されている。

第 56 図 13～16：胴部破片である。13～14 は方形状の区画と渦巻様の弧状文が沈線文によって描かれている。15 は半截竹管による縦位区画の中に相対する弧状文が配されている。

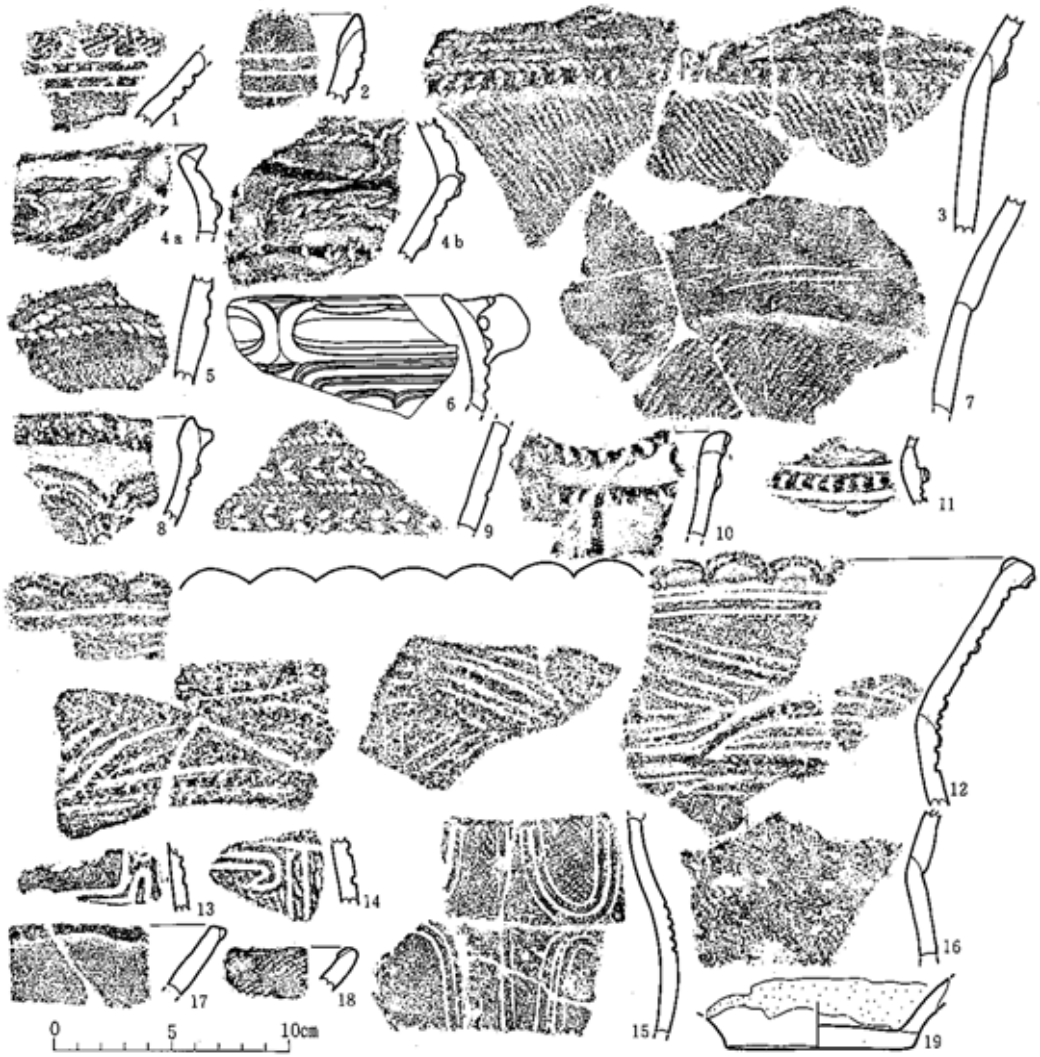
第 56 図 17～19：浅鉢形土器である。

第Ⅰｃ層（第３層）：第 57 図 1～8

第 57 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁上部で内弯する器形である。口縁部には方形状の区画隆線文と渦巻状沈線文が施され、胴部には「Y」字状懸垂文が隆線文によって構成されている。

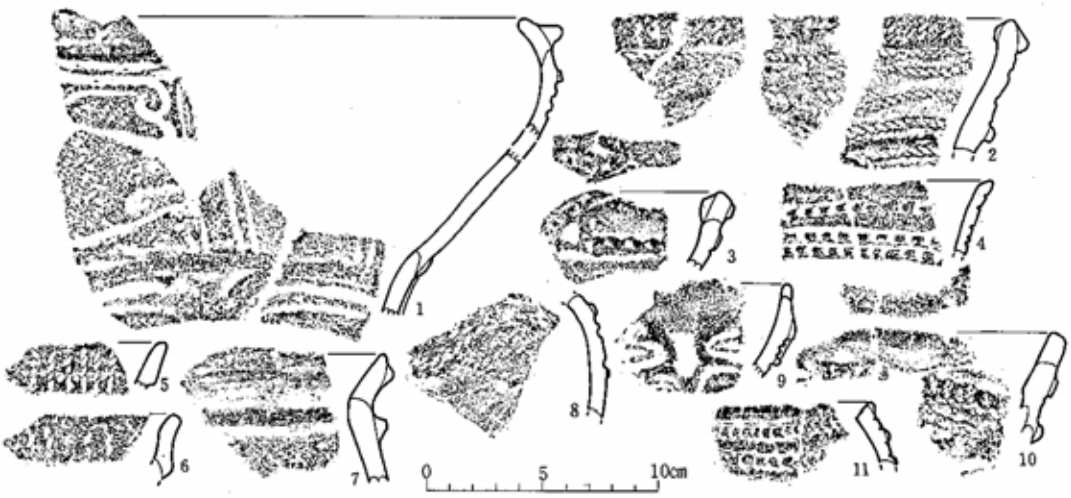
第 57 図 2～6：口縁部破片である。文様構成は明らかではない。2、5～6 は縦位の押圧縄文が刻目状に連続して施されている。3～4 は半截竹管による連続刺突文が施されている。

第 57 図 7：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。口頸部に 2 本の



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CL86区・4層	深鉢・K1	口縁部：半截竹管による横位平行沈線文，三角形の刺突，縄文（LR），頸部：無文	212
2	CL86区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文	212
3	CL86区・4層 CN87区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ(?))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文(LR)，頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文(LR)，胴部：縄文(LR)	212
4a,b	CL86区・4層	深鉢・L5	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（LR），胴部：縄 RL	212
5	CL86区・4層	深鉢・D(Ⅰ(?))10a	口縁部：区画押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	212
6	CL86区・4層	深鉢・O1	口縁部：平縁，横位平行隆線文，橋状彫手，隆線に沿う平行沈線文，連弧状沈線文	212
7	CL86区・4層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（RL）	212
8	CL86区・4層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，区画隆線文，縦位押圧縄文（Lr），隆線に沿う押圧縄文（Lr）	212
9	CL86区・4層	深鉢・D(Ⅱ(?))1e	口縁部：横位平行押圧縄文（Lr），「C」字状押圧縄文（Lr）	212
10	CL86区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1b	口縁部：波状縁，区画隆線文，縦位押圧縄文（LR）[隆線上]	212
11	CL86区・4層	深鉢・E(Ⅰ)4f	胴部：横位隆線文，隆線に沿う平行沈線文，半截竹管による刺目文	212
12	CL86区・4層	深鉢・D10C	口縁部：平縁，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（Rr），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，隆線に沿う押圧縄文（Rr）	212
13	CL86区・4層	深鉢・E(Ⅰ)4f	胴部：区画沈線文，弧状沈線文	212
14	CL86区・4層	深鉢・E(Ⅰ)4f(?)	胴部：区画沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	212
15	CL86区・4層	深鉢・E(Ⅱc)3(?)	胴部：半截竹管による相対する弧状沈線文，半截竹管による縦位沈線文，縄文（LR）	212
16	CL86区・4層	深鉢・V3	口縁部：縄文（LR），頸部：強頸によるナデツケ，胴部：縄文（LR）	212
17	CL86区・4層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文（ナデ）	212
18	CL86区・4層	浅鉢・A8d	口縁部：平縁，縄文（LR）	212
19	CL86区・4層	浅鉢・A8e	胴部：無文（ナデ），底部：無文（ナデ）	

第56図　東側遺物包含層出土土器（CL86区・4層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL86区・3層，CL86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)4c	口縁部：平縁，横位平行隆線文，区画沈線文，縄巻状沈線文，縦文(第1種)羽状縄文(RL×LR)，胴部：「V」字状隆帯隆線文，隆線に沿う沈線文	213
2	CL86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10c	口縁部：平線，横位押圧縄文（LR），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	213
3	CL86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)—	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状結行文（上端），区画隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（LR）	213
4	CL86区・3層	深鉢・S5c	口縁部：平縁，指頭状押圧（上端），半截竹管による平行沈線文，半截竹管による刺突文	213
5	CL86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)—	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR）	213
6	CL86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)—	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR）	213
7	CL86区・3層	深鉢・V2	口縁部：平縁，横位隆帯，頸部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）	213
8	CL86区・2層	深鉢・N5b	胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL）	213
9	CL86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)4a(?)	口縁部：小突起のつく平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	213
10	CL86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)10c(?)	口縁部：突起のつく平縁，「ハ」字状結行文（上端），横位隆線文，横位押圧縄文（RL），指頭状圧痕（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（RL）	213
11	CL81区・1層	深鉢・U—	口縁部：平縁，横位平行隆線文，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	213

第57図　東側遺物包含層出土土器（CL86区・3層，2層，1層）

横位隆帯が設けられている。

第57図8：胴部破片である。弧状文が隆線文・押圧縄文によって構成されるものと思われる。

第Ⅰb層（第2層）：第57図9～10

第57図9～10：口縁部破片である。文様構成は明らかでない。

第Ⅰa層（第1層）：第57図11

第57図11：口縁部は内弯している。半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が施されている。

CM86区

第Ⅴ層（第4層）：第58図

第58図1：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部は外傾し、胴部がほぼ円筒状を呈する器

形である。口縁部には弧状沈線文、山形状沈線文が施されている。

第58図2：頸部と胴下部にくびれ部をもつ器形である。胴上部に渦巻状の沈線文が施されている。

第58図3〜4：口縁部破片である。3は横位の隆線文・平行沈線文が施されている。

第Ⅴ層上面（第4層上面）：第59図

第59図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。胴部は縄文・結節文が施されている。

第Ⅱb層（第3層）：第60図〜第63図

第60図1〜2：頸胴部破片である。横位平行沈線文が施されている。

第60図3：口縁部破片である。横位連続刺突文が施されている。

第60図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には半截竹管による縦位平行沈線文が施されている。

第61図1、3〜5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。文様は口縁部に隆線文、沈線文によって施されている。

第61図2：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。

第61図6〜12、第62図1〜3、第63図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。明瞭に口縁部が内弯し、キャリパー状の器形を呈するものもみられる。口縁部に文様帯が構成され、第61図6〜8、第63図1は相対する弧状文が、第61図11、第62図1〜3は波頂部から垂下する文様が隆線・押圧縄文によって施されている。

第62図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部には横位平行押圧縄文、胴上部に相対する弧状文が構成されている。

第62図5：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。胴部に文様が構成されるものと思われる。

第62図6〜11：口縁部が複合口縁状あるいはゆるい「く」字状を呈する器形である。特に文様意匠は構成されていない。

第63図3〜6：浅鉢形土器である。口縁部に文様帯が構成されるものがある。

第Ⅱb層上面（第3層上面）：第64図4

第64図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。口縁部には弧状文が施され、各々の弧状区画内には渦巻文が加えられている。

第Ⅱa層（第2層）：第65図～第67図

第65図1：口縁部破片である。弧状貼付文と沈線文が施されている。

第65図2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口頸部に文様が施されている。

第65図3：口縁部破片である。波頂部から垂下する区画隆線文と斜位短沈線文が施されている。

第65図4：胴部破片である。渦巻状隆線文が施されている。

第65図5：口縁部破片である。横位に平行する粘土紐が貼付されている。

第65図6～10：口縁部～胴部破片である。6～7は頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形と思われ、9は胴部から口縁部にかけて内弯する器形と思われる。いずれも区画隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第65図11、第66図2～6：頸部がゆるく「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。第65図11、第66図2は、口縁部が内弯しながら外傾し、隆線文、押圧縄文によって相対する弧状文が構成されるものと思われる。第66図3～5は、口縁部に横位平行押圧縄文が施されている。第66図6は隆線文、押圧縄文が施されている。

第66図7：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。文様構成は明らかではない。

第66図8～11：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。口縁部・胴部に文様が構成されている。8は胴部に半截竹管による平行沈線文が縦位・波状に構成されている。

第66図12、第67図2：頸部が「く」字状につよくくびれる器形と思われる。口縁上部には「x」字状貼付文が施され、さらに縦位押圧縄文が連続して施されている。

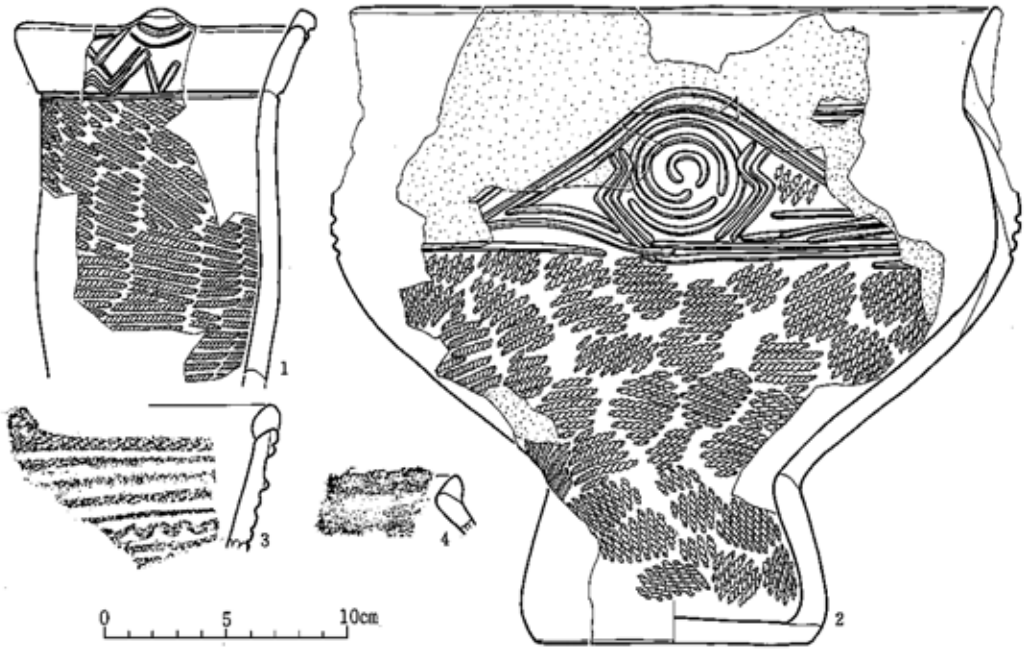
第66図13～14：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。波状縁をなし、波頂部に縦位の貼付文、隆線文が施されている。

第66図15：口縁部破片である。口縁部には指頭状圧痕の施される隆帯がめぐっている。

第67図3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。頸部には楕円形貼付文が施されている。

第67図4～8：頸部はゆるい「く」字状ないしは複合口縁状を呈している。特に文様は施されていない。

第66図16、第67図1：浅鉢形土器である。



番号	地区・4層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・4層	深鉢・R(Ⅰ)1	口縁部：突起のつく平縁，弧状沈線文（突起下），山形状沈線文，頸部：横位沈線文，胴部：縄文(LR)	37－1
2	CM86区・4層，CM86区・4層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，胴部：渦巻状沈線文，鋸歯状沈線文，縄文（LR）	39－3
3	CM86区・4層	深鉢・S4a	口縁部：小突起のつく平縁，横位隆線文，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	213
4	CM86区・4層	深鉢・U3	口縁部：平縁，（摩滅）	213

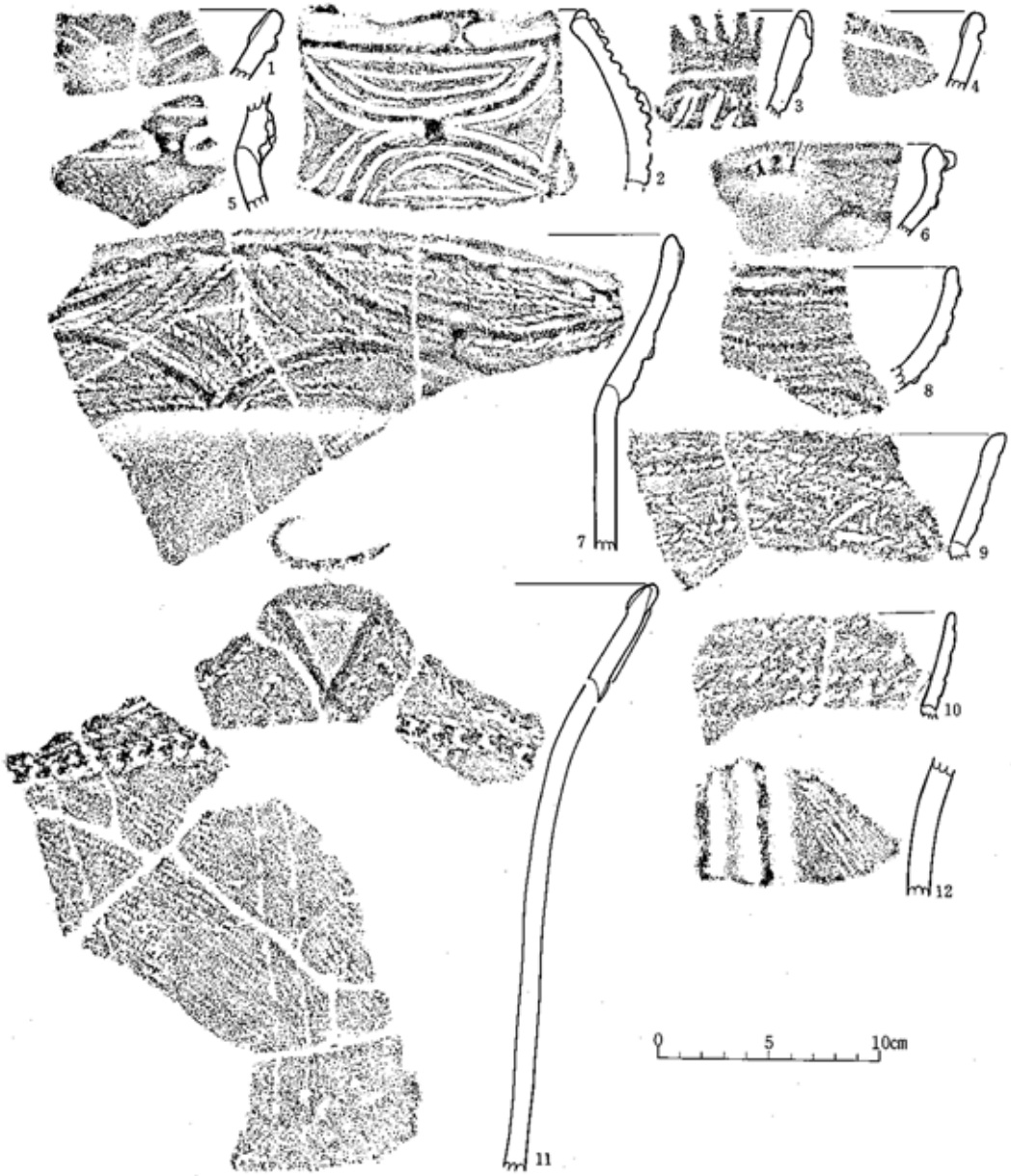
第58図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・4層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・西ベルト4層上面	深鉢・U3	口縁部：平縁，（摩滅），胴部：縄文（RL）結束文（片結び一環）	213

第59図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・4層上面）

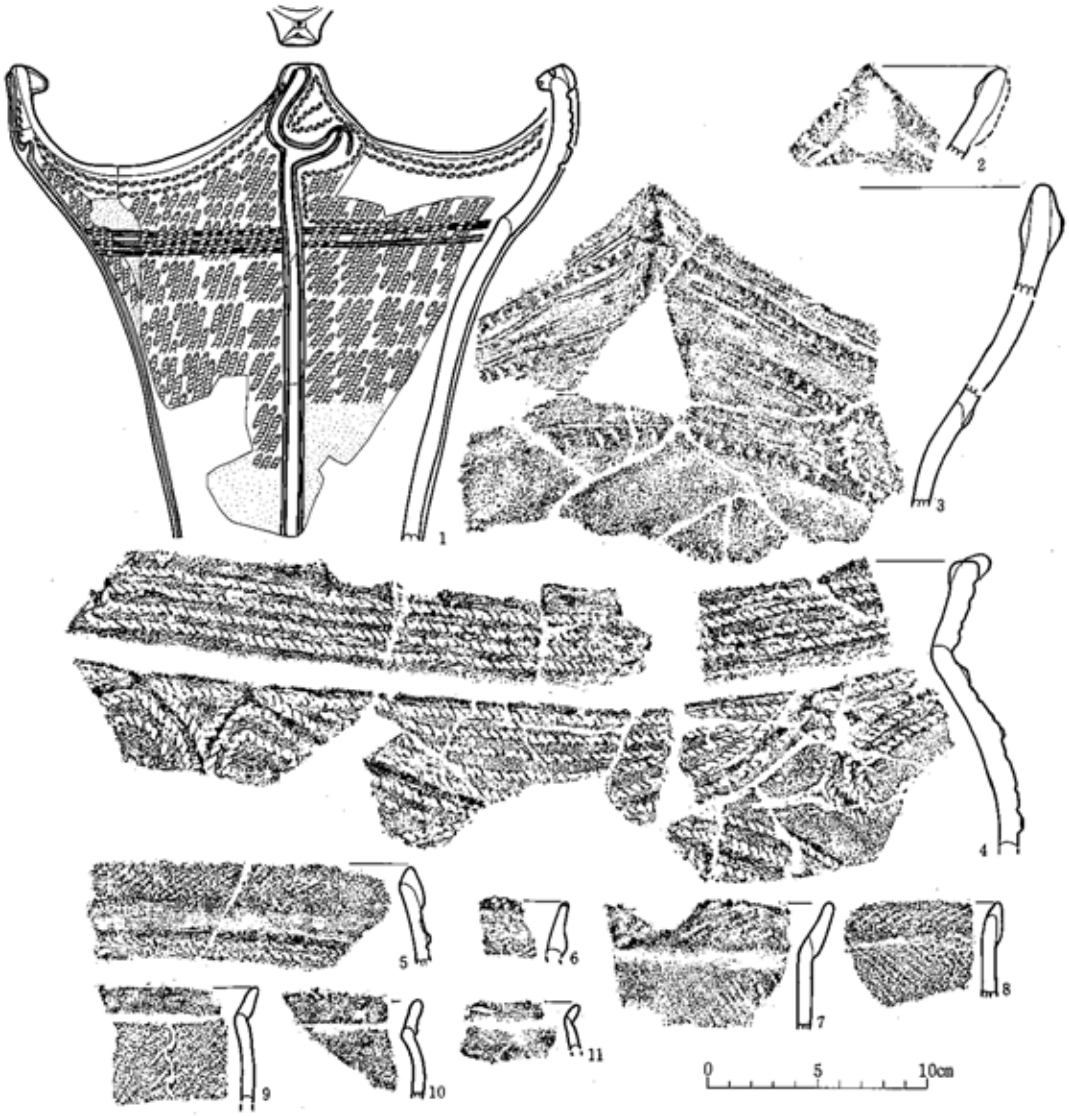
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・西ベルト3層	深鉢・A－	頸部：半截竹管による平行沈線文	213
2	CM86区・3層	深鉢・A－	胴部：横位平行沈線文，鋸歯状沈線文	213
3	CM86区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)1b	口縁部：小突起のつく波状縁，横位連続刺突文	213
4	CM86区・西ベルト3層	深鉢・R(Ⅰ)－(?)	口縁部：平縁，半截竹管による縦位平行沈線文，頸部：横位隆帯，半截竹管による刺突文(隆帯上)，胎土：金雲母を多く含む	213

第60図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・3層(1)）



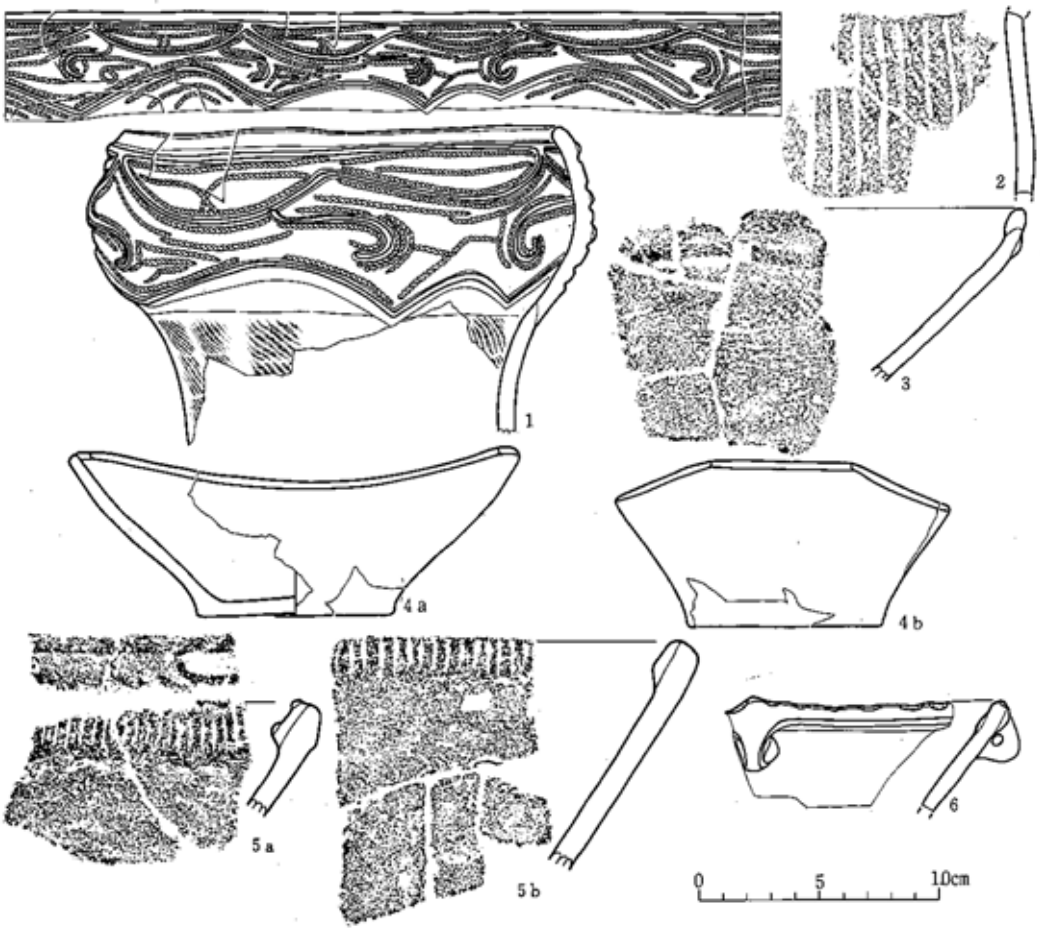
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，（剥落）	214
2	CM86区・3層	深鉢・N6a	口縁部：平縁，「ｔ」字状貼付文，相対する区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う沈線文	214
3	CM86区・3層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，縄位刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）（隆線上）	214
4	CM86区・3層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，縄文（RL）	214
5	CM86区・西ベルト3層	深鉢・D(？)−	口縁部：横位沈線文，胴部：横状把手，刺突文（把手上），胴部：縄文（LR）	214
6	CM86区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（RL），縄位刻目文（貼付上）	214
7	CM86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，横位隆線文，隆線状押圧（隆線上），相対する区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），胴部：縄文（RL）結束文（間隔ゼーロ）	214
8	CM86区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	214
9	CM84区・3層，CL86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，区画押圧縄文（Rℓ），胴部：縄文（Rℓ）	214
10	CM86区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	214
11	CM86区・3層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），半截竹管による連続刺突文，胴部：縄文（RL），結束文（片結び一段）	214
12	CM86区・3層	深鉢・D−	胴部：垂直区画隆線文，縄文（Lr）	214

第61図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・3層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・西ベルト3層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁、三角形窪み（波頂部）、「の」字状隆線文、縦位隆線文、口縁に沿う押圧縄文（RL）、斜行・隆線に沿う圧縄文、縄文（RL）、胴部：横位平行圧縄文、胴部：縦位隆線文、隆線に沿う圧縄文、縄文（RL）	39－2
2	CM86区・北ベルト3層	深鉢・D(IIa)4b	口縁部：波状縁、縦位斜行文（斜落）、区画隆線文、縦位刺目文（隆線上）、隆線に沿う圧縄文	214
3	CM86区・北ベルト3層	深鉢・D(IIa)4b	口縁部：波状縁、縦位斜行文、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）、縦位押圧縄文（Lr）、胴部：（無文）	214
4	CM86区・北ベルト3層 CM86区・2層	深鉢・N5b	口縁部：小突起のつく平縁、横位平行押圧縄文（Lr）、胴部：無文（ナデ）、胴部：区画押圧縄文（Lr）、隆線に沿う押圧縄文（Lr）、横位圧押圧縄文（Lr）	214
5	CM86区・3層	深鉢・N6b	口縁部：平縁、胴部：横位平行押圧縄文（LR）〔下半〕、縄文（LR）	214
6	CM86区・西ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縦位押圧縄文（LR）〔上端〕、縄文（LR）	214
7	CM86区・西ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縦位押圧縄文（RL）〔上端〕、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	214
8	CM86区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	214
9	CM86区・3層	深鉢・W2b	口縁部：平縁、無文（ナデ）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	214
10	CM86区・西ベルト3層	深鉢・W2b	口縁部：平縁、無文（ナデ）、胴部：無文（ナデ）	214
11	CM86区・西ベルト3層	深鉢・W2b	口縁部：平縁、無文（ナデ）、胴部：無文（ナデ）	214

第62図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・3層(3)）

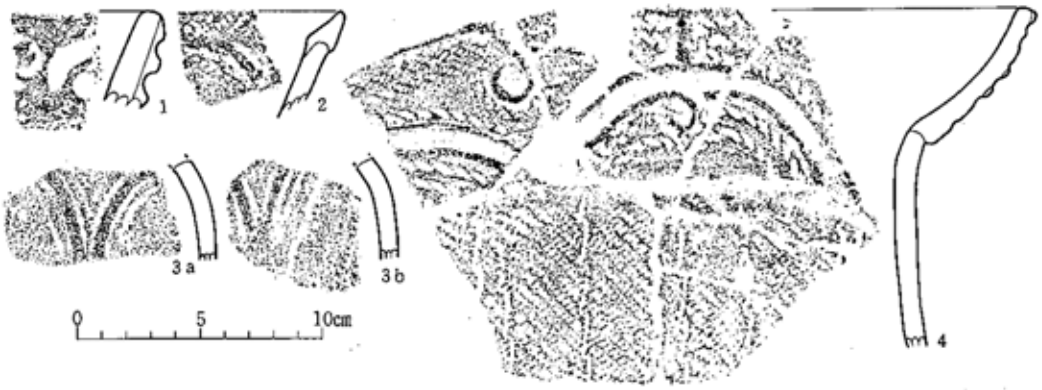


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・西ベルト3層、CM86区・北ベルト2層	深鉢・L5	口縁部：平縁、相対する弧状区画隆線文、隆線に沿う押圧縦文（Lr）、捩巻状隆線文、捩巻状押圧縦文（Lr）、胴部：縦文（Lr）	37－3
2	CM86区・3層	深鉢・－	胴部：縦位沈線文、縦文（LR）	215
3	CM86区・3層	浅鉢・A3e	口縁部：平縁、横位隆線文、縦文（RL）、胴部：縦文（RL）結節文（片結び一環）	215
4a,b	CM86区・北ベルト3層	浅鉢・B4	口縁部：波状縁、無文（イガキ）、胴部：無文（イガキ）、底部：木葉痕（笠）	37－4
5a,b	CM86区・3層、CL86区・3層、CM86区・2－3層	浅鉢・A5	口縁部：平縁、粘土紐貼付文（口縁内面）、縦位刻目文、補修孔、胴部：無文（ナデ）	215
6	CM86区・北ベルト3層	浅鉢・A7	口縁部：平縁、指頭状圧痕（上端）、隆状把手、胴部：無文（ナデ）	215

第63図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・3層(4)）

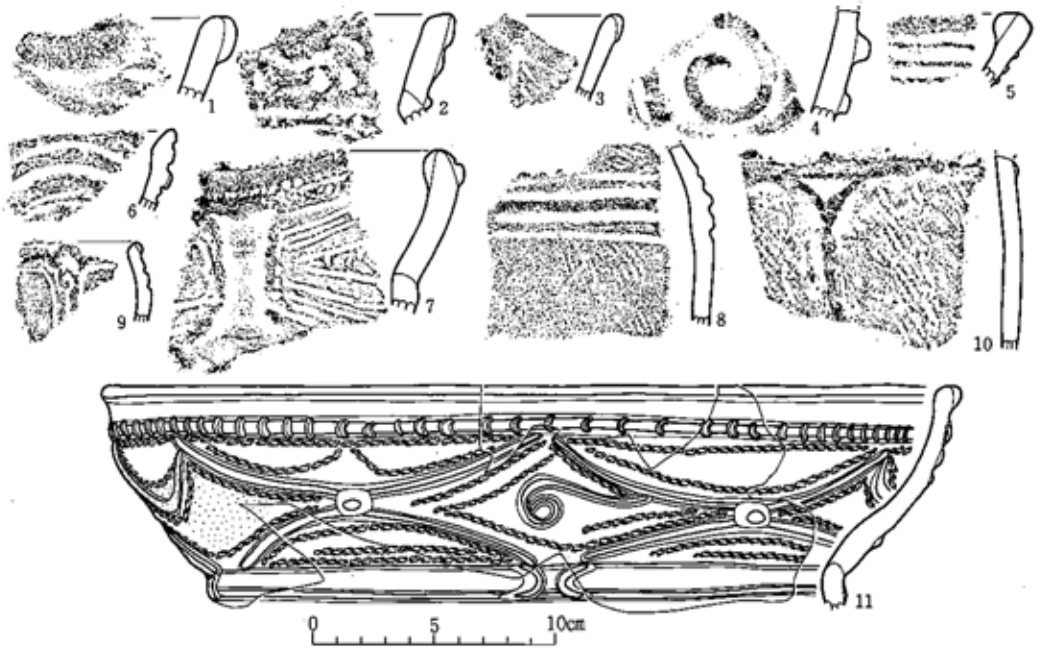
第Ⅰa層（第1層）：第68図

第68図1～9：いずれも口縁部破片である。1は山形状の押引き文と三角形の彫去、3は相対する弧状文が構成されている。他は文様構成が明らかではない。9 は内面にも隆線による文様が施されている。



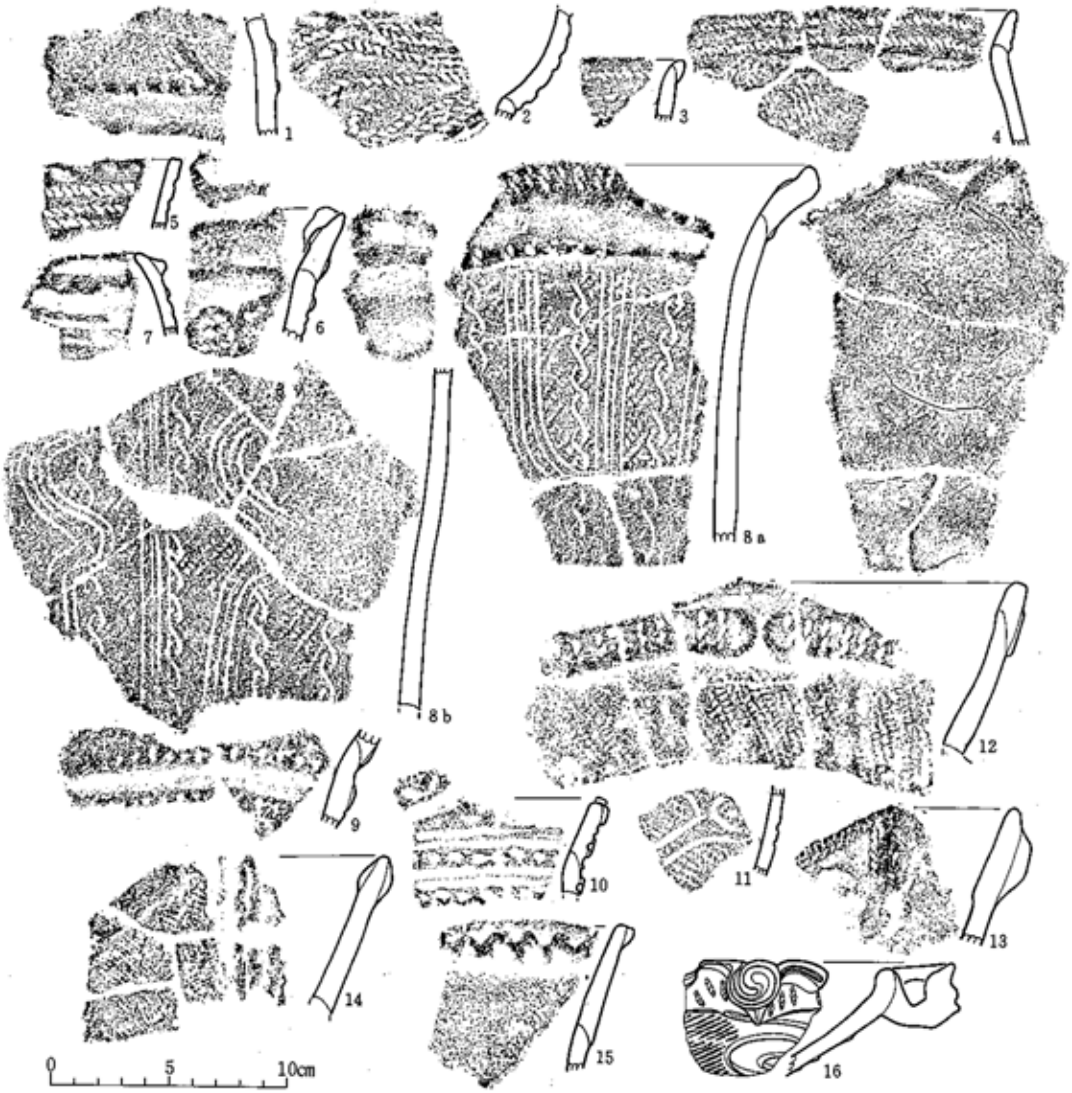
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・2～3層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平線，円形貼付文，弧状沈線文，円形の盲孔	215
2	CM86区・2～3層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平線，区画隆線文，縄文（LR）	215
3a,b	CM86区・2～3層	深鉢・N7a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，渦巻状沈線文，（摩滅）	215
4	CM86区・3層上面	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平線，区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	215

第64図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・3層上面）



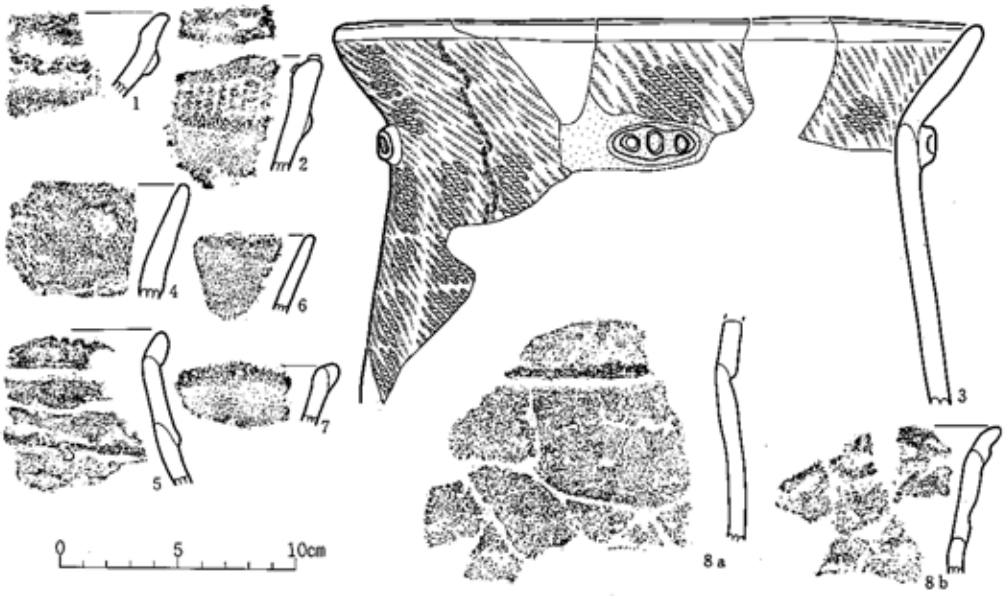
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・2層	深鉢・A－	口縁部：平線，弧状貼付文，沈線文	215
2	CM86区・2層	深鉢・H－	口縁部：小波状線，波状隆線文，刺突文，胴部：横位隆帯，刻目文（隆帯上）	215
3	CM86区・2層	深鉢・E(Ⅱa)2a	口縁部：波状線，区画隆線文，斜位沈線文	215
4	CM86区・2層	深鉢・E－	胴部：渦巻状隆線文	215
5	CM86区・2層	深鉢・D－	口縁部：平線，横位粘土紐貼付文	215
6	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	215
7	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う押引き文，交互刺突文，縄文（RL）（隆線上），胴部：無文	215
8	CM86区・2層	深鉢・N4a	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	215
9	CM86区・2層	深鉢・N6－	口縁部：平線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，渦巻状沈線文	215
10	CM86区・北ベルト2層	深鉢・N8a	胴部：横位隆線文，「Y」字状隆線文，縄文（RL）結節文（片結び一類）	215
11	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平線，横位隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），相対する区画隆線文，渦巻状隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（RL），胴部：横位隆線文，「α」字状貼付文	39－1

第65図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・2層(1)）



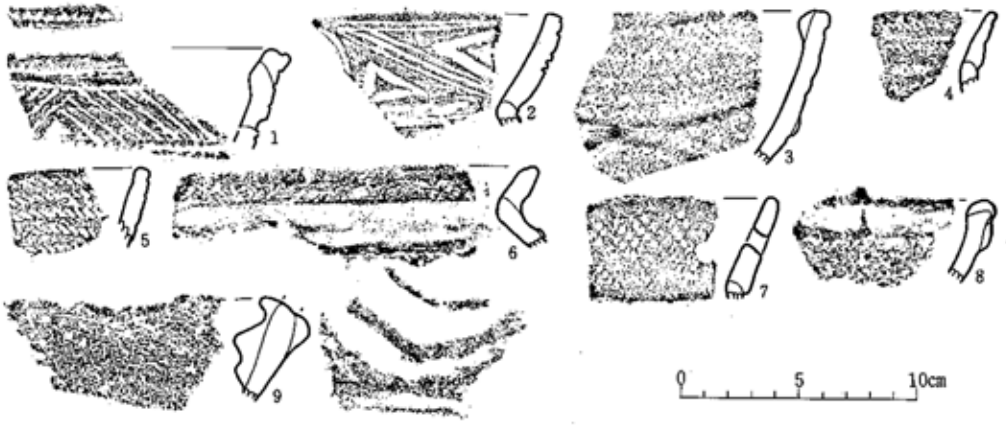
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CM86区・2層	深鉢・N5b	口縁部：区画隆線文，指頭状圧痕（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（Rℓ）	216
2	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅰ(?))10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	216
3	CM86区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	216
4	CM86区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr），結節文	216
5	CM86区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，指頭状圧痕（上端），横位平行押圧縄文（Lr）	216
6	CM86区・2層	深鉢・－	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	216
7	CM86区・2層	深鉢・U－	口縁部：平縁，横位隆線文，斜位刻目文（隆線上），胴部：横位平行沈線文	216
8a,b	CM86区・2層	深鉢・W4	口縁部：突起のつく平縁，縦位押圧縄文（RL）（突起），「V」字状貼付文（波頂部内面），頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（RL），胴部：平行沈線による平行沈線文，縄文（RL）結節文（上貼付一段）	216
9	CM86区・2層	深鉢・D－	口縁部：横位隆線文，縦位押圧縄文（Lr）（隆線上），頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（Lr）	216
10	CM86区・2層	深鉢・D－	口縁部：波状縁，波状貼土紐貼付文（上端），横位平行隆線文，刺突文（隆線上），隆線に沿う沈線文	216
11	CM86区・2層	深鉢・－	胴部：区画沈線文，渦巻状沈線文，縄文（LR）	216
12	CM86区・2層	深鉢・E(Ⅰ)－	口縁部：突起のつく平縁，「ま」字状貼付文，縦位押圧縄文（Lr），胴部：指頭による縦位のナデツケ，縄文（Lr）	216
13	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅱa)4b	口縁部：波状縁，縦位貼付文（波頂部），縦位刻目文（上端），口縁に沿う押圧縄文（RL）	216
14	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，縦位隆線文，縄文（Lr）	216
15	CM86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，横位隆線文，指頭状圧痕（隆線上），（摩滅）	216
16	CM86区・2層	浅鉢・A6	口縁部：突起のつく平縁，鳥状把手，鳥物状貼付文（把手上），波状貼付文（上端），縦位押圧縄文（Rℓ），胴部：横位隆線文，縄文（Rℓ）	216

第66図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・2層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・2層	浅鉢・A−	口縁部：平縁，横位陸線文，「ヶ」字状貼付文，縦位押圧縄文（Lr）	217
2	CM86区・2層	深鉢・E(Ⅰ)−	口縁部：小突起のつく平縁，三角形窪み（上端），横位陸線文，縦位押圧縄文（Lr）	217
3	CM86区・2層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR）結束文（同結び一線），頸部：楕円形貼付文，角状文（貼付上），胴部：縄文（LR,Lr）結束文（両結び一線）	41−1
4	CM86区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，結束（第1種）縄文（LR×LR）	217
5	CM86区・2層	深鉢・V4	口縁部：波状縁，縦位刺目文（上端），無文	217
6	CM86区・2層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	217
7	CM86区・2層	深鉢・W5	口縁部：小突起のつく平縁，無文	217
8a,b	CM86区・2層	深鉢・W5	口縁部：波状縁，無文，胴部：無文	217

第67図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・2層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM86区・1層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，横位押引き文（上端），山形状押引き文，三角形の彫刻，胎土：金雲母を多く含む	217
2	CM86区・西ベルト1層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，半截竹管による山形状区画沈線文，円形状沈線文，胴部：半截竹管による横位平行沈線文	217
3	CM86区・1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，区画陸線文，陸線に沿う押圧縄文（LR）	217
4	CM86区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	217
5	CM86区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	217
6	CM86区・1層	深鉢・N−	口縁部：平縁，縄文（LR），頸部：無文（ナデ），胴部：横位陸線文，交互刺突文	217
7	CM86区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），補修孔あり	217
8	CM86区・1層	浅鉢・A−	口縁部：小突起のつく平縁，区画陸線文，区画押圧縄文（RL）	217
9	CM86区・1層	深鉢・−	口縁部：波状縁，縦位刺目文（端部），口縁に沿う陸線文（内面）	217

第68図　東側遺物包含層出土土器（CM86区・1層）

ＣN86 区

第Ⅴ層上面（第９層上面）：第 69 図～第 70 図

第 69 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部は 4 か所に弧状の貼付文が施され、それらを結ぶように山形状・弧状の沈線文が配され、さらに指頭状圧痕が加えられている。頸胴部は半截竹管による平行沈線文が、懸垂文を中心として対角線上に配され、円形貼付文が交点部分に加えられている。

第 70 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には 4 つの弧状区画が設けられ、各々沈線文が施された後に、中央のくぼむ円形貼付文が加えられている。

第 70 図 2～5：口縁部～胴部破片である。文様構成はいずれも明らかではない。2、4 は半截竹管による平行沈線文、3 は横位隆帯、押圧縄文が施されている。

第Ⅲａ層（第８層）：第 71 図～第 72 図

第 71 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。胴部は半截竹管による平行沈線文が懸垂文を中心に対角線上に施されている。

第 71 図 2～7：口縁部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。2 は横位平行沈線文、鋸歯状沈線文、4 は「x」字状貼付文が施されている。

第 72 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴上部に文様が構成され、半円弧状の隆線文、沈線文が施され、交互刺突文が加えられている。弧状区画内には三叉状沈線文、弧状文が配されている。

第 72 図 2：円筒状の器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。口縁部上端には、人面突起が付されている。口縁部は、押圧縄文と交互刺突文が施されている。胴部は 4 単位の「Y」字状懸垂隆線文が施された後に、弧状の沈線文と交互刺突文が施されている。

第Ⅱｆ層（第７層）：第 73 図～第 77 図

第 73 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しキャリパー状の器形である。胴部については、胴上部ですぼみ、胴下部で膨むものと思われる。口縁部は 6 つの相対する弧状文が施され、各々菱形区画には渦巻文が施されている。頸部は 2 本の横位隆帯が、胴部は「Y」字状懸垂文が施されている。

第 73 図 2：口縁部は複合口縁状を呈している。胴部には縄文が施されている。

第 74 図 1～2、第 75 図 1～2：頸部がゆるく「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形で

ある。第74図1は、口縁上部に6つの小突起が付され、口頸部にも6単位の文様構成がとられ、半円弧状、「x」字状の隆線文が施されている。隆線による区画の後には、押圧縄文が加えられている。第74図2・第75図1は、口縁部に横位平行押圧縄文が配されている。第75図2の口縁上端には、縦位押圧縄文が連続して施されている。

第76図1～18：口縁部～胴部破片で、隆線文、沈線文によって文様が施されているものである。文様構成は明らかではない。1は縦位貼付文と横位・縦位沈線文、2は横位・鋸歯状沈線文が施されている。8は口縁部に弧状文が描かれている。9～12は四波状を呈する土器と思われ、各々区画隆線文、沈線文が施されている。13～16は頸部が「く」字状にくびれ、胴部が膨む器形と思われる。胴上部に主文様帯が構成されるものと思われる。18は、胴部から口縁部にかけて内弯し、頸胴部に弧状沈線文が描かれている。

第77図1、17：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。無文である。

第77図2～6：口縁部～胴部破片で、押圧縄文が施される土器である。3は連弧状押圧縄文横位平行押圧縄文、4～5は横位平行押圧縄文が施されている。他は文様構成が明らかではない。

第77図7～16：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。文様意匠は施されていない。

第77図18～19：口縁部破片で、半截竹管による横位平行沈線文・連続刺突文・横位押圧縄文が施される土器である。

第Ⅱｆ層上面（第7層上面）：第78図

第78図1～2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。1は波状縁を呈し、隆線文・沈線文が、2は横位平行押圧縄文が施されている。

第78図3：浅鉢形土器である。胴部には連弧状沈線文が施されている。

第Ⅱｅ層（第6層）：第79図

第79図1～2：頸部は「く」字状につよくくびれ、胴部が膨む器形と思われる。文様構成は明らかではないが、1は半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が施され、横位鋸歯状文が2段施されている。2は胴上部に粘土紐貼付・半截竹管による押引き文が渦巻状に施されている。

第79図3～4、7：口縁部破片で、押圧縄文以外が施される土器である。3は、口縁部に半截竹管による縦位平行沈線文が連続して施されている。6は押引き文、7は隆線文と沈線文が施されている。

第79図5、8：口縁部破片で押圧縄文が施される土器である。文様構成は明らかではない。

第79図6、9〜11：口縁部破片で文様意匠の施されない土器である。10は複合口縁状を呈している。

第Ⅱe層上面（第6層上面）：第81図1

第81図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。波頂部から垂下する縦位・弧状隆線文、波底部に「x」字状貼付文が施され、それらを連結するように2列の押引き文が山形状に配されている。

第Ⅱd層（第5層）：第82図

第82図1：胴部破片である。渦巻状沈線文が施されている。

第Ⅱc層（第4層）：第83図〜第84図

第83図1〜4：口縁部破片である。1〜2は縦位の貼付文が付され、さらに指頭状圧痕が加えられている。4は、弁状をなす波頂部破片である。

第83図5〜6：胴部破片である。文様構成は明らかではない。沈線文が施されている。

第83図7：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形である。胴部にはよじれた弧状沈線文が描かれている。

第83図8〜14、第84図1〜3：押圧縄文の施された土器である。第83図9〜10は弧状の区画隆線文と押圧縄文が施されている。第83図11〜14、第81図1は、口縁部に平行する押圧縄文が多段に施されている。第84図2〜3は、胴部に弧状の区画隆線文と押圧縄文が施されている。

第84図4〜9：文様意匠の施されていない土器である。器形は口縁部が複合口縁状を呈するものから、頸部がゆるい「く」字状を呈するものまでがみられる。

第84図10〜11：浅鉢形土器である。

第Ⅱc層上面（第4層上面）：第85図〜第87図

第85図1〜3：頸部でゆるく外反し、胴部がわずかに膨む器形と思われる。半截竹管による平行沈線文が、懸垂文を中心として対角線上に施されている。

第85図4：口縁部破片である。無文である。

第86図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。胴部は胴中位で膨む形状と思われる。口縁部内面上端には凸帯状の隆帯がめぐっている。口縁部は隆帯によって4つに区画され、ひとつの区画内には渦巻状の長方形が2つ描かれ、鋸歯状沈線文が加えられている。頸部には4単位の「x」字状区画隆線文、橋状把手が配されている。胴部の文様

構成は明らかではないが、胴中位には「x」字状区画隆線文が設けられ、胴部は大きくふたつにわけられている。胴上部は弧状の隆線文・沈線文が施され、胴下部には懸垂沈線文が施されている。

第87図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部の突起は「の」字状を呈している。口縁部には縦位押圧縄文が連続して施されている。

第87図2：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。口縁部は複合口縁状を呈し、頸部には縦位押圧縄文が連続して施される隆帯が配されている。

第Ⅱb層（第3層）：第88図

第88図1～5、14：口縁部～胴部破片で、押圧縄文以外の文様が施される土器である。1は口縁に沿う沈線文、円圏状沈線文、2の口縁部には横位沈線文、円形竹管文、3の胴上部には半截竹管による波状沈線文、4、5は隆線文・沈線文が施されている。いずれも文様構成は明らかではない。

第88図6～13、15～17：口縁部～胴部破片で、押圧縄文の施される土器である。弧状の区画隆線文と押圧縄文が施されるもの、横位平行押圧縄文の施されるもの、横位平行押圧縄文間に縦位弧状押圧縄文の施されるものがある。

第88図18～20：文様意匠の施されない土器である。20は円環状の突起をもち、口縁部は複合口縁状を呈している。

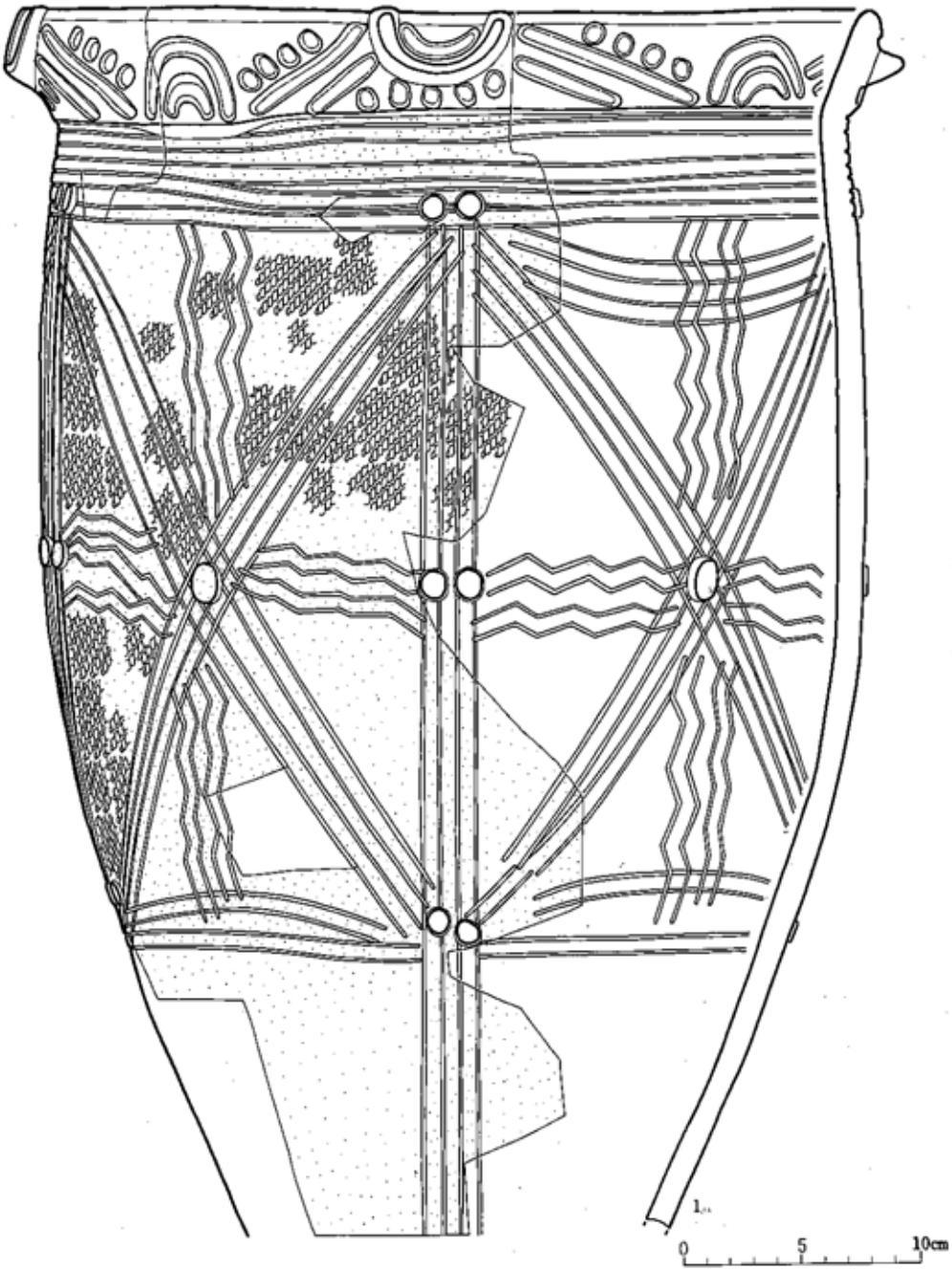
第Ⅱb層上面（第3層上面）：第89図

第89図1：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形である。口縁部の形状は弁状を呈し、押圧縄文と半截竹管による連続刺突文が2段にわたって施されている。胴部は「Y」字状懸垂隆線文によって4つに区画され、さらに横位隆線文、連弧状隆線文が施されている。

第Ⅱa（第2層）：第90図～第91図

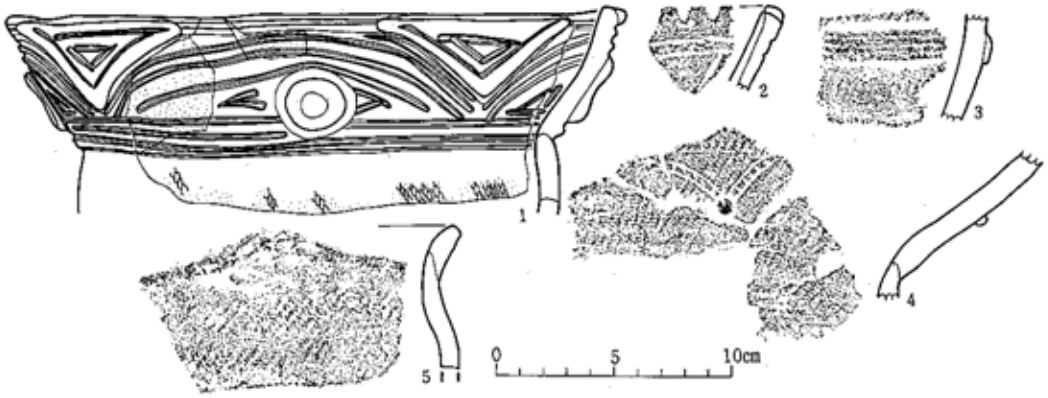
第90図1～4：口縁部破片で沈線文の施される土器である。1～2は平縁で、1は横位平行沈線文、2は弧状の区画隆線文・沈線文が施されている。3～4は弁状を呈する四波状縁と思われ、波頂部から垂下する隆線文を中心に弧状隆線文が配され、隆線に沿う沈線文が施されている。

第90図5～7、10～16、第91図1：口縁部破片で押圧縄文が施される土器である。第91図5～7は、弧状の区画隆線文と押圧縄文が施されている。第90図10は横位平行押圧縄文と連弧状押圧縄文、第90図11～14は横位平行押圧縄文、第90図15～16、第91図1は弧状の区画隆線文、



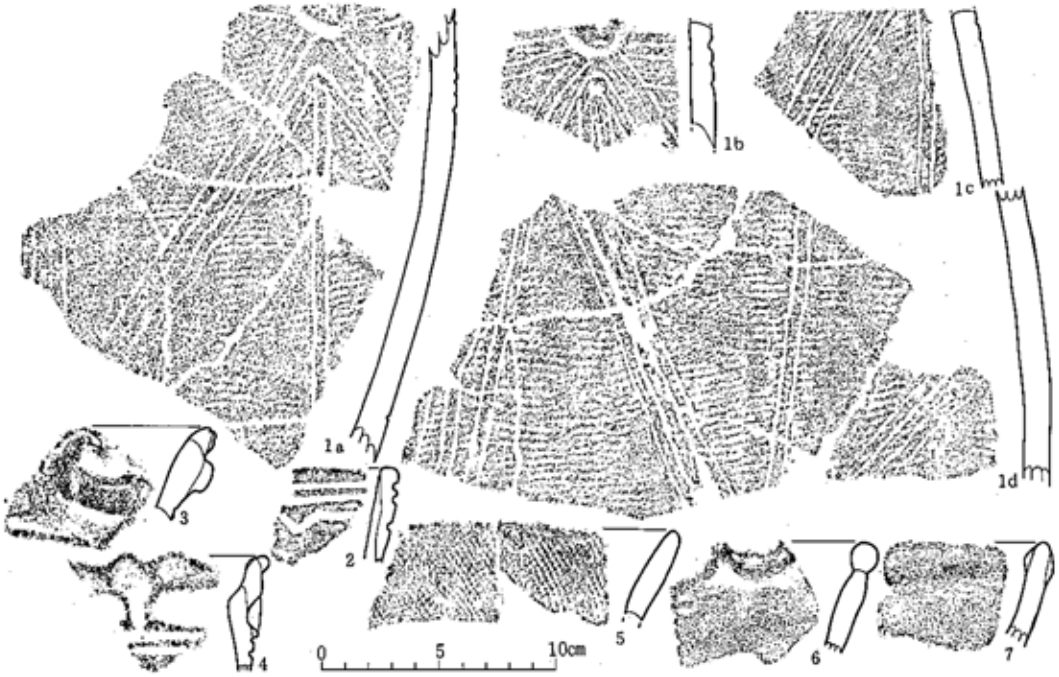
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・9層上面、 CN86区・4層上面、 CN87区・西ベルト3層、 CN87区・4層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平縁、弧状貼付文、弧状沈線文、山形沈線文、隆線状圧痕、頸部：半截竹管による横位平行沈線文、円形貼付文、胴部：半截竹管による平行沈線文、円形貼付文、縄文（LR）	38－1

第69図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・9層上面(1)）



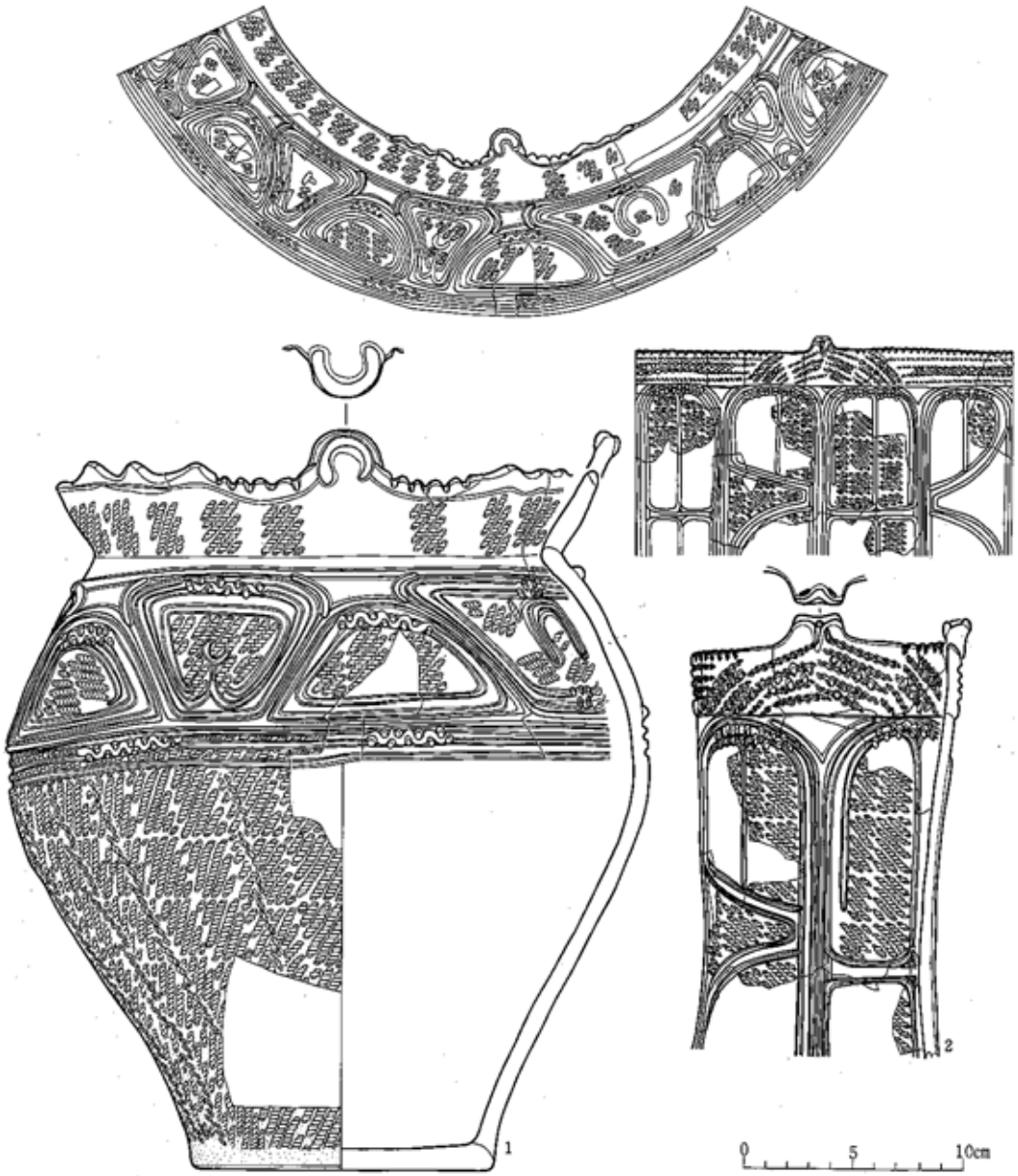
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・9層上面、CO86区・四ベルト6層	深鉢・D(Ⅰ)8a	口縁部：平線、弧状区画沈線文、円形貼付文、胴部：縄文（RL）（摩滅）	218
2	CN86区・9層上面	深鉢・Q1	平線、鋸歯刻目文（上端）、半截竹管による平行沈線文	218
3	CN86区・9層上面	深鉢・－	胴部：横位隆帯、押圧縄文（Lr）（隆帯上）、縄文（Lr）	218
4	CN86区・9層上面、CN86区・8層	深鉢・H3	胴部：半截竹管による弧状平行沈線文、刺突文、円形貼付文、縄文（LR）	218
5	CN86区・9層上面	深鉢・W2a	口縁部：波状線、無文（ナデ）、胴部：縄文（LR）	218

第70図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・９層上面(2)）



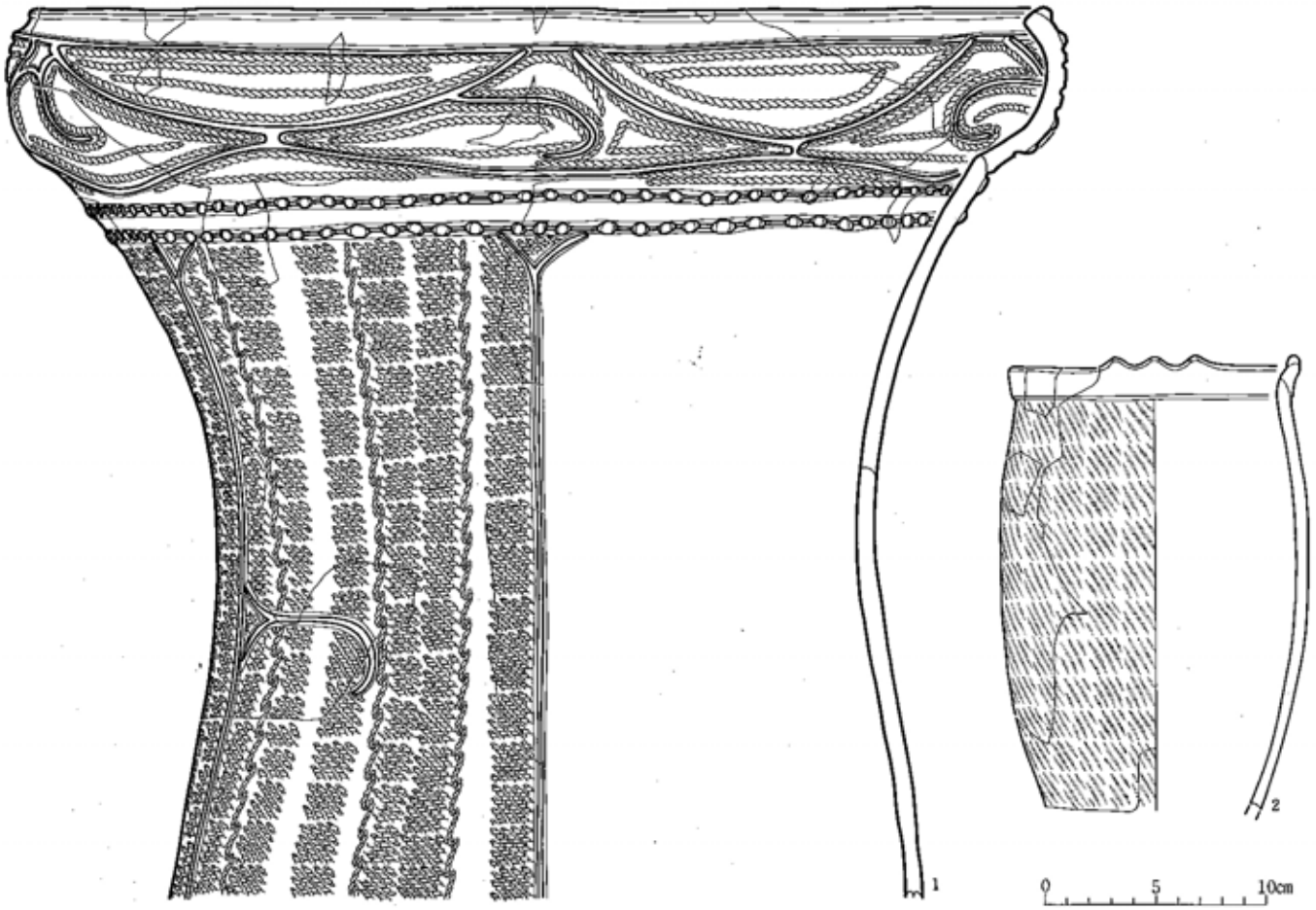
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1 a,b,c,d	CN86区・8層、CP86区・4層、CP86区・2－3層、CP86区・1層	深鉢・A－	胴部：弧状沈線文、半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）	218
2	CN86区・8層	深鉢・D－	口縁部：平線、横位平行沈線文、鋸歯状沈線文	218
3	CN86区・8層	深鉢・H－	口縁部：平線、弧状貼付文、半截竹管による連続刺突文	218
4	CN86区・8層	深鉢・N9a	口縁部：突起のつく平線、横位隆線文、「ｘ」字状貼付文、隆線に沿う沈線文	218
5	CN86区・8層	深鉢・W3b	口縁部：平線、縄文（LR）結節文（片結び－原）	218
6	CN86区・8層	深鉢・W5	口縁部：突起のつく平線、無文（ナデ）	218
7	CN86区・8層	深鉢・W5	口縁部：平線、無文（ナデ）、胎土：金雲母を多く含む	218

第71図　東側遺物包含層出土土器（ＣＮ86区・８層(1)）



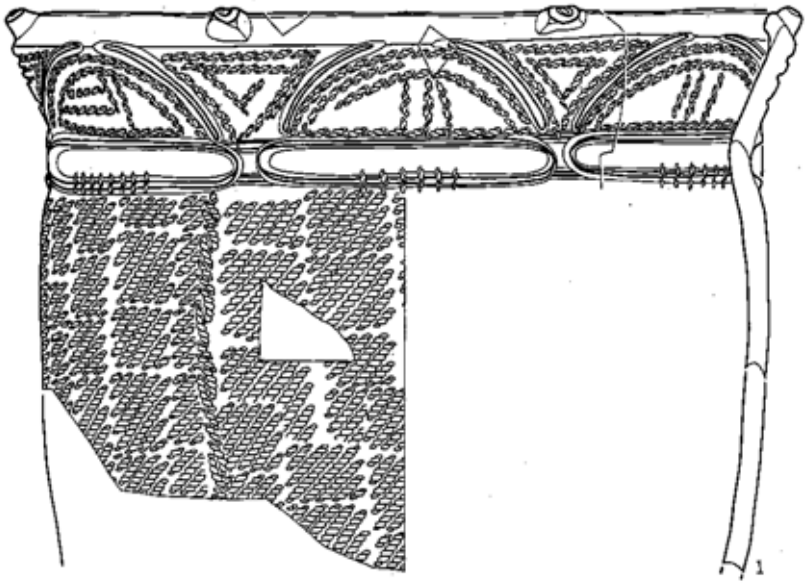
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・8層、 CN86区・7～8層、 CN86区・7層、 CN86区・西ベルト6層、 CN86区・西ベルト5層、 CO85区・北ベルト4層、 CO85区・南ベルト4層	深鉢・N4a	口縁部：胴部のつく平縁、「の」字状貼付文、（胴部内外面）、縄文（RL）、胴部：区画隆線文、隆線にそう沈線文、交互刺突文、「ハ」状貼付文、横位平行沈線文、交互刺突文、縄文（RL）結節文（向結び一単）	40－3
2	CN86区・8層、 CN86区・7層、 CN86区・西ベルト5層、 CN86区・北ベルト5層、 CN86区・北ベルト2層	深鉢・S6	口縁部：胴部のつく平面、人面状文様（胴部内面）、横位押圧縄文(LR)（上端）、弧状押圧縄文(LR)、横位平行押圧縄文(LR)、交互刺突文、胴部：「V」字状懸垂隆線文、弧状沈線文、交互刺突文、縄文(LR)	40－1

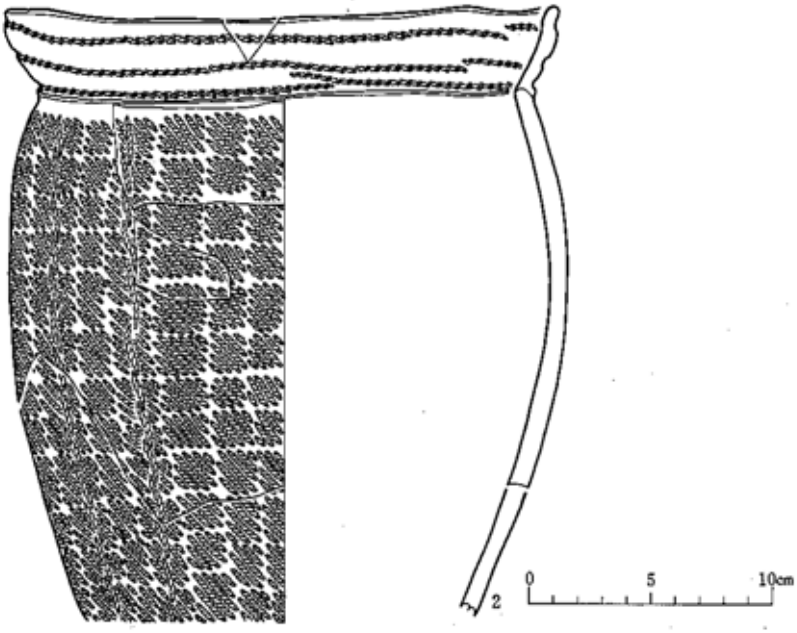
第72図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・8層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・7層、CN85区・5層上位、CN84区・西ベルト2層	深鉢・M1	口縁部：平縁、区画隆線文、渦巻状隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）、頸部：渦巻平行隆帯、楕円状圧痕（隆帯上）、胴部：「Y」字状区画隆線文、渦巻状隆線文、縄文（LR）結節文（外結び一部）	41－2
2	CN86区・7層、CN85区・7～8層	深鉢・W2b	口縁部：小波状部をもつ平縁、無文、胴部：縄文（Lr）	40－2

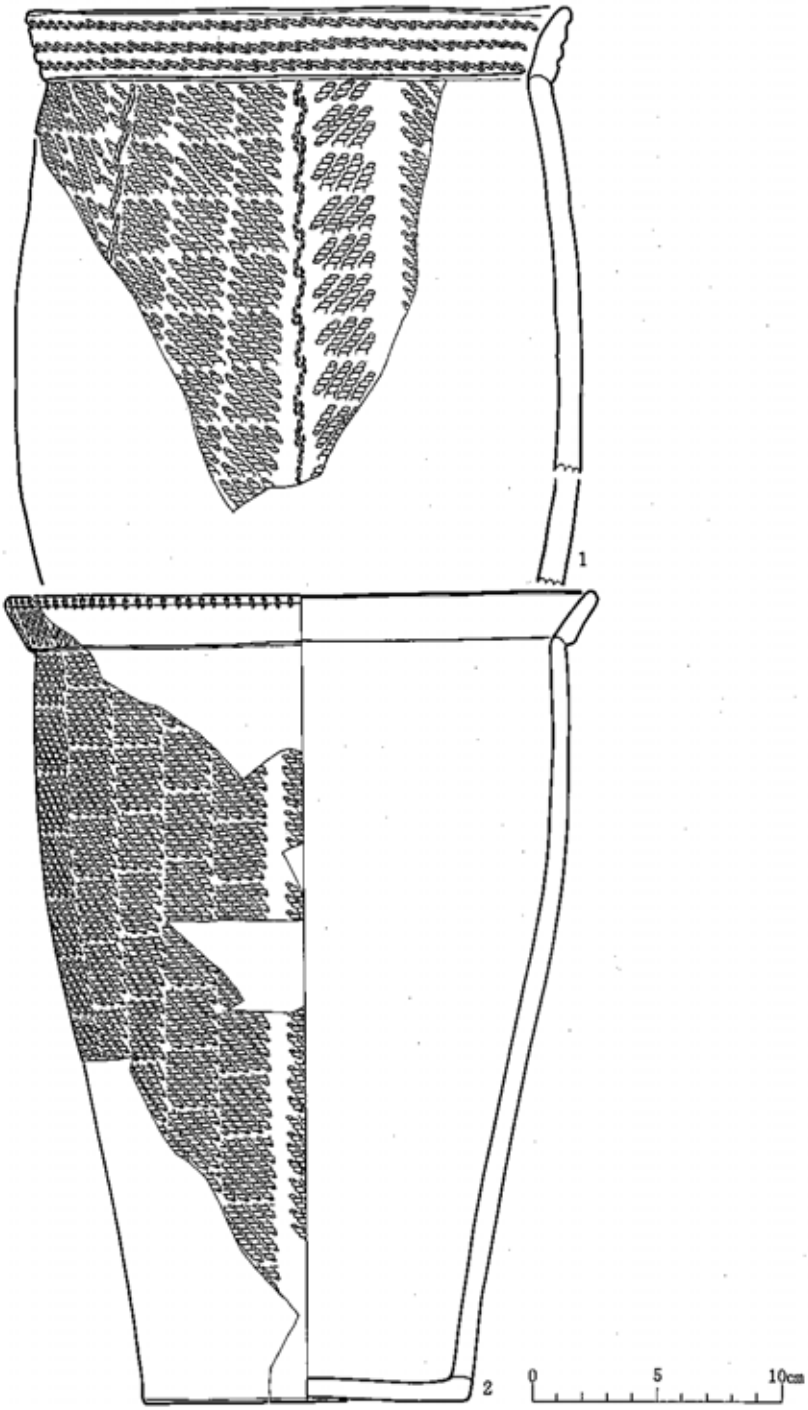
第73図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・7層(1)）





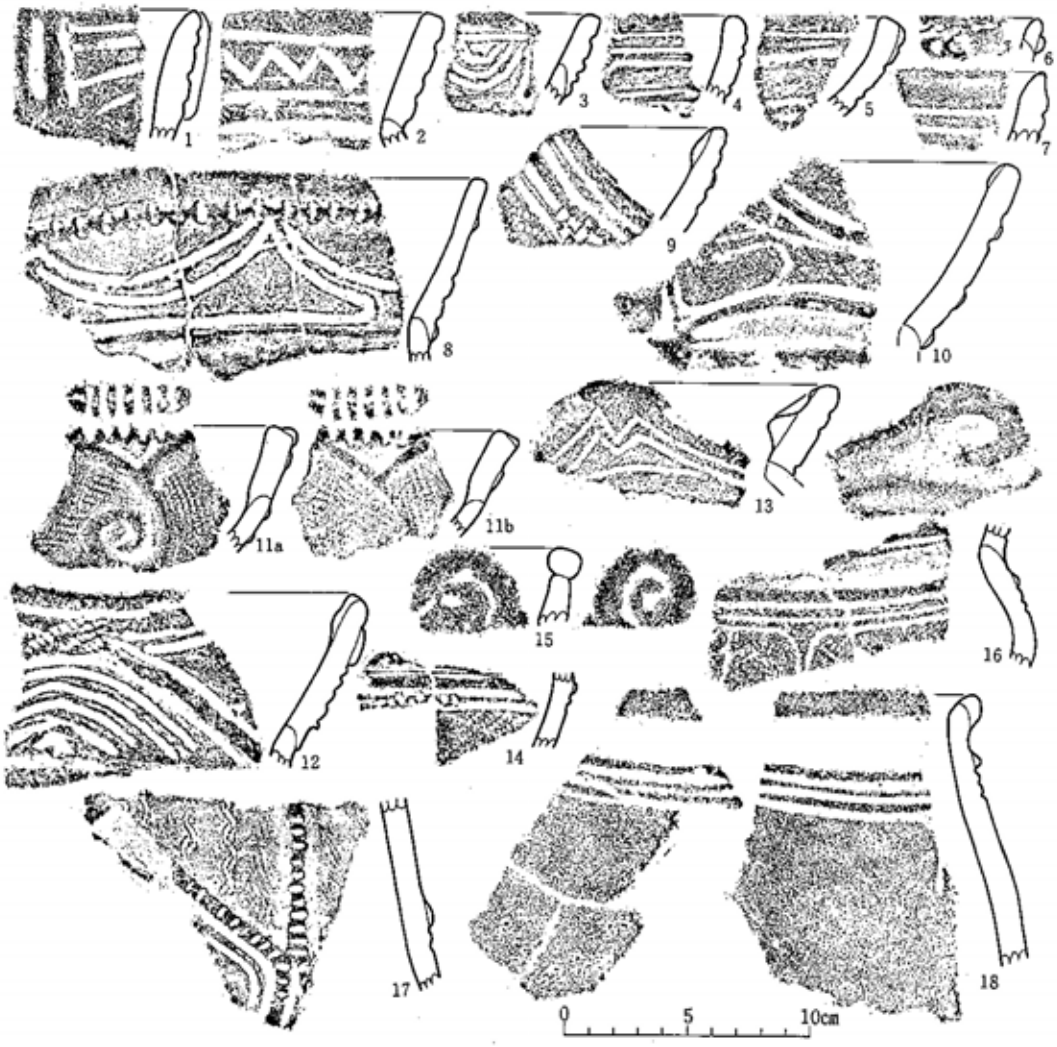
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・7層， CN86区・9層， CL70区・1層， CN85区・5層上面	深鉢・E(Ⅰ)7	口縁部：突起のつく平縁，連弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文(RL)，胴部：横位平行隆線文，「×」字状隆線文，横位押圧縄文（RL）（隆線上），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一規）	42－1
2	CN86区・7層， CN86区・7層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一規）（RL）	42－4

第74図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・7層(2)）



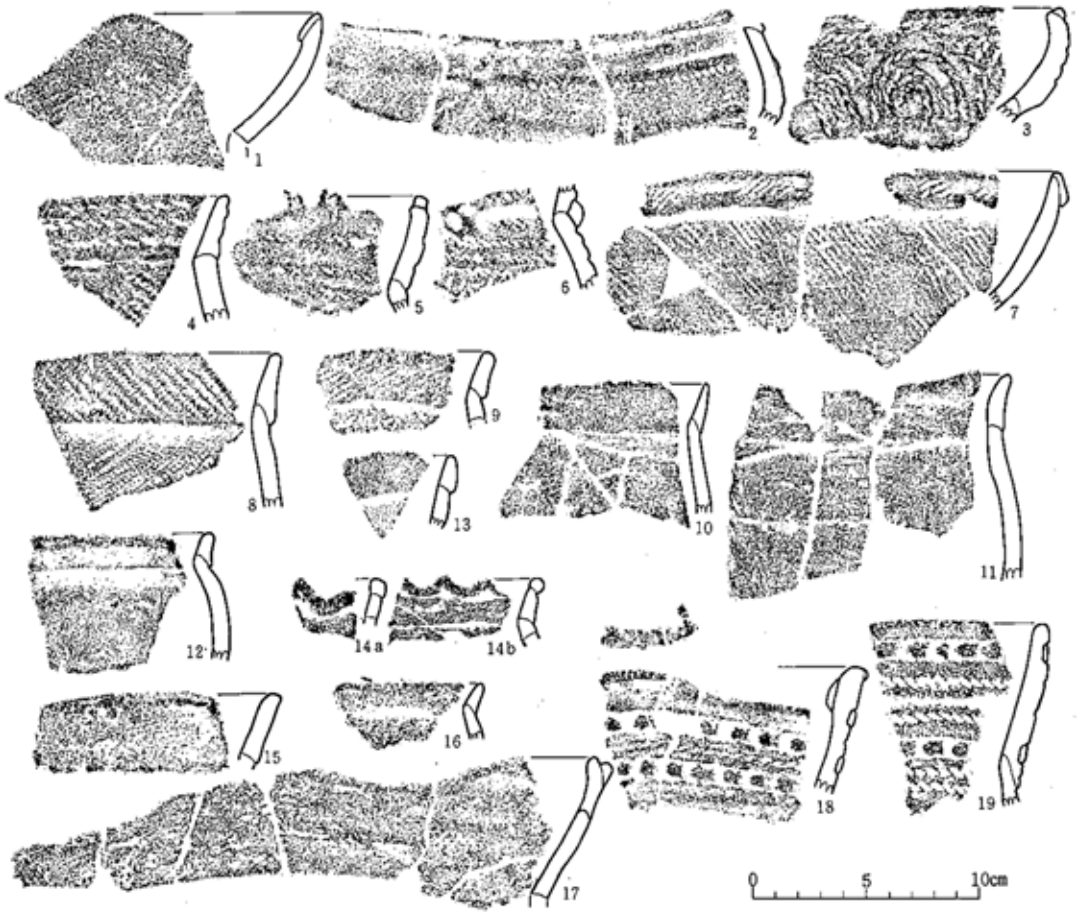
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・7層	深鉢・E(1)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR,RL）結節文（片結び一環，両結び一環）	43－3
2	CN86区・7層，CM86区・西ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（LR）（上端），縄文（LR）胴部：縄文(LR)，底部：網代痕	42－3

第75図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・7層(3)）



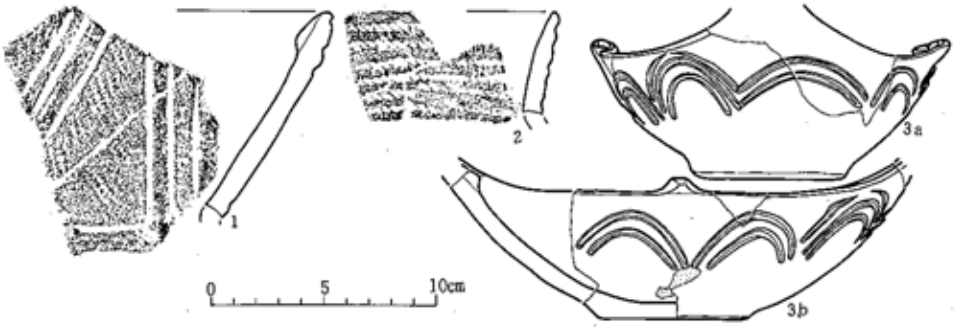
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・7層	深鉢・A(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，縦位貼付文，縦位沈線文〔貼付上〕，横位沈線文，斜位沈線文	219
2	CN86区・7層	深鉢・A(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縦条状沈線文	219
3	CN86区・7層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：小突起のつく平縁，縦位貼付文〔上端〕，横位沈線文，重弧状沈線文，胴部：半截竹管による刺突文	219
4	CN86区・7層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縦条状沈線文	219
5	CN86区・7層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，沈線に沿う刺突文	219
6	CN86区・7層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，刺突文，横位貼付文，瘤状圧痕〔貼付上〕	219
7	CN86区・7層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，縦位刻目文〔上端〕，横位平行沈線文	219
8	CN86区・7層，CN86区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)	口縁部：平縁，横位平行隆線文，縦位刻目文〔隆線上〕，弧状区画沈線文	219
9	CN86区・7層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	219
10	CN86区・7層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文	219
11a,b	CN86区・7層，CN86区・4層	深鉢・D(IIc2)4a	口縁部：波状縁，縦位刻目文〔波頂部〕，渦巻状隆線文，縄文（RL）	219
12	CN86区・7層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，楕円形貼付文，縄文(LR)〔隆線，貼付上〕，胴部：縄文（LR）	219
13	CN86区・北ベルト7層	深鉢・N5a	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文〔波頂部内面〕，縦位刻目文〔上端〕，斜条状沈線文，胎土：金雲母を多く含む	219
14	CN86区・7層	深鉢・N5a	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	219
15	CN86区・7層	深鉢・N5a	口縁部：「の」字状突起	219
16	CN86区・7層	深鉢・N9a	頸部：横位隆線文，胴部：区画沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	219
17	CN86区・7層	深鉢・F(II)1	胴部：区画隆線文，刻目文〔隆線上〕，隆線に沿う沈線文，縄文（Lr）結節文（両結び一類）	219
18	CN86区・7層，CO86区・北ベルト4層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，頸胴部：横位隆線文，隆線に沿う平行沈線文，弧状沈線文，胎土：金雲母を多く含む	219

第76図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・7層(4)）



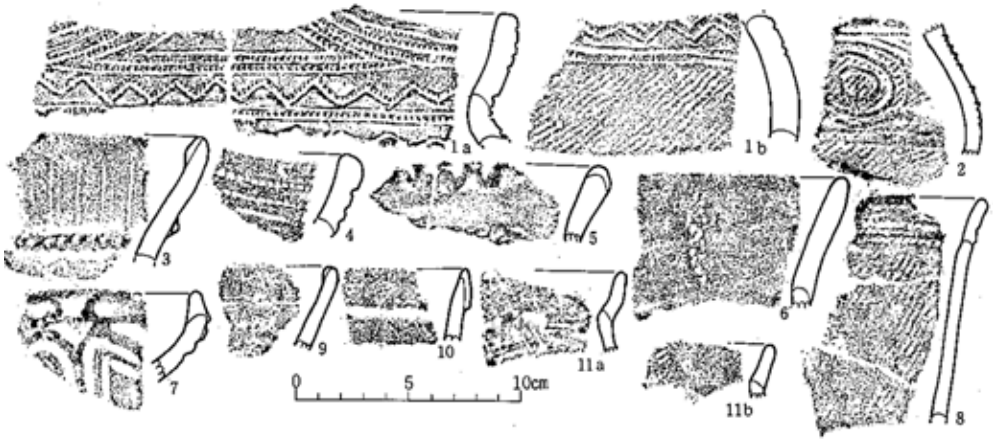
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・7層	深鉢・V4	口縁部：波状線、無文（ナデ）	220
2	CN86区・7層	深鉢・H5b	口縁部：区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）	220
3	CN86区・7層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平線、横位平行押圧縄文（RL）、連弧状押圧縄文（RL）	220
4	CN86区・7層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線、横位平行押圧縄文（LR）、縄文（LR）	220
5	CN86区・7層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状線、縦位押圧縄文（LR）（波頂部）、横位平行押圧縄文（LR）	220
6	CN86区・7層	深鉢・N5b	口縁部：横位押圧縄文(LR)、頸部：楕円形貼付文、胴部：横位平行押圧縄文(LR)、縦位押圧縄文(LR)	220
7	CN86区・7層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平線、縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）	220
8	CN86区・7層	深鉢・V3	口縁部：平線、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	220
9	CN86区・7層	深鉢・V3	口縁部：平線、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）結節文	220
10	CN86区・7層	深鉢・V4	口縁部：平線、縄文（LR）、胴部：（摩滅）	220
11	CN86区・7層	深鉢・V4	口縁部：突起のつく平線、無文（ナデ）胴部：無文（ナデ）	220
12	CN86区・7層	深鉢・V4	口縁部：平線、無文（ナデ）、胴部：無文（ナデ）	220
13	CN86区・7層	深鉢・W5	口縁部：平線、無文（ナデ）	220
14a,b	CN86区・7層	深鉢・N－	口縁部：小波状線、無文（ナデ）	220
15	CN86区・7層	深鉢・W－	口縁部：平線、無文（ナデ）	220
16	CN86区・7層	深鉢・V－	口縁部：平線、（摩滅）	220
17	CN86区・7層、CN86区・北ベルト2層	深鉢・N(?)－	口縁部：波状線、無文	220
18	CN86区・7層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：突起のつく平線、「の」字状貼付文（波頂部）、半截竹管による横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文、横位押圧縄文（RL）	220
19	CN86区・7層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平線、半截竹管による横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文、横位平行押圧縄文（LR）	220

第77図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・7層(5)）



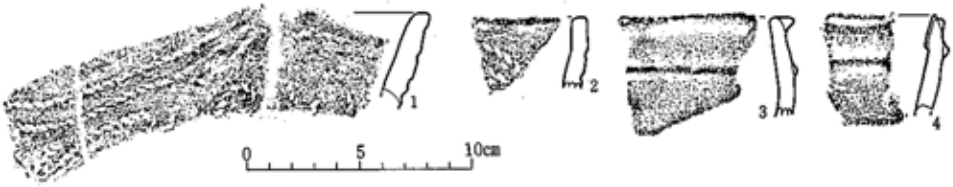
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・7層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	221
2	CN86区・7層上面	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（Lr）	221
3a,b	CN86区・7層上面	浅鉢・B2	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（上端），胴部：連弧状沈線文	42－2

第78図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・7層上面）



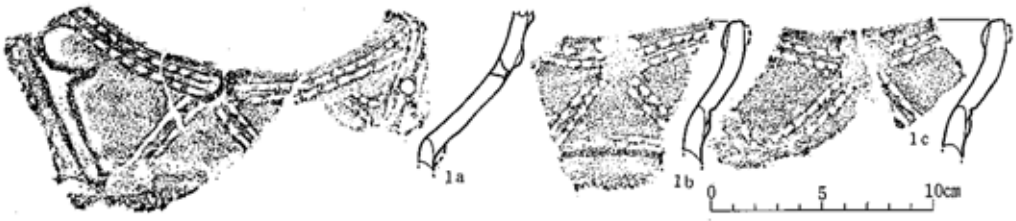
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CN86区・西ベルト6層，CN86区・5層	深鉢・N3	口頸部：波状線，口縁に沿う平行沈線文，横位平行沈線文，縦垂状沈線文，半截竹管による連続刺突文，胴部：縄文（LR）	221
2	CN86区・西ベルト6層	深鉢・H2a	胴部：横位平行粘土紐貼付文，円形粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文，縄文（LR）	221
3	CN86区・西ベルト6層	深鉢・R(I)－(?)	口縁部：平線，半截竹管による縦位平行沈線文，頸部：横位隆帯，半截竹管による刺突文（隆帯上），胴部（摩滅）粘土：金雲母を多く含む	221
4	CN86区・西ベルト6層	D(IIc2)1a	口縁部：波状線，弧状押引き文，隆巻状押引き文	221
5	CN86区・西ベルト6層	深鉢・N5b	口縁部：波状線，縦位刺目文（波頂部），胴部：横位押圧縄文（RL）	221
6	CN86区・西ベルト6層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（LR）結節文（片結び－逆）	221
7	CN86区・6層	深鉢・D(I)4b	口縁部：平線，「メ」字状貼付文，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	221
8	CN86区・6層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）	221
9	CN86区・6層	深鉢・E(I)11	口縁部：平線，無文	221
10	CN86区・西ベルト6層	深鉢・S11a	口縁部：平線，無文，胴部：無文	221
11a,b	CN86区・6層	深鉢・W3b	口縁部：波状線，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	221

第79図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・6層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・5～6層	深鉢・D(I)16a	口縁部：突起のつく平線，区画押圧縄文（LR）（摩滅）	221
2	CN86区・5～6層	深鉢・D(I)5a	口縁部：平線，弧状押圧縄文（LR）	221
3	CN86区・5～6層	深鉢・V3	口縁部：平線，横位平行隆線文，胴部：無文	221
4	CN86区・5～6層	深鉢・W5	口縁部：平線，横位平行隆線文，胴部：無文	221

第80図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・5～6層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b,c	CN86区・6～5層、CN85区・西ベルト4層、CN86区・4層	深鉢・D(IIa)4b	口縁部：波状縁、縦位隆線文、連弧状隆線文、「ょ」字状貼付文、区画押引き文、縄掻孔あり、胴部：横位隆線文、胴部：縄文（LR）、胎土：金雲母を多く含む	222

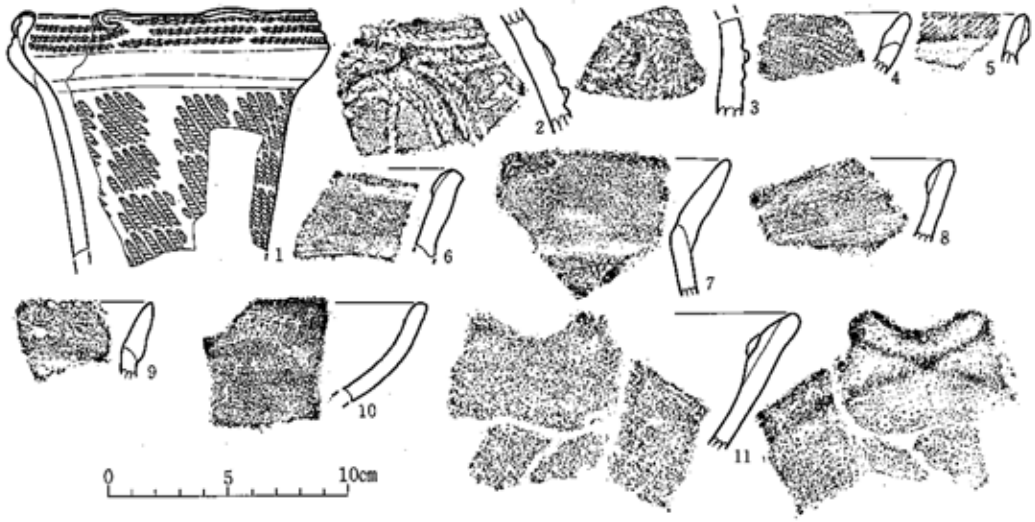
第81図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・6層上面）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・西ベルト5層	深鉢・N9a	胴部：弧状沈線文、渦巻状沈線文、縄文（LR）	222
2	CN86区・5層上面	深鉢・E(I)7	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）	222
3	CN86区・4～5層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁、口縁に沿う平行沈線文、「の」字状沈線文	222
4	CN86区・4～5層	深鉢・－	胴部：半截竹管による縦位平行沈線文	222
5	CN86区・4～5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（LR）結節文（片結び一類）	222

第82図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・5層）

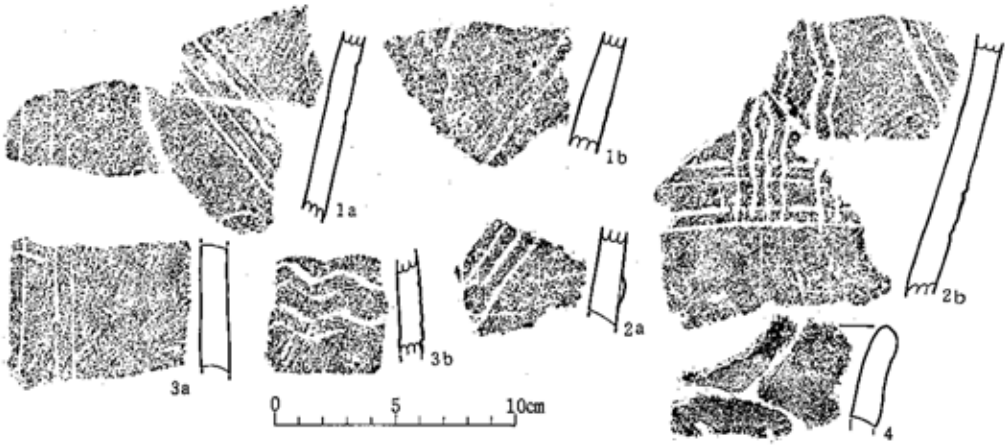
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・4層	深鉢・E(IIa)2a	口縁部：波状縁、縦位貼付文、指頭状圧痕（貼付上）、口縁に沿う沈線文、斜衝状沈線文、横位沈線文	222
2	CN86区・4層	深鉢・E(I)4b	口縁部：平縁、縦位貼付文、指頭状圧痕（貼付上）、横位平行沈線文、横位連続刺突文	222
3	CN86区・4層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁、口縁に沿う平行沈線文	222
4	CN86区・4層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁、波状粘土紐貼付文（波頂部）、横位隆線文、口縁に沿う沈線文、縄文（LR）（隆線上）	222
5	CN86区・4層	深鉢・J1a	胴部：弧状平行沈線文、縄文（Lr）	222
6	CN86区・4層	深鉢・N4a	胴部：横位隆線文、隆線に沿う沈線文、弧状沈線文、縄文（RL）	222
7	CN86区・4層、CN85区・西ベルト3層	深鉢・T1	口縁部：平縁、無文、胴部：横位隆線文、区画沈線文、弧状沈線文。	222
8	CN86区・4層	深鉢・K5	口縁部：平縁、口縁に沿う押圧縄文（RL）、区画隆線文、楕円形貼付文、隆線に沿う押圧縄文（RL）	222
9	CN86区・4層	深鉢・D(IIb)2	口縁部：波状縁、「V」字状隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）、区画押圧縄文（RL）、「の」字状貼付文（波頂部内側）	222
10	CN86区・4層	深鉢・D(I)8c	口縁部：平縁、区画隆線文、刺突文（隆線上）、隆線に沿う押圧縄文（LR）	222
11	CN86区・4層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（Lr）	222
12	CN86区・4層	深鉢・E(I)1a	口縁部：波状縁、指頭状圧痕（上端）、横位平行縄文（LR）	222
13	CN86区・4層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（Lr）	222
14	CN86区・4層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁、口縁に沿う押圧縄文（LR）	222

第83図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・4層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・4層	深鉢・K6	口縁部：突起をもつ平縁，「の」字状貼付文（上端），横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	43－1
2	CN86区・4層	深鉢・N4b	胴部：区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文(Lr)，弧状押圧縄文(Lr)，三叉状押圧縄文(Lr)	223
3	CN86区・4層	深鉢・N－	胴部：渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），縄文（Lr）	223
4	CN86区・4層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（RL）	223
5	CN86区・西ベルト4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr）	223
6	CN86区・4層	深鉢・V2	口縁部：波状縁，無文	223
7	CN86区・4層	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	223
8	CN86区・4層	深鉢・V2	口縁部：波状縁，無文	223
9	CN86区・4層	深鉢・W5	口縁部：波状縁，無文	223
10	CN86区・4層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	223
11	CN86区・4層	浅鉢・B3	口縁部：突起のつく波状縁，（摩滅）	223

第84図　東側遺物包含層出土土器　（CN86区・4層(2)）

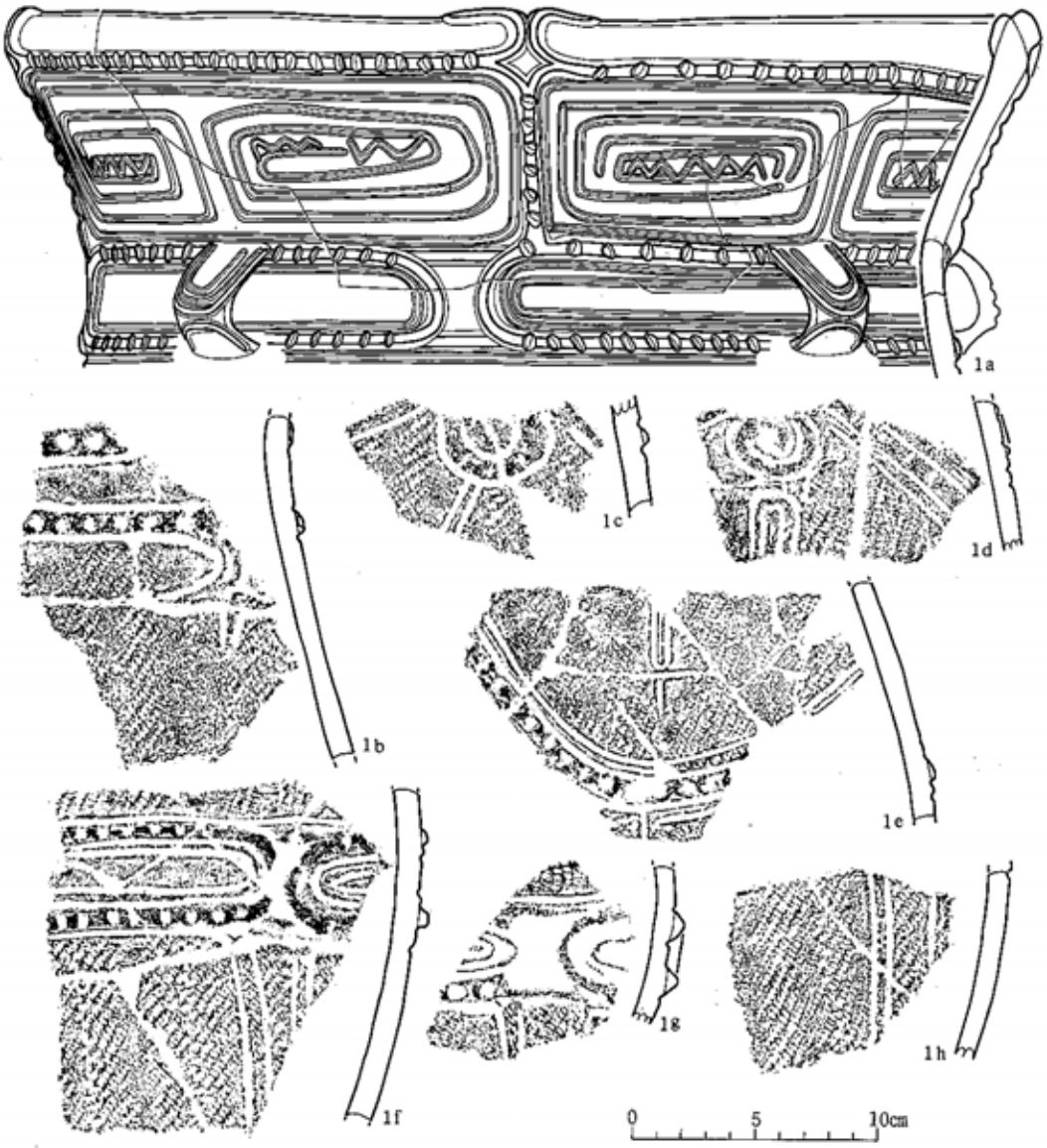


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CN86区・4層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	223
2a,b	CN86区・4層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，円形貼付文，縄文（LR）	223
3a,b	CN86区・4層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（Lr）	223
4	CN86区・3～4層上面	深鉢・W2b(？)－	口縁部：平縁，無文	223

第85図　東側遺物包含層出土土器（CN86区4層上面(1)）

押圧縄文、半截竹管による連続刺突文が施されている。

第90図8～9、第91図2：口縁部破片で隆線文によって文様が施される土器である。

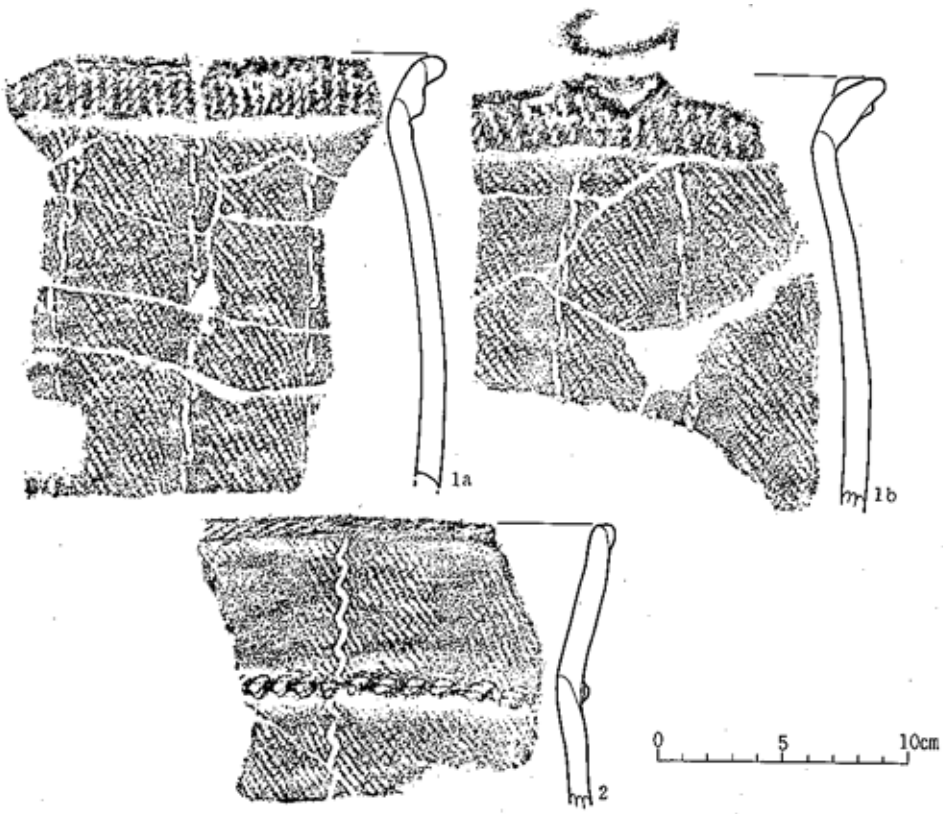


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a-h	CN86区・4層上面、 CN86区・4層、 CN86区・3層、 CN86区・2～4層、 CP86区・2～3層、 CN85区・ピット3層、 CN86区・2層、 CO86区・3層	深鉢・F(Ⅰ)4	口縁部：平縁、「く」字状貼付文、区画隆線文、刻目文（隆線上）、隆線に沿う沈線文、鋸歯状沈線文、胴部：横位平行隆線文、「く」字状貼付文、刻目文（隆線上）、楕円形、区画隆線文、渦巻隆線文、刻目文（隆線上）、隆線に沿う沈線文、渦巻状沈線文、結束（無1種）縄文（RL×RL）、懸垂沈線文（下部）	43－5 224

第86図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・4層上面(2)）

第 91 図 3、5：隆線文に刻目文が施される土器である。5 は胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形である。

第 91 図 4：頸部がゆるい「く」字状にくびれると思われる口頸部破片である。口縁部は横位



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CN86区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)2a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起上），「V」字状隆線文，縦位押圧縄文(LR)（上端），縦位押圧縄文（LR），結節；縄文（LR）結節文（斜めぴー線）。	225
2	CN86区・4層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（斜めぴー線），頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（LR）（隆帯上），"胴部：縄文（LR）結節文（斜めぴー線）	225

第87図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・4層上面(3)）

押圧縄文と指頭状圧痕が施され、頸部帯上には縦位押圧縄文が施されている。

第91図6：胴部破片である。懸垂隆線文が施されている。

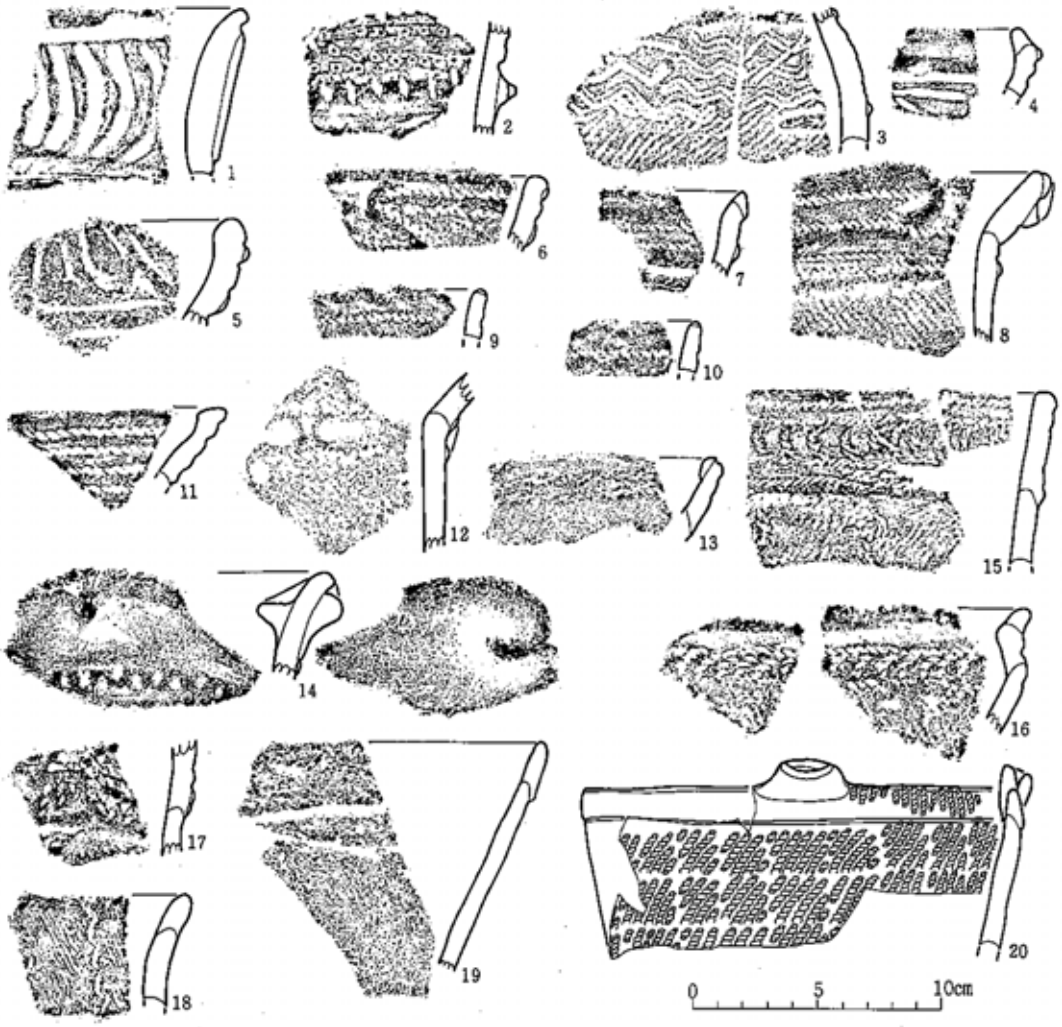
第91図7～8：口縁部破片で文様意匠は施されていない。

第Ⅰa層（第1層）：第92図

第92図1：胴部破片で、沈線文、刺突文が組みあって施されている。文様構成は明らかではない。

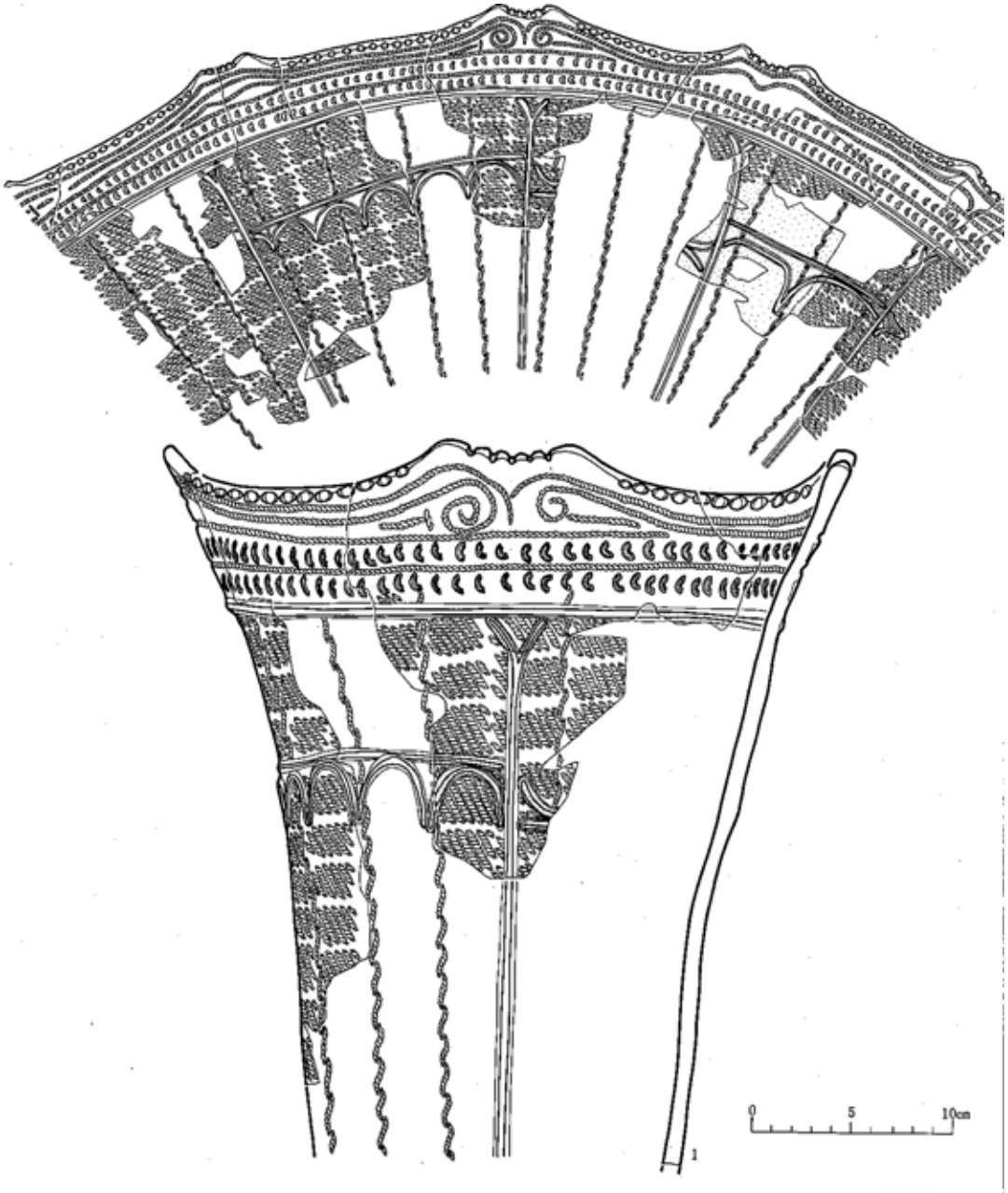
第92図2～4：口縁部破片で、沈線文が施されるものである。2の波頂部は圭頭状を呈し、菱形の沈線文が施されている。4は、口縁部に沿う隆線文と沈線文が施されている。

第92図5：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形と思われる。胴上部に隆線文・沈線文が施されている。



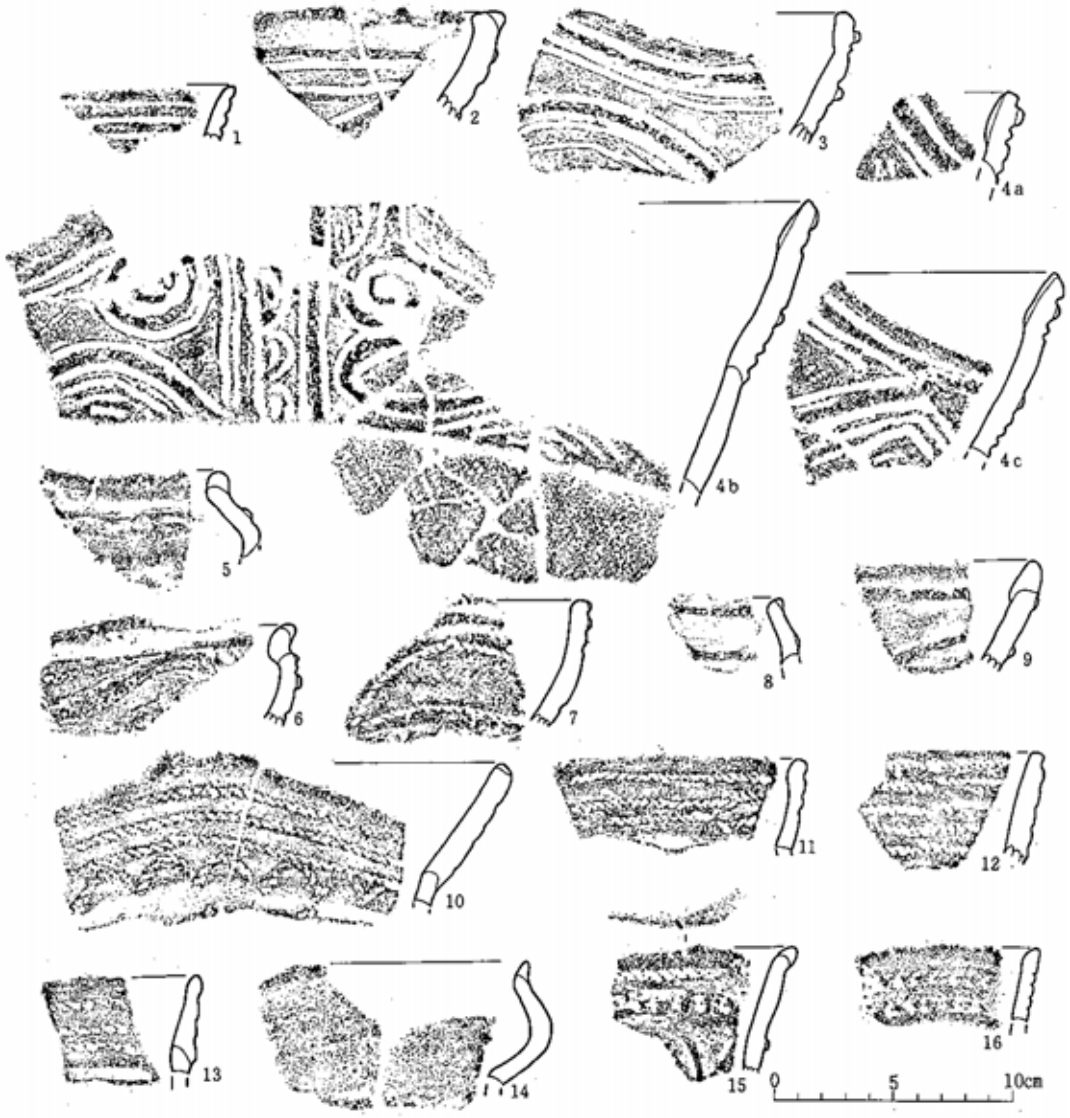
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・3層	探鉢・A(II)4	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，円形状沈線文	225
2	CN86区・3層	探鉢・S2	口縁部：横位平行沈線文，円形竹管文（沈線内），頸部：横位隆帯，縦位刻目文，胴部：無文	225
3	CN86区・3層	探鉢・H—	頸部：横位隆帯，胴部：半截竹管による波状沈線文，縄文（Lr）	225
4	CN86区・西ベルト3層	探鉢・L7	口縁部：平縁，口縁に沿う隆線文，区画沈線文	225
5	CN86区・北ベルト3層	探鉢・D(IIa)4—	口縁部：波状線，区画隆線文，弧状隆線文，隆線に沿う沈線文，	225
6	CN86区・3層	探鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	225
7	CN86区・北ベルト3層	探鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行押圧縄文（LR），隆線に沿う沈線文	225
8	CN86区・3層	探鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，「の」字状貼付文，横位平行押圧縄文（LR），頸部：横位平行押圧縄文(LR)，横位隆線文 胴部：縄文（LR）；地土：金雲母を多く含む	225
9	CN86区・北ベルト3層	探鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状線，指頭状押圧（上端），横位押圧縄文（Lr）	225
10	CN86区・西ベルト3層	探鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状線，指頭状押圧（上端），横位押圧縄文（LR）	226
11	CN86区・西ベルト3層	探鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	226
12	CN86区・3層	探鉢・D—	口縁部：横位平行押圧縄文（LR），頸部：「ｘ」字状貼付文，胴部：横位押圧縄文（LR），縄文（LR）	226
13	CN86区・北ベルト3層	浅鉢・A4b	口縁部：平縁，横位押圧縄文（RL）（上端），横位平行押圧縄文（RL）（上部）	226
14	CN86区・西ベルト3層	探鉢・N—	口縁部：波状線，「V」字状貼付文（波頂部），「の」字状貼付文（波頂部内面），頸部：横位隆帯，交叉刻目文	226
15	CN86区・3層	探鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Rｌ），縦位弧状押圧縄文（Rｌ），胴部：縄文（Rｌ）結節文（二重結びか）	226
16	CN86区・3層	探鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，胴部：横位押圧縄文（Lr），縦位弧状押圧縄文（Lr），縄文（Lr）	226
17	CN86区・3層	探鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：区画隆線文，押圧縄文（LR），胴部：縄文（Lr）	226
18	CN86区・3層	探鉢・W3b	口縁部：波状線，縄文（Lr）結節文（片結び一周）	226
19	CN86区・3層	探鉢・S11a	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	226
20	CN86区・ベルト3層	探鉢・S10b	口縁部：突起のつく平縁，内側状貼付文（上端），縄文（RL），胴部：縄文（RL）	226

第88図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・3層）



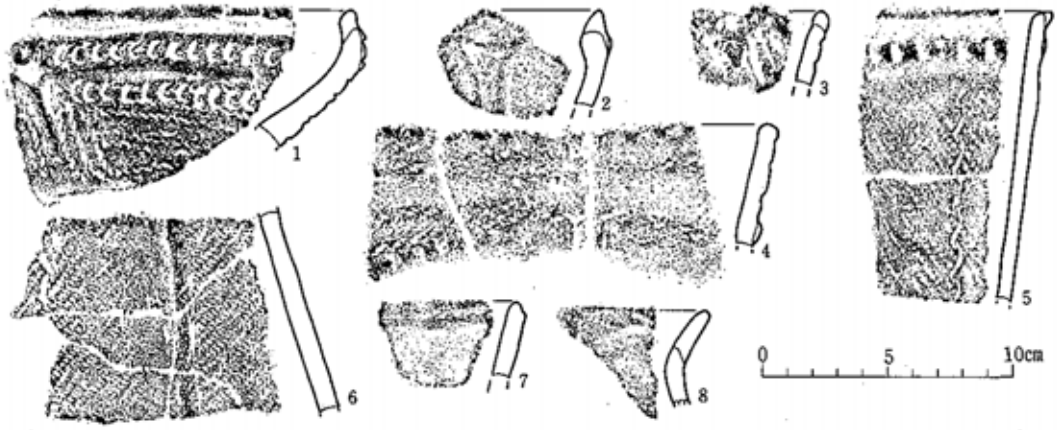
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・3層上面	深鉢・D(Ⅱc2)4b	口縁部：強屈曲、縦位列点文（波頂部）、横位沈線（上端）、弧状押圧縦文(Le)、縦整位押圧縦文(Lr)、横位平行押圧縦文（Lr）、平行押圧による連続列点文、胴部：横位隆帯、胴部：(Y)平行隆帯縦隆文、横位隆帯文、連続状隆帯文、縦文（LR）単節文（平行ぴー線）	44－1

第89図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・3層上面）



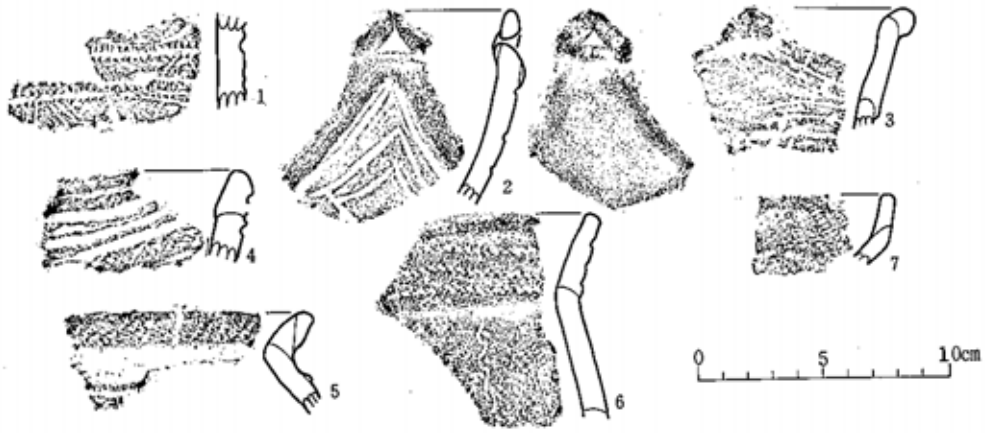
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平線，平行沈線文	226
2	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：平線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	226
3	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	226
4abc	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文，縄文(LR)，胴部：縄文(LR)	226
5	CN86区・北ベルト2層	深鉢・L4c	口縁部：波状線，横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	226
6	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	226
7	CN86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平線，弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	226
8	CN86区・北ベルト2層	深鉢・N6b	口縁部：波状線，口縁に沿う隆線文	226
9	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)10b	口縁部：平線，区画隆線文	226
10	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：突起のつく平線，縦位押圧縄文（LR）（突起），横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文(LR)結節文（片縄ひも）原	226
11	CN86区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（Lr，Rl）	226
12	CN86区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（Lr）	227
13	CN86区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（LR）	227
14	CN86区・北ベルト2層	深鉢・L9	横位平行押圧縄文（摩滅）	227
15	CN86区・西ベルト2層	深鉢・S5C	口縁部：突起のつく平線，「の」字状貼付文，横位押圧縄文（LR），横位連続刺突文，胴部：「Y」字状隆帯隆線文	227
16	CN86区・北ベルト2層	深鉢・S5C	口縁部：平線，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による刺突文	227

第90図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁，横位隆線文，円形貼付文，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），半截竹管による刺突文	227
2	CN86区・ベルト2層	深鉢・D(IIb)2(？)	口縁部：波状縁，（金箔状），区画隆線文	227
3	CN86区・北ベルト2層	深鉢・S—	口縁部：突起のつく平縁，区画隆線文，縦位刺目文（隆線上），沈線文	227
4	CN86区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：波状縁，複頭状突起（上端），横位押圧縄文（RL），頸部：横位隆帯間横位押圧縄文（RL）（隆帯上）	227
5	CN86区・北ベルト2層	深鉢・S5b	口縁部：平縁，頸部：横位隆帯，刺突文（隆線上），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	227
6	CN86区・北ベルト2層	深鉢・E—(？)	胴部：懸垂隆線文，縄文（RL）	227
7	CN86区・北ベルト2層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	227
8	CN86区・2層	深鉢・W5	口縁部：平縁，縄文（RL）（摩滅）	227

第91図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・2層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN86区・1層	深鉢・H5	胴部：沈線文，刺突文（沈線両端），結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一環）	227
2	CN86区・1層	深鉢・D(IIa)2	口縁部：突起のつく波状縁，金箔状貼付文（波頂部），口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文	227
3	CN86区・1層	深鉢・D(IIa)—	口縁部：突起のつく波状縁，半截竹管による平行沈線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	227
4	CN86区・1層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	227
5	CN86区・1層	深鉢・N4a(？)	口縁部：平縁，縄文（LR），頸部：無文，胴部：横位隆線文	227
6	CN86区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	227
7	CN86区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	227

第92図　東側遺物包含層出土土器（CN86区・1層）

第 92 図 6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 92 図 7：口縁部破片である。縄文が施されている。

ＣＯ86 区

第Ⅴｃ層（第８層）：第 93 図 1～3

第 93 図 1～3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。1 は、円環状の突起が付され、環状の押圧縄文が加えられている。2 は、口縁部に山形状沈線文、円形の盲孔、頸部に横位隆帯、半截竹管による横位・鋸歯状平行沈線文が施されている。3 は口縁部下端に半截竹管による連続刺突文が施されている。

第Ⅴｂ層（第７層）：第 93 図 4

第 93 図 4：胴中位でつよく外反し、胴上部から口縁部にかけて内弯しながら外傾する器形である。胴下部は、ほぼ直立する形状と思われる。口縁部は内外面ともに文様が構成されており、口縁に沿って粘土紐が 5～6 帯貼付され、その上に半截竹管による押引きが加えられている。同様の文様が胴上部では横位に、胴下部では縦位に展開している。

第Ⅴｂ層上面（第７層上面）：第 94 図 1

第 94 図 1：頸部にごくわずかなくびれ部をもち、胴部から口縁部にかけてほぼ直立する器形である。無文。

第Ⅴａ層（第６層）：第 94 図 2～14、第 95 図

第 94 図 2～5：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。2 は口縁部の上部と下部に連続刺突文が施され、頸部には半截竹管による横位平行沈線文が施されている。5 は口縁部に巾広の粘土帯を貼付した後に、押圧縄文を施している。

第 94 図 6～7：頸部と胴中位にくびれ部をもつ器形と思われる。6 は半截竹管による押引き文が渦巻状・弧状に施されている。7 は口縁部・胴上部に文様が構成されている。

第 94 図 8：口縁部破片である。口縁に沿って無文帯が設けられている。

第 94 図 9～12：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部はゆるやかに内弯しながら外傾する器形である。9、10 が細い粘土紐貼付文によって、11、12 が沈線文によって文様が構成されている。

第 94 図 13〜14、第 95 図 1〜6：口縁部〜胴部破片で、隆線文や沈線文が施されている。文様構成は明らかではない。

第 95 図 7：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾し、胴部が膨む器形である。無文である。

第Ⅴa層上面（第6層上面）：第 96 図〜第 98 図

第 96 図 1：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。口縁部の文様は、波状隆線文・沈線文が施されている。

第 96 図 2〜4：口縁部〜胴部破片である。隆線文や沈線文が施されている。文様構成は明らかではない。

第 96 図 5〜6：胴底部資料である。胴部はいずれも縄文が施されている。

第 97 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾し、胴上部で膨む器形である。胴部には、縄文結節文が施されている。

第 97 図 2：頸部でゆるやかに外反し、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。口縁部には弧状の区画隆線文・沈線文が施されている。地文は撚り戻し縄文である。

第 98 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾し胴部が膨む器形である。口縁部・胴部ともに、懸垂状・弧状の沈線文が施されている。

第 98 図 2〜3：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。3 には頸部隆帯、「Y」字状懸垂隆線文が施されている。

第Ⅲb層（第5層）：第 99 図〜第 102 図

第 99 図 1〜2：頸部がくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。半截竹管が用いられ、渦巻文が施されている。

第 99 図 3〜4：口縁部破片である。山形状沈線文と半円弧状沈線文が施されている。

第 99 図 5〜6：口縁部破片である。沈線文が施されている。文様構成は明らかではない。

第 99 図 7〜14、第 100 図 1、第 101 図 1〜4：文様が隆線文・沈線文によって構成される土器である。第 99 図 7〜9、第 100 図 1、第 101 図 2〜4 は平縁と思われる。第 99 図 10〜12、第 101 図 1 は弁状を呈する波状縁、第 99 図 14 は圭頭状を呈する波状縁である。各々弧状の区画文が設けられ、区画内に渦巻状、連弧状文などが構成されている。

第 101 図 5〜8、10〜13、第 102 図 1〜7：文様意匠の施されない土器である。口縁部が複合口縁状から頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。

第 102 図 10〜13：押圧縄文が施される口縁部破片である。横位平行押圧縄文、連弧状押圧縄

文が口縁部に施されている。

第 102 図 14：口縁部破片である。口縁に沿う沈線文、波状沈線文が施されている。

第 100 図 2：鉢形土器である。胴上部が膨み、口縁部が短く直立する器形である。口縁部はミガキ調整の施された後に、朱彩が施されている。胴上部は隆線文によって文様が構成されている。

第 101 図 9：浅鉢形土器である。口縁部は「x」字状区画隆線文、胴部は「Y」字状懸垂隆線文が施されている。

第 102 図 9：台付浅鉢形土器と思われる。台部にあたるものと思われ、長楕円形の窓が配されている。

第IIIb層上面（第 5 層上面）：第 103 図

第 103 図 1：口縁部から胴部にかけての破片資料である。口縁部は区画隆線文・沈線文が施されている。

第III´層（第 4 層）：第 104 図～第 106 図

第 104 図 1～2：口縁部破片である。文様構成は明らかではない。沈線文が施されている。

第 104 図 3～4：口縁部の形状が四波状の弁状を呈するものと思われる。波頂部から垂下する懸垂隆線文を軸として弧状・楕円形状の区画文が構成され、さらに隆線に沿って沈線文・交互刺突文が施されている。

第 104 図 5～8、第 105 図 1～5：隆線文や沈線文による文様が、胴部にも構成される土器である。第 104 図 6 は胴上部に相対する弧状文が構成されている。第 105 図 5 は頸胴部に 4 単位の横位平行沈線文、「x」字状沈線文、馬蹄形状沈線文が施されている。他の文様構成は、明らかではない。

第 106 図 1～9：口縁部が内弯気味に外傾する器形である。1～5 の口縁部には、弧状の区画隆線文と渦巻文が施され、押圧縄文が加えられている。6～9 の口縁部は押圧縄文によって構成されている。

第 106 図 10：口縁部破片である。頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。

第 106 図 11：口縁部破片である。弧状の貼付文と縦位押圧縄文が施されている。

第 106 図 12～18：文様意匠の施されない土器である。頸部がゆるい「く」字状にくびれるものから口縁部が複合口縁状をなすものが認められる。

第Ⅱb層（第3層）：第107図～第109図

第107図1～2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。1は半截竹管による押引き文、2は山形状・渦巻状・弧状沈線文が施されている。

第107図3：胴部破片である。文様構成は明らかではない。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第107図4～12：隆線文・沈線文によって文様が構成されている土器である。文様構成は明らかではない。

第107図13～14：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。四波状を呈し、波頂部には縦位刻目文、押圧縄文が施されている。

第107図16～18、第108図1～3、5～7：押圧縄文が施されている土器である。頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形と思われる。区画隆線文に沿って押圧縄文が施されるものと、押圧縄文のみによって構成されるものとがある。

第108図13～24、第109図1～2：文様意匠が施されない土器である。頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形から口縁部が複合口縁状を呈する器形までが含まれる。

第109図3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形と思われる。口縁に沿って2本の隆帯が設けられ、隆帯上には刻目文が連続して施されている。口縁下部には弧状沈線文が施されている。突起内面には、弧状隆線文が施されている。

第107図15：浅鉢形土器と思われる。横位平行沈線、交互刺突文が施されている。

第108図11～12：浅鉢形土器である。12は頸部隆帯が貼付されている。

第Ⅱa層（第2層）：第110図

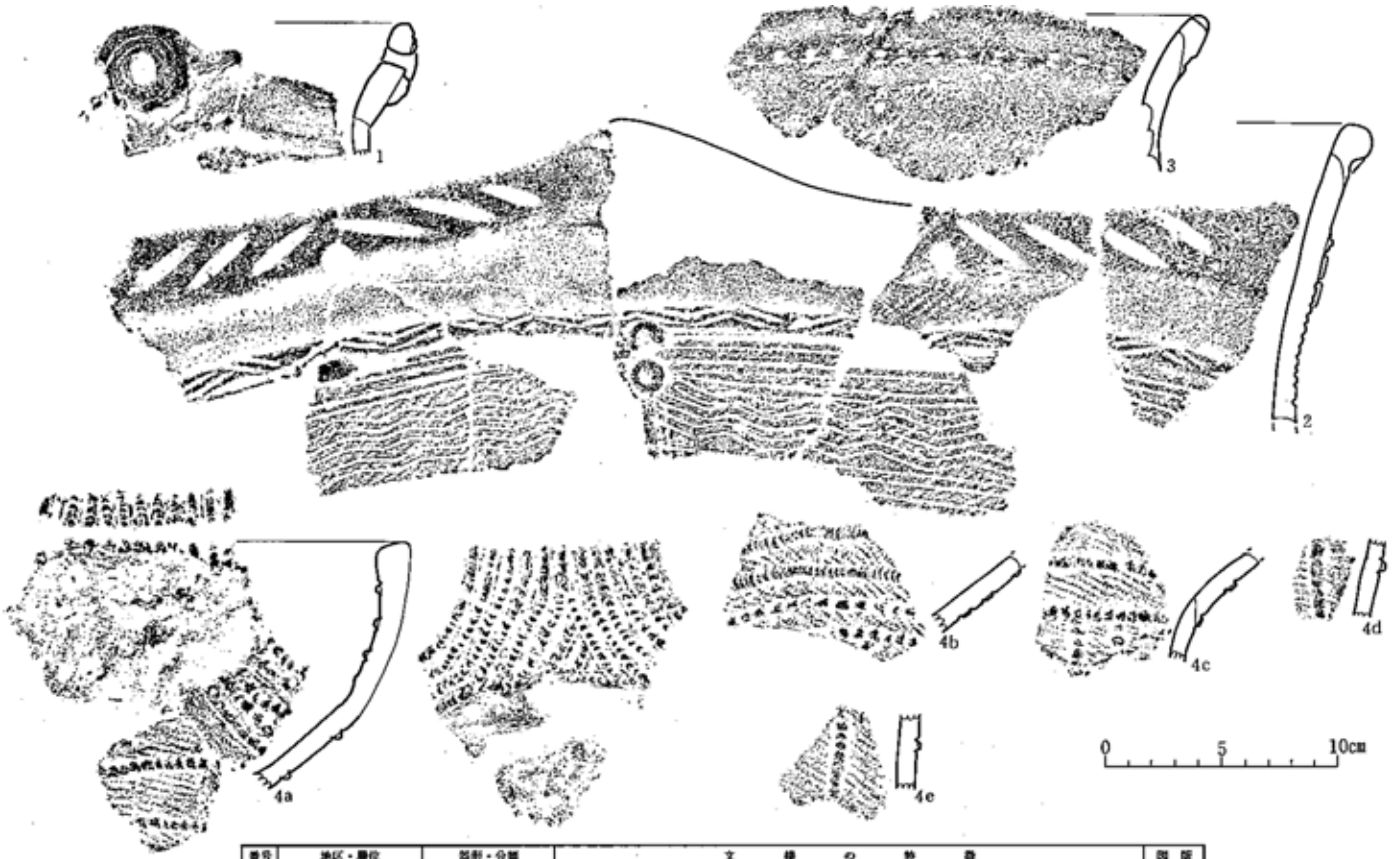
第110図1：口縁部破片である。円形の盲孔が横位に連続して施されるものと思われる。

第110図2：口縁部破片である。弧状の区画隆線文と沈線文が施されている。

第110図3～10：口縁部破片で、押圧縄文の施されている土器である。口縁部は外傾ないしは内弯気味に外傾している。5 はキャリパー状器形と思われる。弧状の区画隆線文と押圧縄文あるいは押圧縄文のみによって文様が構成されている。8 は波頂部に渦巻状の隆線文が貼付されている。

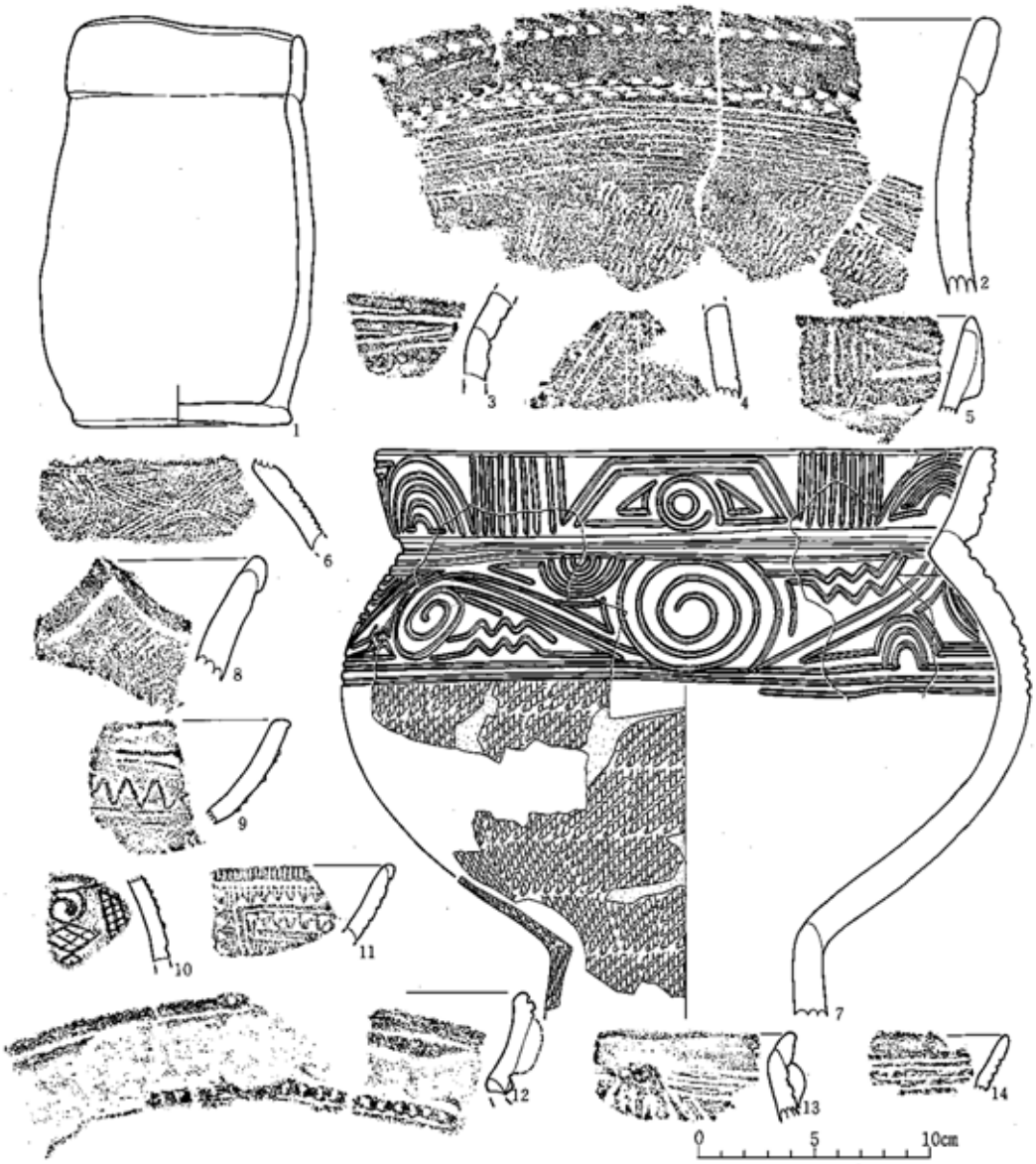
第110図11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形と思われる。口縁部には弧状の沈線文が描かれている。

第110図12～13：文様意匠の施されない土器である。



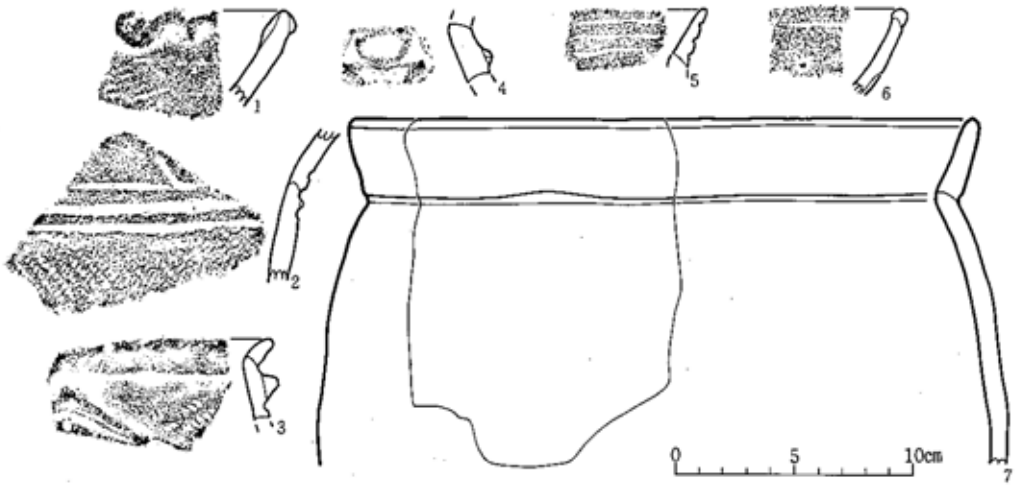
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・8層	深鉢・A(I)−	口縁部：突起のつく平縁，円形貼付文，円形異通孔。鋸歯状押圧縄文(Lr)(貼付上)，沈線文，（剥落部あり）	228
2	CO86区・8層， CO86区・7層， CO86区・6層， CO86区・北ベルト6層	深鉢・A(II)2	口縁部：波状縁，円形の窪み，山形状隆沈線文，鎖部：横位隆帯，鋸歯状押沈線文（隆線上），円形貼付文，半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	228
3	CO86区・8層	深鉢・S9a	口縁部：小波状部のつく平縁，隆線状肥厚（上端），半截竹管による刺突文（下端），胴部：縄文（LR），（摩滅）	228
4a-e	CO86区・7層， CO78区・5層， CO85区・北ベルト3層， CP86区・北ベルト2層， CP85区・西ベルト1層	深鉢・H4	口縁部：波状縁，口縁に沿う粘土紐貼付文（内外面），半截竹管による押引き文（貼付上），縄文（RL）胴部：区画粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（隆線上），縄文（RL）（剥落部あり）	228

第93図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・8層，7層）



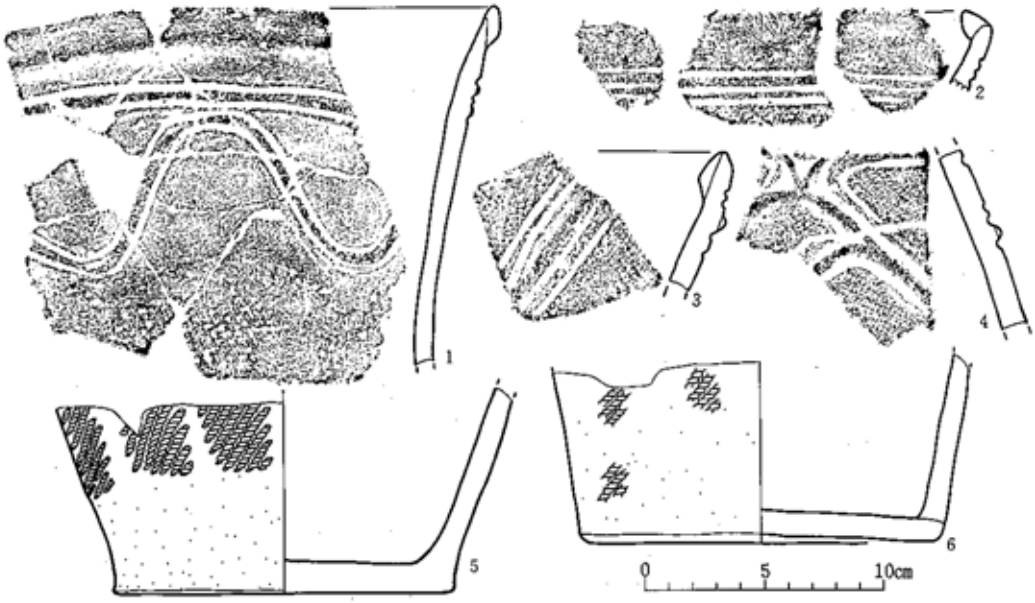
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・7層上面、CO86区・6層、CO86区・5層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文、底部：無文	43－2
2	CO86区・西ベルト6層	深鉢・A(Ⅰ)d	口縁部：平縁、半截竹管による刻突文（端部）、頸部：半截竹管による刻突文、半截竹管による横位平行沈線文、胴部：縄文（Lr）	228
3	CO86区・北ベルト6層	深鉢・A(Ⅱ)－	口縁部：横位沈線文、胴部：縄文（RL）	228
4	CO86区・北ベルト6層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文、縄文	228
5	CO86区・北ベルト6層	深鉢・A(Ⅰ)1－	口縁部：平縁、区画粘土帯貼付文、押圧縄文（LR）〔貼付上〕	228
6	CO86区・北ベルト6層	深鉢・H2a－	胴部：半截竹管による渦巻状押引き文、半截竹管による区画押引き文	228
7	CO86区・西ベルト6層	深鉢・H2a	口縁部：平縁、渦巻状沈線文、重弧状沈線文、縦位沈線文、区画沈線文、胴部：横位平行沈線文、渦巻状沈線文、鎖状沈線文、区画沈線文、縄文（LR）	44－2
8	CO86区・西ベルト6層	深鉢・S－	口縁部：波状線、胴部：縄文（Lr）	228
9	CO86区・西ベルト6層	深鉢・H5b	口縁部：平縁、横位平行粘土紐貼付文、鋸歯状粘土紐貼付文	228
10	CO86区・北ベルト6層	深鉢・H6b	胴部：渦巻状粘土紐貼付文、格子目状粘土紐貼付文	228
11	CO86区・6層	深鉢・H2b	口縁部：平縁、縦位刻目文（端部）、区画沈線文、刻目文、三角形の彫出	228
12	CO86区・西ベルト6層	深鉢・H2b	口縁部：突起のつく平縁、横位平行沈線文、横状把手（斜落）、頸部：横位隆帯、縦位刻目文〔沈線上〕	228
13	CO86区・6層	深鉢・S4b	口縁部：平縁、無文、胴部：円形貼付文、半截竹管による平行沈線文	228
14	CO86区・西ベルト6層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、半截竹管による平行沈線文	228

第94図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・7層上面・6層(1)）



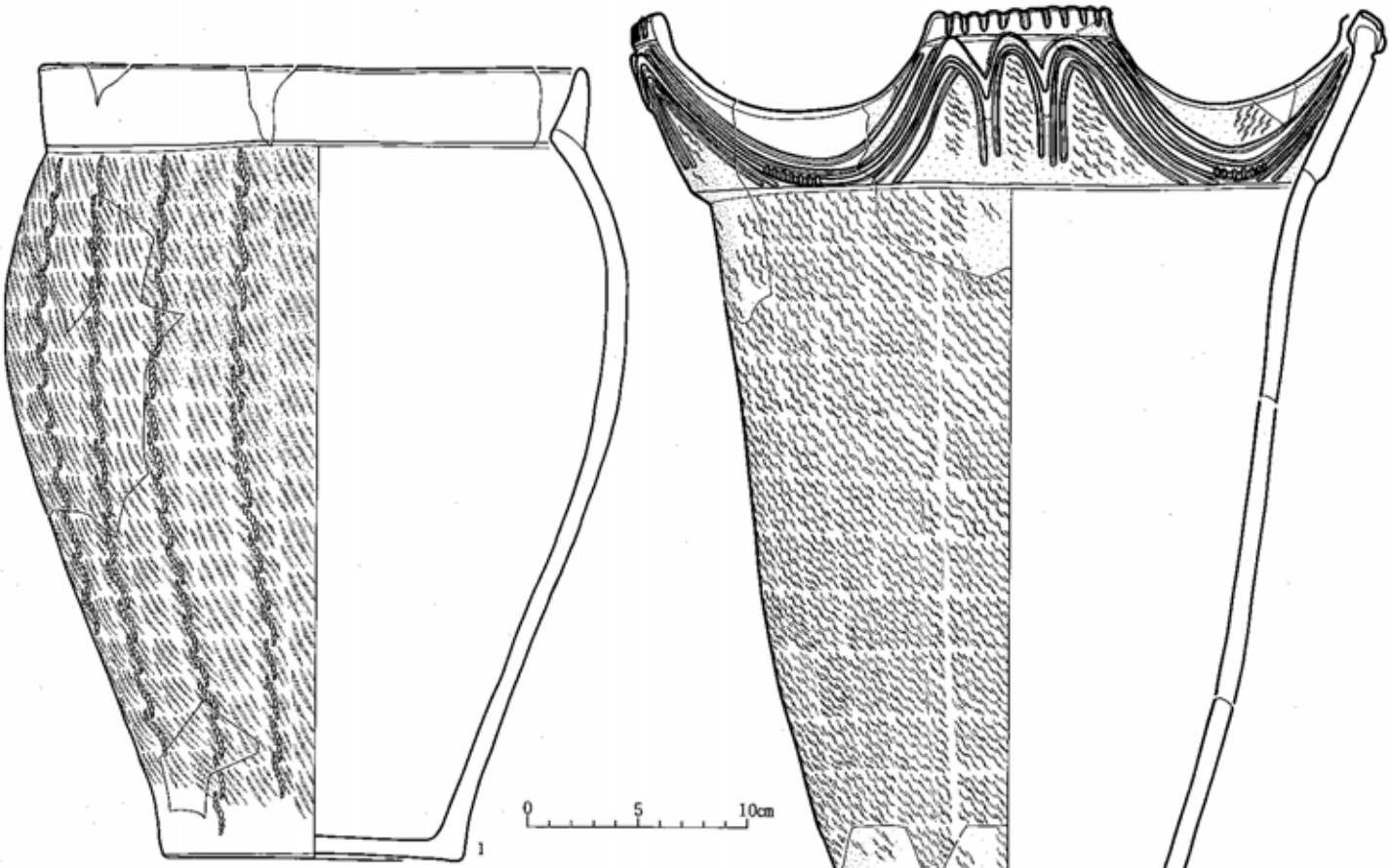
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・6層	深鉢・V or W－	口縁部：波状線，渦巻状貼付文（波頂部），縄文（LR）	229
2	CO86区・6層	深鉢・D(IIc$_2$)1a	口縁部：区画沈線文，縄文（RL），頸部：横位隆帯，横位平行沈線文，胴部：縄文（RL）	229
3	CO86区・6層	深鉢・N7a	口縁部：平線，無文，胴部：楕円形貼付文，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	229
4	CO86区・6層	深鉢・N7a	胴部：円環状粘土隆貼付文，区画隆線文	229
5	CO86区・6層	深鉢・D(I)1a	口縁部：平線，横位平行沈線文	229
6	CO86区・西ベルト6層	浅鉢・D(I)1a	口縁部：平線，口縁に沿う沈線文，（厚底）	299
7	CO86区・6層，CO86区・5層	深鉢・V4	口縁部：平線，無文，胴部：無文	229

第95図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・6層(2)）



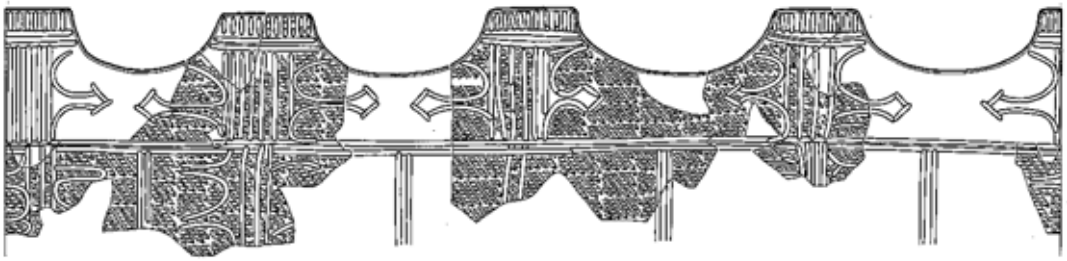
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・6層上面	深鉢・S8	口縁部：平線，無文，（上部），横位隆線文，波状隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（LRL）	229
2	CO86区・6層上面	深鉢・D(I)1a	口縁部：平線，横位平行沈線文	229
3	CO86区・6層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	229
4	CO86区・6層上面	深鉢・F(I)1	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	229
5	CO86区・6層上面	深鉢・－	胴部：縄文（RL），底部：無文	
6	CO86区・6層上面	深鉢・－	胴部：縄文（RL），底部：胴代	

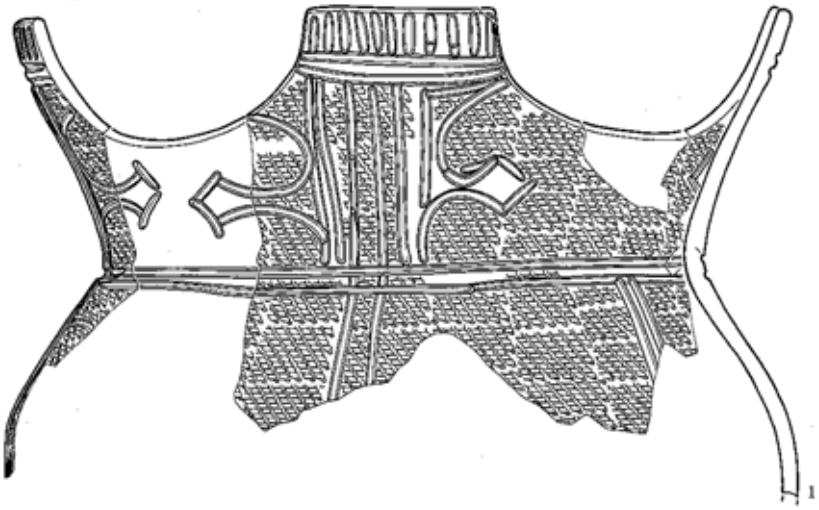
第96図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・6層上面(1)）

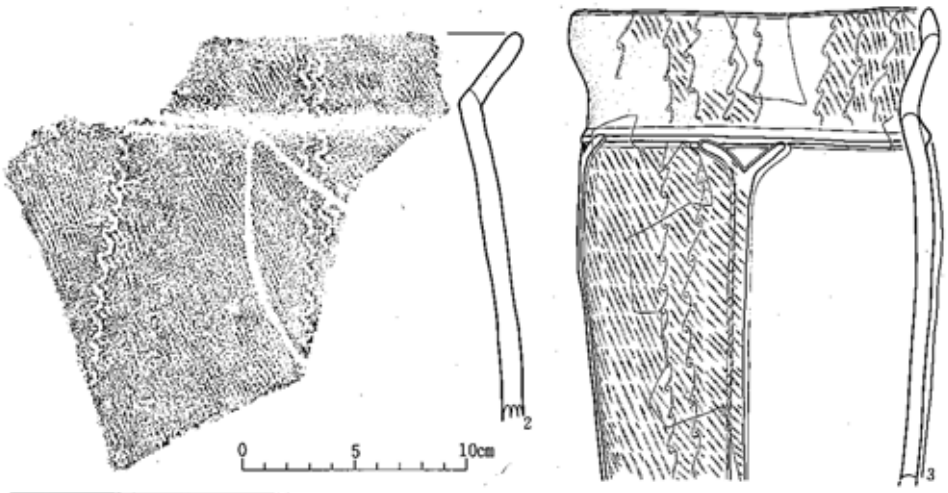


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・6層上面、 CO86区・6層、 CO86区・5層、 CP86区・4層	深鉢・V2	口縁部：平縁、無文（ナデ）、胴部：縄文（Lr）結節文（両結び一部）	45－2
2	CO86区・6層上面、 CN86区・7層、 CN86区・7層、 CO86区・6層、 CN86区・6層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁、波状対弧文（波頂部）、区画隆線文、波状対弧文（隆線上）、隆線に沿う沈線文、縄文(L.L)、胴部：縄文（L.L）	46－2

第97図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・6層上面(2)）

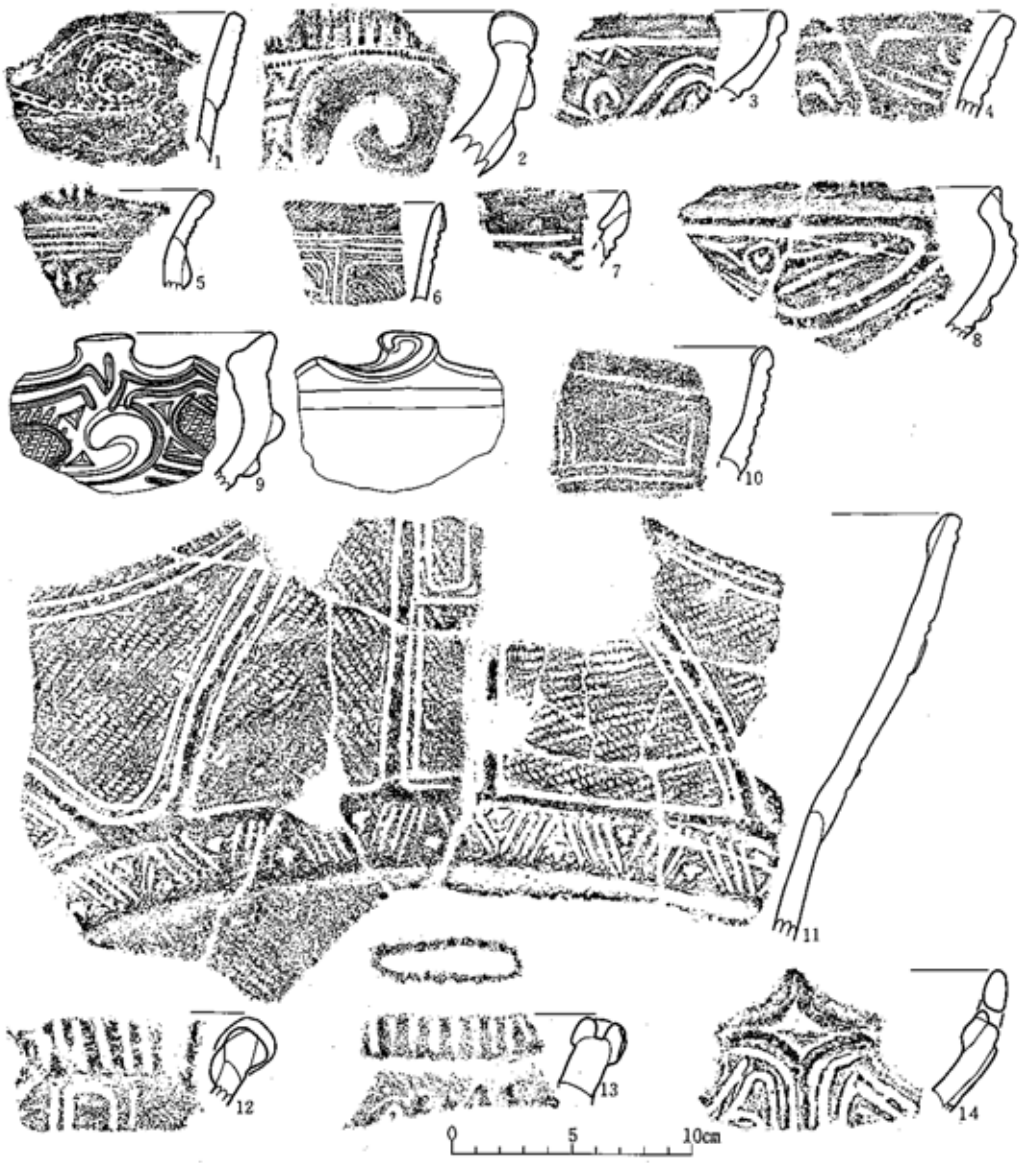






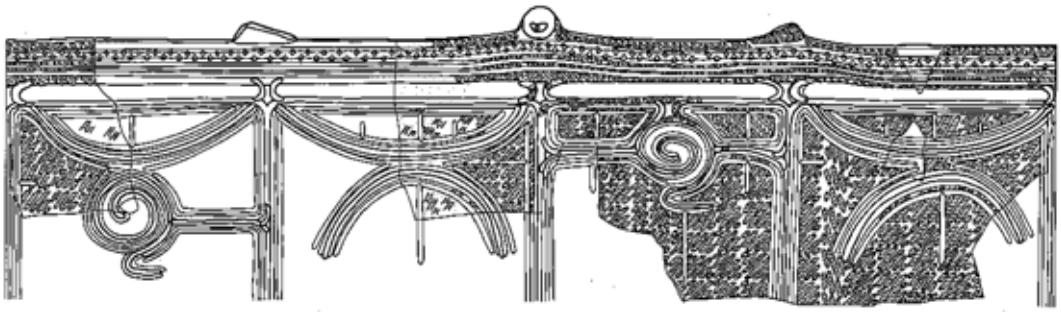
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・6層上面、CP86区・4層、CP86区・3層、CO86区・西ベルト2～4層	深鉢・J1a	口縁部：波状縁、網目状撚糸文（波頂部）、区画沈線文、弧状沈線文、縄文（LR）、胴部：横位平行沈線文 胴部：区画沈線文、縄文（LR）	45－1
2	CO86区・6層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁、縄文（LR）結節文（両結び一原）、胴部：縄文（LR）結節文（両結び一原）	229
3	CO86区・6層上面、CO86区・6層、CO86区・5層	深鉢・R(Ⅰ)4	口縁部：平縁、縄文（Lr）結節文（片結び一原）、胴部：横位隆線文、「Y」字状撚糸隆線文、縄文（Lr）結節文（片結び一原）	43－4

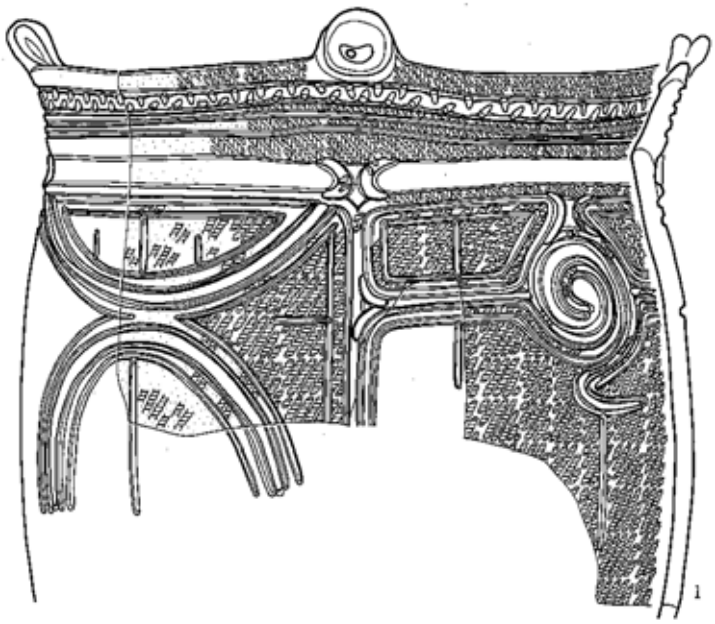
第98図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・6層上面(3)）

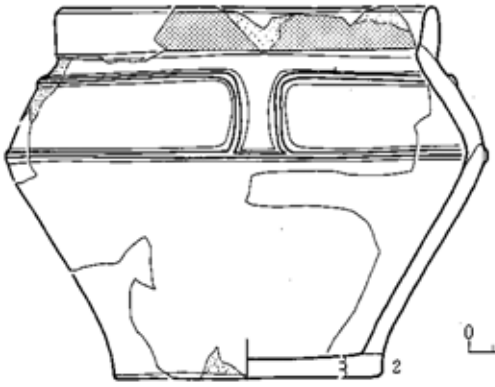


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・5層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁，平敷竹管による口縁に沿う押引き文，平敷竹管による縄巻状押引き文，胴部：縄文(LR)結節文（片結び一類）	230
2	CO86区・5層	深鉢・E(I)4C	口縁部：突起のつく平縁，横位粘土紐貼付文（上端），「の」字状貼付文，横位粘土紐貼付文，横倒状粘土紐貼付文，平敷竹管による刺突文（貼付ヒ）	230
3	CO86区・西ベルト5層	深鉢・D(I)8b	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，弧状区画沈線文，半円状沈線文，鋸歯状沈線文	230
4	CO86区・西ベルト5層	深鉢・D(I)8b	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，山形状区画沈線文，半円状沈線文，鋸歯状沈線文	230
5	CO86区・5層	深鉢・S4−	口縁部：突起のつく平縁，横位刺目文（突起上），平敷竹管による横位平行沈線文，楕円形貼付文，横位刺目文（貼付ヒ）	230
6	CO86区・北ベルト5層	深鉢・S4−	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：横位平行沈線文，区画沈線文，縄文（Lr）	230
7	CO86区・西ベルト5層	深鉢・S4b−	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文	230
8	CO86区・西ベルト5層	深鉢・D(I)8b	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，円形沈線文，三叉状沈線文	230
9	CO86区・5層	深鉢・D(I)8b	口縁部：突起のつく波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），「の」字状隆線文，弧状区画沈線文，三角形の彫出，縄文（RL），胎土：金雲母をふく含む	230
10	CO86区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，区画沈線文	230
11	CO86区・5層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文(LR)，頸部：横位隆線文，山形状区画沈線文，三叉状沈線文，三角形の彫出，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	230
12	CO86区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，横位刺目文（波頂），区画沈線文	230
13	CO86区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，横位沈線文（上端），横位刺目文（上部），区画隆線文，区画に沿う沈線文	230
14	CO86区・5層	深鉢・D(IIa)4a	口縁部：波状縁（歪頂状），「Y」字状隆線文，区画沈線文	230

第99図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・5層(1)）



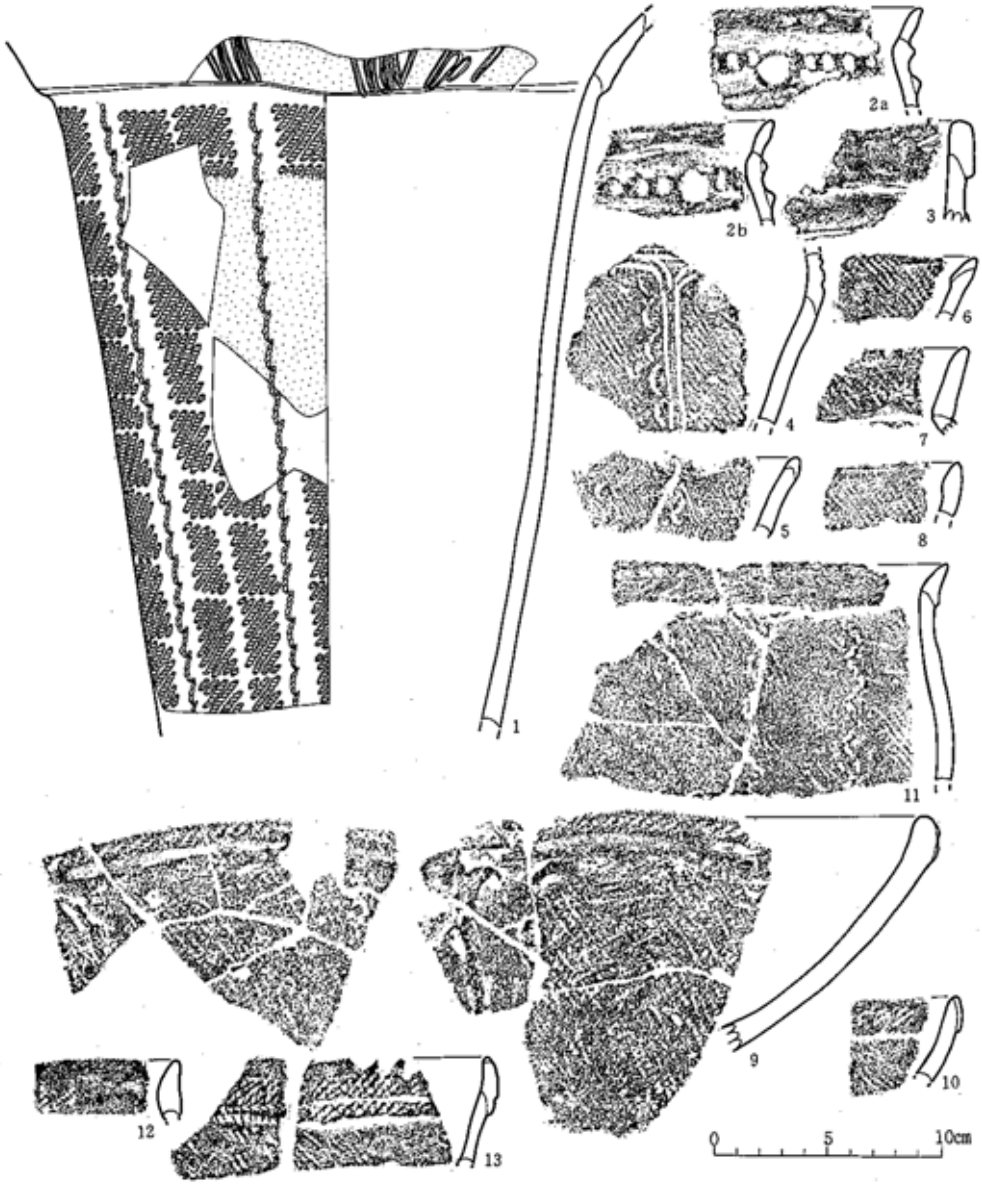




0 5 10cm

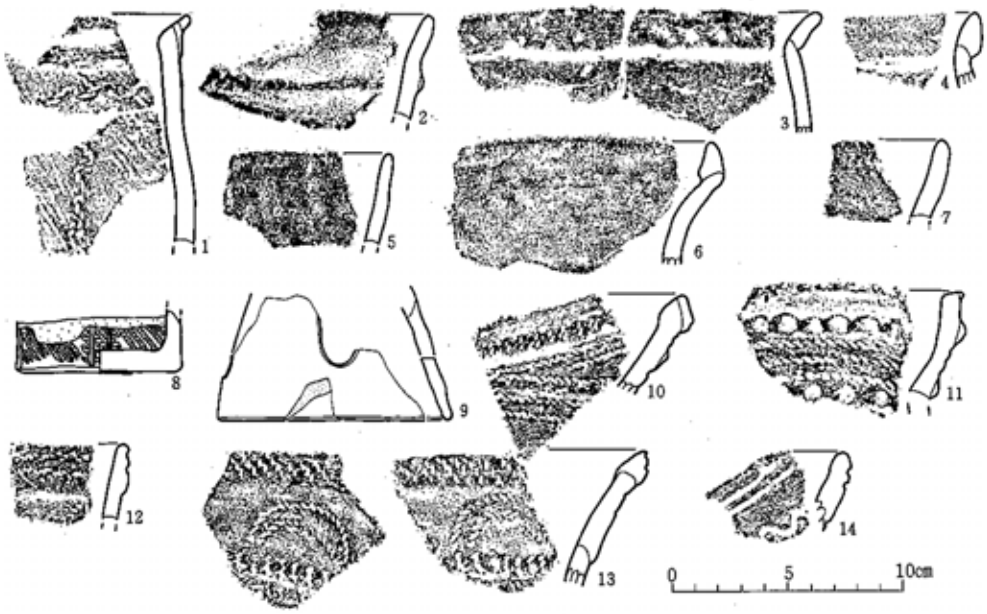
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・5層、 CO86区・5層上面、 CO86区・西ベルト3層、 CP86区・2～3層	深鉢・N9a	口縁部：突起のつく平縁、円盤状貼付文（突起内外面）、横位平行沈線文、交互刺突文、縄文（RL）、頸部：「オ」字状貼付文、胴部：区画隆線文、渦巻状隆線文、蛇行に沿う沈線文、縄文（RL）	46－1
2	CO86区・5層、 CO86区・5層上面、 CO86区・4層	鉢・A2a	口縁部：平縁、無文（ミガキ）、朱塗り、胴部：区画隆線文、底部：無文（摩滅）	47－1

第100図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・5層(2)）



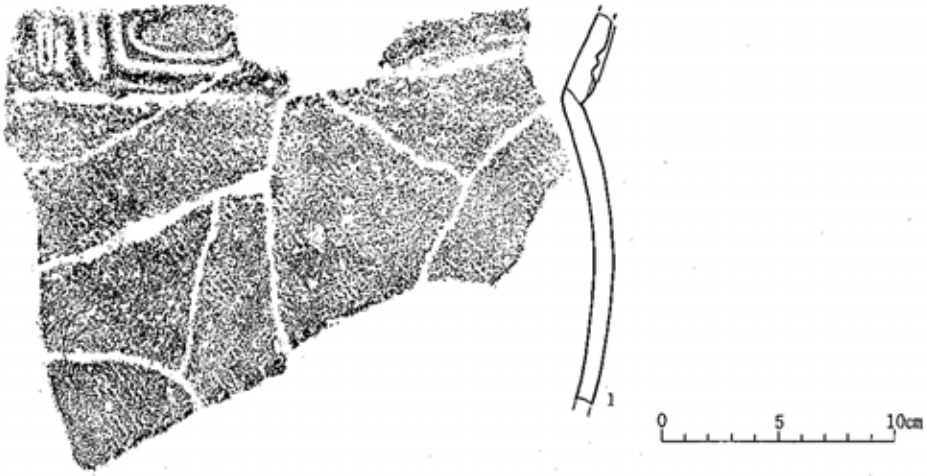
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO86区・5層、CN86区・西ベルト5層、CN86区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅱc2(?))1a	口縁部：区画隆線文、区画に沿う沈線文、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一段）	47－3
2a,b	CO86区・5層、CO85区・北ベルト3層	深鉢・N9a	口縁部：平線、無文（ナデ）、頸部：横位隆帯、円環状貼付文、縦位刻目文（隆線上）	231
3	CO86区・5層	深鉢・N11	口縁部：突起のつく平線、沈線文、円形竹管文、胴部：横位沈線文、	231
4	CO86区・5層	深鉢・J1a	胴部：区画沈線文、縄文（Lr）結節文（片結び一段）	231
5	CO86区・西ベルト5層	深鉢・W3b	口縁部：小波状部をもつ平線、縄文（Lr）結節文（二重結び）	231
6	CO86区・5層	深鉢・W3b	口縁部：平線、縄文（LR）	231
7	CO86区・5層	深鉢・V3b	口縁部：平線、縄文（RL）	231
8	CO86区・5層	深鉢・W3b	口縁部：平線、縄文（LR）	231
9	CO86区・西ベルト5層	浅鉢・A3c	口縁部：平線、「x」字状区画隆線文、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、縄文（LR）	231
10	CO86区・西ベルト5層	深鉢・S10b	口縁部：平線、縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）	231
11	CO86区・西ベルト5層	深鉢・W2b	口縁部：平線、無文（ナデ）、胴部：縄文（LR）結節文（同結び一段）	231
12	CO86区・西ベルト5層	深鉢・W2b	口縁部：平線、縄文（LR）	231
13	CO86区・北ベルト5層	深鉢・W3b	口縁部：平線、縦位刻目文（上端）、横位押圧縄文（Lr）、縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）結節文	231

第101図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・5層(3)）



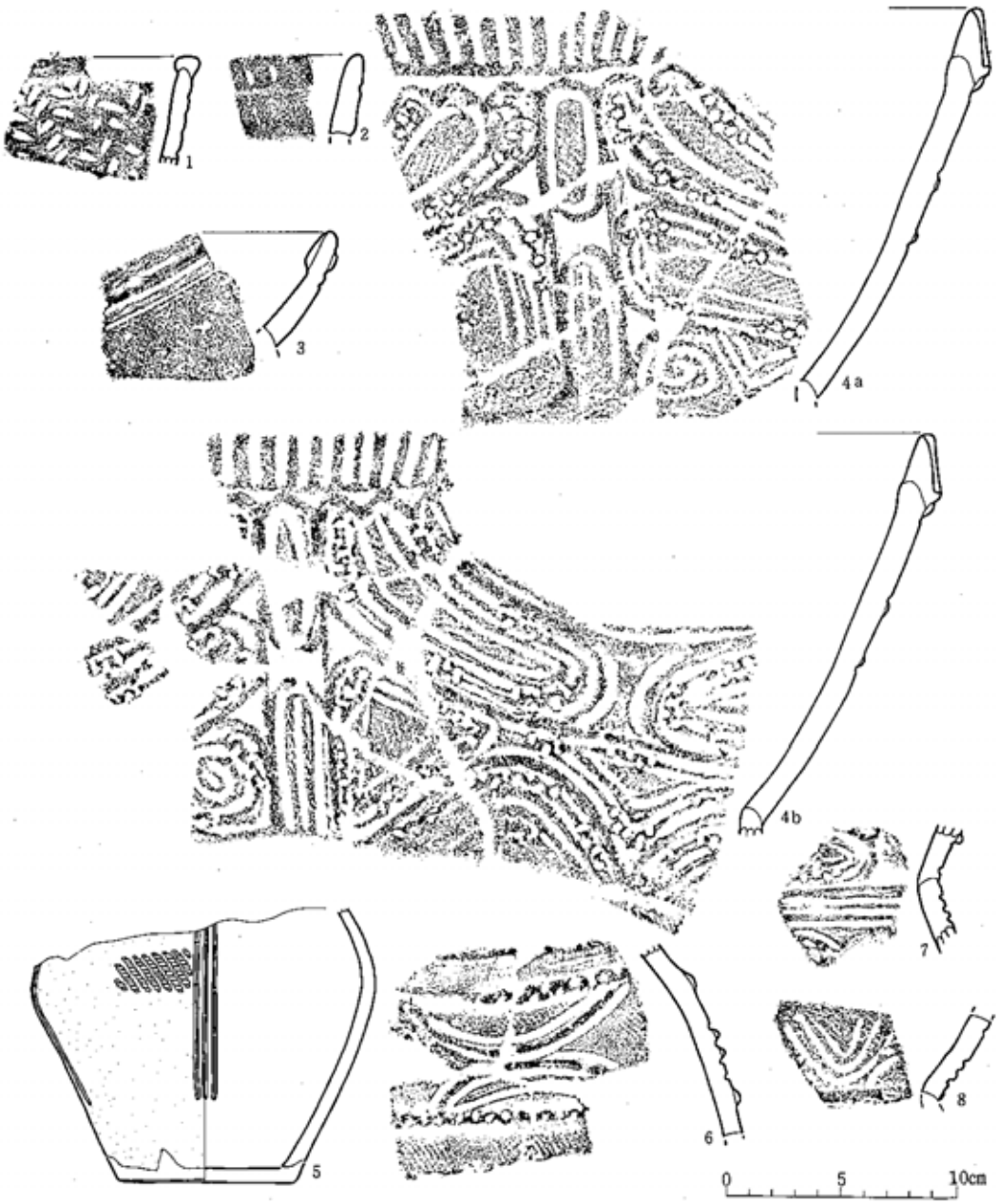
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（LR）結節文（再結び一環）	231
2	CO86区・北ベルト5層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，横位隆線文，胴部：縄文（LR）	231
3	CO86区・5層	深鉢・V4	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	231
4	CO86区・5層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（RL）	231
5	CO86区・5層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文（ナデ）	231
6	CO86区・5層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文（ナデ）	232
7	CO86区・西ベルト5層	深鉢・W－	口縁部：平縁，（摩滅）	232
8	CO86区・5層	深鉢・－	胴部：縦位沈線文，縄文（LR），底部：無文	
9	CO86区・北ベルト5層	台付浅鉢・2	脚部：縦位長楕円形の窓	
10	CO86区・5層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，縦位押圧縄文(LR)（隆線上），横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文(LR)	232
11	CO86区・5層	深鉢・E(I)1a(？)	口縁部：平縁，横位平行隆線文，台頂状圧痕（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（LR）	232
12	CO86区・西ベルト5層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）．	232
13	CO86区・5層	深鉢・D(I)5a	口縁部：平縁，縄文（LR）（上部），連続刺突押圧縄文（LR），胴部：横位隆帯，縦位押圧縄文(LR)（隆帯上）	232
14	CO86区・5層	深鉢・D(IIC2)1a	口縁部：波沈線，口縁に沿う沈線文，蕨手状沈線文	232

第102図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・5層(4)）



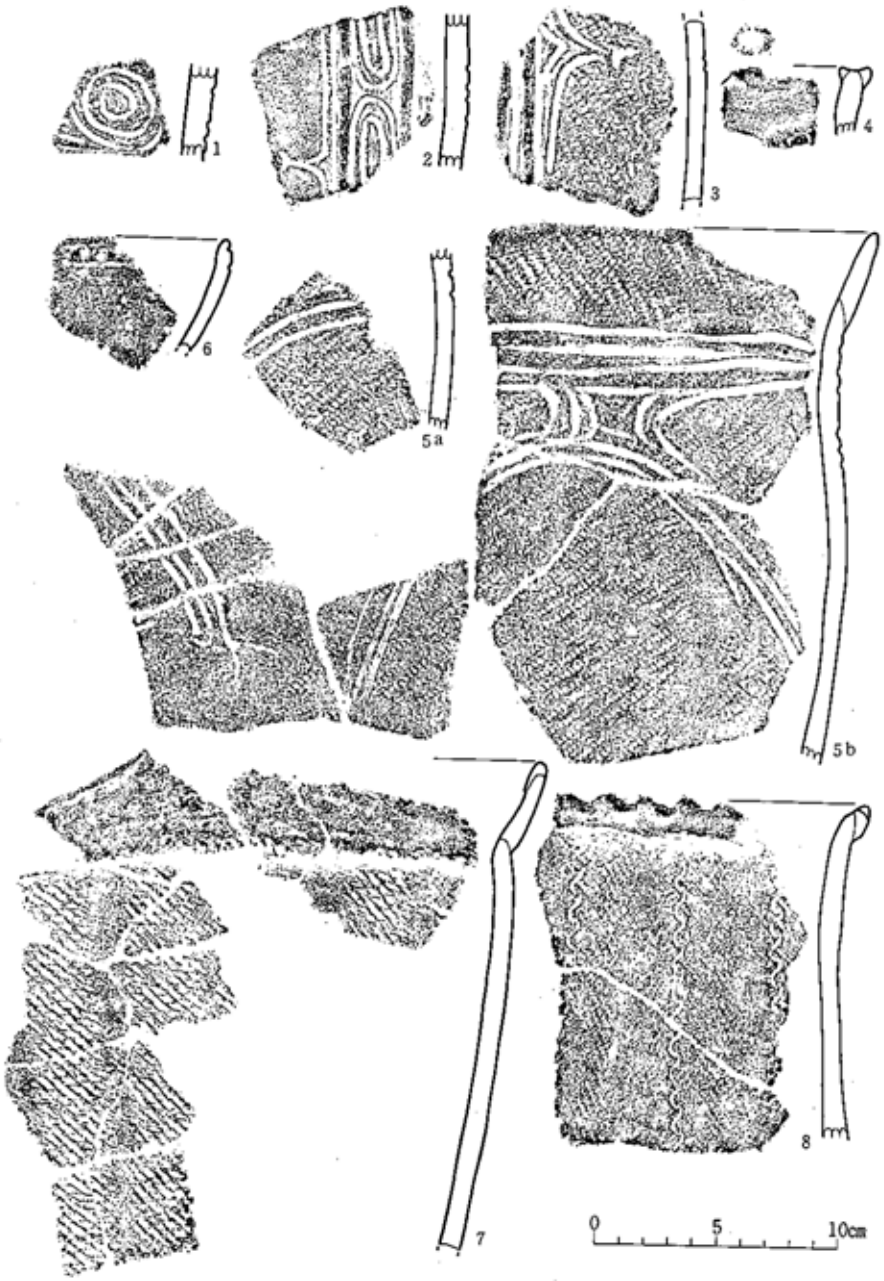
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・5層上面	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（LR）	232

第103図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・5層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CO86区・西ベルト4層	深鉢・E(IIa)2a	口縁部：平縁，「ハ」字状開沈線文	232
2	CO86区・西ベルト4層	深鉢・E(I)4b	口縁部：平縁，横位沈線文，縦位刻沈線文	232
3	CO86区・西ベルト4層	深鉢・D(IIa)2	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	232
4a,b	CO86区・西ベルト4層，CM84区・4層上部，CO86区・北ベルト3層	深鉢・D(IIC2)1a	口縁部：波状縁，縦位刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，渦巻状沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	233
5	CO86区・西ベルト4層	深鉢・E--	胴部：縦位沈線文，縄文（LR）	47－2
6	CO86区・4層，CO86区・3層	深鉢・N5a	胴部：横位平行隆線文，交互刺突文（隆線上），相対する弧状隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（Lr）	232
7	CO86区・4層	深鉢・D(IIC2(?))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，頸部：横位平行沈線文，胴部：渦巻状沈線文	232
8	CO86区・西ベルト4層	深鉢・D(IIC2(?))1a	口縁部：横位隆線文，直弧状沈線文	232

第104図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・4層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・西ベルト4層	深鉢・F−(?)	胴部：同心円状沈線文，縄文	232
2	CO86区・西ベルト4層	深鉢・D−	胴部：縦位区画隆線文，隆線に沿う沈線文，楕円形状沈線文，縄文（LR）	232
3	CO86区・西ベルト4層	深鉢・D−	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一頭）	
4	CO86区・4層	深鉢・S15b	口縁部：突起のつく波状縁，貼付文	233
5a,b	CO86区・西ベルト4層，CO86区・西ベルト4層	深鉢・N7a	口縁部：平縁，縄文（RL），頸部：横位平行沈線文，胴部：「ｘ」字状沈線文，馬蹄形状沈線文	233
6	CO86区・4層	浅鉢・A3a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，胴部：無文（ナデ）	233
7	CO86区・西ベルト4層	深鉢・D(ⅡC2(?))5	口縁部：波状縁，無文，胴部：縄文（LRr）	233
8	CO86区・4層	深鉢・S16b	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上端），無文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一頭）	233

第105図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・4層(2)）